

緑小学校校舎トイレ改修工事

図面リスト

意匠		電気設備		機械設備			
図番	名称	図番	名称	図番	名称		
A-00	図面リスト	A-31	管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 展開図(改修前・改修後)	E-01	電気設備工事特記仕様書	M-01	機械設備 特記仕様書(その1)
A-01	特記仕様書(その1)	A-32	管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 断面矩計図(改修前・改修後)	E-02	キュービクル結線図(改修)	M-02	機械設備 特記仕様書(その2)
A-02	特記仕様書(その2)	A-33	管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 平面詳細図(改修前)	E-03	幹線系統図(改修前)	M-03	給排水衛生設備 案内図・配置図(改修前)
A-03	特記仕様書(その3)	A-34	管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 平面詳細図(改修後)	E-04	幹線系統図(改修後)	M-04	給排水衛生設備 案内図・配置図(改修後)
A-04	特記仕様書(その4)	A-35	管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 天井伏図(改修前・改修後)	E-05	分電盤図(改修)	M-05	給排水衛生設備 系統図(改修前)
A-05	特記仕様書(その5)	A-36	管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 展開図(改修前・改修後)	E-06	幹線動力設備 1階平面図(改修前)	M-06	給排水衛生設備 系統図(改修後)
A-06	特記仕様書(その6)	A-37	管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 断面矩計図(改修前・改修後)	E-07	幹線動力設備 2階平面図(改修前)	M-07	給排水衛生設備 衛生機器表(改修前・改修後)
A-07	特記仕様書(その7)	A-38	建具キープラン(改修前)	E-08	幹線動力設備 3階平面図(改修前)	M-08	給排水衛生設備 衛生器具表(改修前・改修後)
A-08	特記仕様書(その8)	A-39	建具キープラン(改修後)	E-09	幹線動力設備 4階、R階、PH階平面図(改修前)	M-09	給排水衛生設備 1階平面図(改修前)
A-09	案内図・配置図	A-40	建具表1(改修前)	E-10	幹線動力設備 1階平面図(改修後)	M-10	給排水衛生設備 2階平面図(改修前)
A-10	内部仕上表(改修前・改修後)	A-41	建具表1(改修後)	E-11	幹線動力設備 2階平面図(改修後)	M-11	給排水衛生設備 3階平面図(改修前)
A-11	1階平面図(改修前)	A-42	建具表2(改修後)	E-12	幹線動力設備 3階平面図(改修後)	M-12	給排水衛生設備 4階、R階、PH階平面図(改修前)
A-12	2階平面図(改修前)	A-43	部分詳細図1	E-13	幹線動力設備 4階、R階、PH階平面図(改修後)	M-13	給排水衛生設備 1階平面図(改修後)
A-13	3階平面図(改修前)	A-44	部分詳細図2	E-14	照明器具委図(改修)	M-14	給排水衛生設備 2階平面図(改修後)
A-14	4階、R階、PH階平面図(改修前)	A-45	部分詳細図3	E-15	電灯設備 普通教室棟 1~4階トイレ 平面詳細図(改修前)	M-15	給排水衛生設備 3階平面図(改修後)
A-15	1階平面図(改修後)	A-46	部分詳細図4	E-16	電灯設備 普通教室棟 1~4階トイレ 平面詳細図(改修後)	M-16	給排水衛生設備 4階、R階、PH階平面図(改修後)
A-16	2階平面図(改修後)	A-47	仮設計画配置図(参考図)	E-17	電灯設備 管理特別教室棟 1~3階トイレ 平面詳細図(改修前)	M-17	給排水衛生設備 受水槽廻り詳細図(改修前)
A-17	3階平面図(改修後)	A-48	1階仮設計画図(参考図)	E-18	電灯設備 管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 平面詳細図(改修後)	M-18	給排水衛生設備 受水槽廻り詳細図(改修後)
A-18	4階、R階、PH階平面図(改修後)	A-49	2~4階仮設計画図(参考図)	E-19	電灯設備 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 平面詳細図(改修後)	M-19	給排水衛生設備 ポンプ室・高架水槽廻り 平面詳細図(改修前)
A-19	立面図(改修前・改修後)			E-20	コンセント設備 普通教室棟 1~4階トイレ 平面詳細図(改修後)	M-20	給排水衛生設備 ポンプ室・高架水槽廻り 平面詳細図(改修後)
A-20	普通教室棟 1~4階トイレ 平面詳細図(改修前)			E-21	コンセント設備 管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 平面詳細図(改修後)	M-21	給排水衛生設備 普通教室棟 1階トイレ 平面詳細図(改修前)
A-21	普通教室棟 1~4階トイレ 平面詳細図(改修後)			E-22	コンセント設備 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 平面詳細図(改修後)	M-22	給排水衛生設備 普通教室棟 1階トイレ 平面詳細図(改修後)
A-22	普通教室棟 1~4階トイレ 天井伏図(改修前・改修後)			E-23	仮設計画配置図 電灯設備	M-23	給排水衛生設備 普通教室棟 2~4階トイレ 平面詳細図(改修前)
A-23	普通教室棟 1~4階トイレ 展開図(改修前・改修後)					M-24	給排水衛生設備 普通教室棟 2~4階トイレ 平面詳細図(改修後)
A-24	普通教室棟 1~4階トイレ 断面矩計図(改修前・改修後)					M-25	給排水衛生設備 管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 平面詳細図(改修前)
A-25	管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 平面詳細図(改修前)					M-26	給排水衛生設備 管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 平面詳細図(改修後)
A-26	管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 平面詳細図(改修後)					M-27	給排水衛生設備 管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 平面詳細図(改修前)
A-27	管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 平面詳細図(改修後)					M-28	給排水衛生設備 管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 平面詳細図(改修後)
A-28	管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 天井伏図(改修前・改修後)					M-29	給排水衛生設備 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 平面詳細図(改修前)
A-29	管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 天井伏図(改修前・改修後)					M-30	給排水衛生設備 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 平面詳細図(改修後)
A-30	管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 展開図(改修前・改修後)					M-31	換気設備 機器表(改修前・後)
						M-32	換気設備 普通教室棟 1~4階トイレ 平面詳細図(改修前)
						M-33	換気設備 普通教室棟 1~4階トイレ 平面詳細図(改修後)
						M-34	換気設備 管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 平面詳細図(改修前)
						M-35	換気設備 管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 平面詳細図(改修後)
						M-36	換気設備 管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 平面詳細図(改修後)
						M-37	換気設備 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 平面詳細図(改修前)
						M-38	換気設備 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 平面詳細図(改修後)
						M-39	給排水衛生設備 仮設トイレ平面図

春日部市学校教育部 教育施設課

(図面サイズ：A1版、A3版は50%縮小)
※この図面は、A3版印刷を標準とする。

8 合板等	「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2以上 1等 針葉樹 ※C-D以上
					・適用する ・適用しない
9 接合具等	「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質
		※2級以上 1級		※1類・特類	※C-D以上
					・適用する ・適用しない
10 接着剤	「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理
				・特類 ・1類	・適用する ・適用しない
11 防虫・防蟻処理	「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接合の程度	防虫処理の適用
				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない
12 内部間仕切輪組及び床組み	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
13 窓、出入口その他	「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接合の程度	防虫処理の適用
				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない
14 軽量鉄骨天井下地	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない

15 軽量鉄骨壁下地	「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2以上 1等 針葉樹 ※C-D以上
					・適用する ・適用しない
16 ビニル床シート	「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質
		※2級以上 1級		※1類・特類	※C-D以上
					・適用する ・適用しない
17 ビニル床タイル	「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接合の程度	防虫処理の適用
				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない
18 特殊機能床材	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
19 ビニル幅木	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
20 ゴム床タイル	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
21 カーベツト敷き	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
22 合成樹脂塗床	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
23 フローリング張り	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない

24 畳敷き	「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2以上 1等 針葉樹 ※C-D以上
					・適用する ・適用しない
25 せっこうボード	「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質
		※2級以上 1級		※1類・特類	※C-D以上
					・適用する ・適用しない
26 壁紙張り	「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接合の程度	防虫処理の適用
				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

27 モルタル塗り	「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質
		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2以上 1等 針葉樹 ※C-D以上
					・適用する ・適用しない
28 タイル張り	「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質
		※2級以上 1級		※1類・特類	※C-D以上
					・適用する ・適用しない
29 セルフレリング材	「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接合の程度	防虫処理の適用
				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない
30 フリーアクセスフロア	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
31 可動間仕切	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
32 移動間仕切	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
33 トイレブース	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
34 手すり	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] [6.5.2]				
	施工箇所	厚さ (mm)	接合の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法
			・1類 ・2類		・適用する ・適用しない

鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の種類 呼び径 (mm) 備考 ○SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 形状等 (5.2.2) 種類 種類の種類 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ・重ね継手 ○溶接継手 継手位置 ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) 基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 ・図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)3(1)(9)) ・図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所にする部分の位置及び施工方法等 ・図示による ()
	2 溶接金網	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ○図示による () 機械式定着工法 運用場所 ・図示による () 種類 ・摩擦圧接接合 ・嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。
	④ 鉄筋の定着	最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	※図示による (5.3.7)
	⑥ 各部配筋	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う (全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(イ) (a)による) ・引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(イ) (b)による
	7 ガス圧接	適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による () H12通告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による () H12通告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による () 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による ()
	⑨ 溶接継手	

コンクリート工事	① コンクリートの種類等 (6.2.1)	種類 (6.2.1) ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積 (t/m ³) スラブ 適用箇所 ・24 2.3程度 ・15又は18・18 ○21 ○18 ・和便器床閉口閉塞ほか ・ ・ ・ ・ 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書表6.3.2による 補正值S=3 (月 日~月 日、月 日~月 日) S=6 (月 日~月 日、月 日~月 日)
	② セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()
	③ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)
	④ 混和材料	○混和剤の種類 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()
	6 湿潤養生 (6.7.2)	目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による ()
	7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)	温潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) 種別 適用箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ・C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 適用箇所 ・a種 ※図示による () ・b種 ※図示による () ・c種 ※図示による ()
	8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による ()
	⑨ 型枠 (6.8.2)	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板 (※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・MOR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材種、規格等 ・図示による ()
	10 軽量コンクリート (6.10.1、2)	存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による 普通エコセメントの場合 (※図示による ()) 適用箇所 ・図示による () 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書表6.10.1による スラブ ※21cm

11 寒中コンクリート (6.11.1、2)	適用期間 (月 日~月 日) 構造体強度補正值(S)を構築温度を基に定める場合 ・図示による ()、S=()
12 暑中コンクリート (6.12.2)	適用期間 (月 日~月 日) 構造体強度補正值(S) ※0N/mm ² ・図示による ()、S=()
13 マスコンクリート (6.13.1、2)	適用箇所 (6.13.1、2) ・図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による) ・標準仕様書6.13.2(2)(イ)による
14 無筋コンクリート (6.14.1)	スラブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ()
⑮ コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(イ)(g)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、TFA法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

日付	工事名称	A - 06
欄尺 A1: - A3: -	緑小学校校舎トイレ改修工事 特記仕様書 (改修その6)	

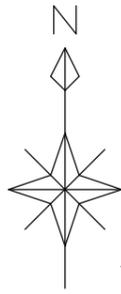
8 耐震改修工事	(一般事項) 1 適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分 <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 部材打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 鉄骨ブレースの設置工事 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) 柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き工法) 柱補強工事(連続繊維補強工法) 耐震スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事 土工事及び地業工事
	2 既存部分の処理等	<p>既存構造体の撤去 [8.21.2][8.22.2][8.24.4][8.25.2]</p> <p>撤去範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 図示による() <p>既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存柱、梁面 打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける 既存壁 打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を全体にわたってつける
	3 撤去工事の施工内容	<p>※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。</p> <p>※増設部材と接する既存コンクリート面は十分に目荒らしを行う。</p> <p>※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。</p> <p>※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。</p>
	4 撤去工事における注意事項	<p>※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構内内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。</p> <p>※増設する部材に接する既存コンクリートは、十分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧にを行うこと。(電気ビックを用いる等)</p> <p>※コンクリート打設前に粉塵、はつりがらを清掃し、数日前から十分に水濡れを行う。</p> <p>※既存の躯体状態の確認及び補修</p> <ul style="list-style-type: none"> 石膏ボードについては、「原素物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場へ処分すること。 石膏ボード、フレキシブルボード等石膏製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないようにはずしで行い、原形のまま運搬処分すること。 以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずで行うこと。 ペニクススタイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように湿潤後、手はずで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。

2 セメント	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ28日目で402 J/g以下のものとする 高炉セメントB種 [G] フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 () 																
3 骨材	<p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下) 																
4 混和材料	<p>混和剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※[8.2.5](4)(a)による 混和材の種類 ※[8.2.5](4)(b)による 																
5 構造体用モルタル	<p>圧縮強度 ()、フロー値 ()</p>																
6 ひび割れ誘発目地、打継目地	<p>目地寸法 (6.6/4)(6.8.1)(9.7.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する 図示による() ひび割れ誘発目地の位置 図示による() 																
7 構造体コンクリートの仕上り	<p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4][8.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>※図示による()</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※図示による()</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>※図示による()</td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>※図示による()</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>※図示による()</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>※図示による()</td> </tr> </table>	種別	適用箇所	A種	※図示による()	B種	※図示による()	C種	※図示による()	種別	適用箇所	a種	※図示による()	b種	※図示による()	c種	※図示による()
種別	適用箇所																
A種	※図示による()																
B種	※図示による()																
C種	※図示による()																
種別	適用箇所																
a種	※図示による()																
b種	※図示による()																
c種	※図示による()																
8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	<p>打増し厚さ [8.7.8]</p> <ul style="list-style-type: none"> 打放し仕上げ部の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) 20mm 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) 10mm・20mm <p>打増し範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による() 																
9 型枠	<p>せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7]</p> <ul style="list-style-type: none"> 合板(※12mm) コンクリート打設時の充填性の確保のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による() MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による() 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による() スリーブの材質・規格等 図示による() 																
10 型枠の加工及び組立	<p>シアコネクタをセパレーターとして使用</p> <p>適用箇所 図示による()</p>																
11 無筋コンクリート	<p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※普通コンクリート <p>セメントの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 高炉セメントB種 [G] フライアッシュセメントB種 [G] <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による() <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※f_c8(N/mm²) <p>スランブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※15cm又は18cm 																
12 コンクリートの打込み工法等	<p>コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工事</th> <th>工法の種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 工法指定なし 全全ての増設壁 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(2),(3) 全全ての増設壁 図示による() </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 全全ての増設壁 図示による() </td> </tr> <tr> <td>柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 工法指定なし 全全ての柱補強部分 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(2) 全全ての柱補強部分 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(3) 全全ての柱補強部分 図示による() </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 全全ての柱補強部分 図示による() </td> </tr> </table>	補強工事	工法の種類	適用箇所	現場打ちコンクリート壁の増設工事	<ul style="list-style-type: none"> 工法指定なし 全全ての増設壁 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(2),(3) 全全ての増設壁 図示による() 	<ul style="list-style-type: none"> 全全ての増設壁 図示による() 	柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	<ul style="list-style-type: none"> 工法指定なし 全全ての柱補強部分 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(2) 全全ての柱補強部分 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(3) 全全ての柱補強部分 図示による() 	<ul style="list-style-type: none"> 全全ての柱補強部分 図示による() 							
補強工事	工法の種類	適用箇所															
現場打ちコンクリート壁の増設工事	<ul style="list-style-type: none"> 工法指定なし 全全ての増設壁 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(2),(3) 全全ての増設壁 図示による() 	<ul style="list-style-type: none"> 全全ての増設壁 図示による() 															
柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	<ul style="list-style-type: none"> 工法指定なし 全全ての柱補強部分 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(2) 全全ての柱補強部分 図示による() 圧入工法 8.21.8(1)(1),(3) 全全ての柱補強部分 図示による() 	<ul style="list-style-type: none"> 全全ての柱補強部分 図示による() 															

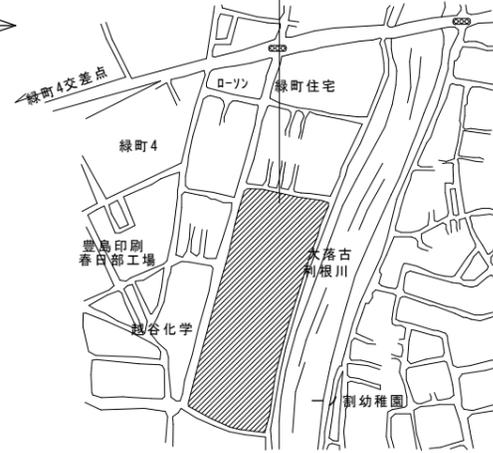
5 普通ポルト	<p>ポルト及びナットの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様書表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ポルトの規格は JIS B 1180 とする。 (ポルトの種類は、呼び径六角ポルト又は六角ナットとし、材料は鋼とする。ポルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ポルトの軸径の最大寸法は、ポルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181 とする。ナットの種類は、六角ナットとし、材料は鋼とする。) <p>ポルトのねじの呼び</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による() 座金 ※ JIS B 1256 による 戻り止め ※ 二重ナット ポルトの縁端距離、ポルト間隔、ゲージ等 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びポルト間隔) 																				
6 アンカーポルト	<p>構造用アンカーポルト (JIS B 1220) (7.2.4)(7.10.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類 ABR400・ABR490 建方用アンカーポルト (JIS G 3101) 種類 SS400 アンカーポルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による ポルトの縁端距離、ポルト間隔、ゲージ等 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びポルト間隔) 																				
7 溶接材料	<p>[8.2.10](1)、(2)による</p> <p>[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料</p> <p>材料及び使用箇所 図示による()</p>																				
8 ターンバックル	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築用ターンバックル ※羽子板ポルト 建築用ターンバックル鋼 ※数種 ねじの呼び 図示による() 																				
9 スタッド	<p>頭付きスタッド (JIS B 1198) の種類等 [8.2.11][8.16.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄骨精度検査基準に加えて、次による。 [8.13.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 差しダイヤラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建造第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建造第1464号第二号イ(3)による 食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法 ※鉄筋探傷(金属探知器)により検査・補強マニュアルによる ※突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアルによる 	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	16			19			22										
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																			
16																					
19																					
22																					
11 溶接作業者の技量付加試験	<p>試験の要領 [8.15.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による() 																				
12 溶接接合	<p>開先の形状</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準) <p>鋼製エンドタブの切除する部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 切断する場所 図示による() 切断範囲 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 <p>切断面の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> [8.15.7](1)(h)(b)②による <p>スラップの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スラップ) 																				
13 入熱、バス間温度の管理	<p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による() 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 																				
14 溶接部の試験	<p>H12建造第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル 3.5.2 受入検査による抜き取り検査① ※抜き取り検査② <p>JASS 6 付則6 鉄骨精度検査基準の付表3「溶接」に関する確認方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> JASS 6/10.4【受入検査】e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 <p>完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験</p> <p>工場溶接の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ※全数 <p>工事現場溶接の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ※全数 																				
15 錆止め塗装	<p>塗装の範囲 [8.17.2]</p> <p>耐火被覆材の接着する面</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による() 耐火被覆材の接着する面以外 ※[8.17.2](1)(7)~(4)以外の範囲 図示による() <p>塗料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ※[表7.4.1] A種 屋内 ※[表7.4.1] ()種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ※[表7.4.2] ()種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ※[表7.4.1] A種 耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料 ※[表7.4.1] ()種・[表7.4.2] ()種 																				
16 耐火被覆	<p>種類、材料、工法等 [8.18.2~8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 乾式吹付けロウカール 湿式ロウカール 半乾式吹付けロウカール </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 繊維混入入り酸カルシウム板 高断熱ロウカール </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする</p> <p>※JASS6 付則6【鉄骨精度検査基準】付表5【工事現場】による (7.10.2)</p>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	<ul style="list-style-type: none"> 乾式吹付けロウカール 湿式ロウカール 半乾式吹付けロウカール 			耐火板張り	<ul style="list-style-type: none"> 繊維混入入り酸カルシウム板 高断熱ロウカール 			ラス張りモルタル塗り				耐火塗料			
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																		
耐火材吹付け	<ul style="list-style-type: none"> 乾式吹付けロウカール 湿式ロウカール 半乾式吹付けロウカール 																				
耐火板張り	<ul style="list-style-type: none"> 繊維混入入り酸カルシウム板 高断熱ロウカール 																				
ラス張りモルタル塗り																					
耐火塗料																					

18 アンカーボルト等の設置	<p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による() 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 図示による() 建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法(表7.10.1) 種類 A種 B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類(表7.10.2) 厚さ 種類 ※A種・B種 															
19 溶融亜鉛めっき(基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。)	<p>種別等 [8.20.4][表8.20.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>亜鉛めっきの種別</th> <th>材料</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ポルト・ナット類、アンカーボルト類</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </table> <p>外観検査 ※行う・行わない</p>	亜鉛めっきの種別	材料	適用部位	A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板		C種	普通ポルト・ナット類、アンカーボルト類			最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	
亜鉛めっきの種別	材料	適用部位														
A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板															
B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板															
C種	普通ポルト・ナット類、アンカーボルト類															
	最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板															
(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカー	<p>仕様等 [8.2.4]</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属系アンカー(耐震補強用) 引張耐力 ※図示による() せん断耐力 ※図示による() アンカー本体の径及び埋込み長さ ※図示による() セット方式 ※本体打込み式改良型 接合部の種類、径、長さ ※図示による() 接着系アンカー 引張耐力 ※図示による() せん断耐力 ※図示による() アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 カプセル方式打込み型 接着剤の品質 ※有機系 無機系 アンカー筋の径及び埋込み深さ 図示による(「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項) アンカー筋の種類 [表8.2.1]の異形棒鋼 全ねじボルト アンカー筋の新設室内への定着の長さ 図示による(「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項) <p>性能確認試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験方法及び試験数 図示による() <p>2 あと施工アンカー工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 穿孔機械(金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する) [8.12.4.7] ※ハンマドリル ※コアドリル 穿孔前の埋込み配管等の探査方法 ※JASS 11.10.cに規定された非破壊検査を行う 鉄筋探傷(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う 探査方式 電磁波レーダ法(3D表示対応型) 電磁波レーダ法又は電磁波誘導法 鉄筋探査器の性能 CD管及び非金属類の探査が可能である機器とする はつり出しによる <p>施工確認試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 図示による() 															
(グラウト工事) 1 柱底均しモルタル及び均しモルタル	<p>柱底均しモルタル [8.2.12]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調合 ※[8.2.12](1)(7)から(1)による グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 <p>セメント</p> <ul style="list-style-type: none"> セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミホート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 <p>砂</p> <ul style="list-style-type: none"> 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法</p> <p>コンシステンシー</p> <ul style="list-style-type: none"> Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒 <p>フリーディング</p> <ul style="list-style-type: none"> 練混ぜ完了後20分後のフリーディング値 2.0%以下 <p>凝結時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 凝結開始時間 1時間以上 凝結時間 10時間以内 <p>無収縮性</p> <ul style="list-style-type: none"> 材齢 7日 収縮しない <p>圧縮強度</p> <ul style="list-style-type: none"> 材齢 3日 25.0N/mm²以上 材齢 28日 45.0N/mm²以上 <p>塩化物質</p> <ul style="list-style-type: none"> 0.30kg/m³以下 <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。 															
(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート巻き	<p>連続繊維シート [8.2.13]</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料 図示による() 工法 ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 引張強度(含浸硬化後) 2500N/mm²以上 3000N/mm²以上 ヤング係数(含浸硬化後) 2.35×10⁵ N/mm²以上 2.00×10⁵ N/mm²以上 <p>下地調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ひび割れ部の改修工法の種類 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ※工法の評価内容による 連続繊維補強材の強度試験 引張強度試験 ※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による 試験数量 図示による() 付着強度試験 ※JIS A 6909(建築用仕上塗材)による 試験数量 図示による() <p>補強後の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による() 															
(耐震スリット新設工事) 1 施工前埋込み配管等の探査	<p>既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う 探査方式 電磁波レーダ法(3D表示対応型) 電磁波レーダ法又は電磁波誘導法 はつり出しによる 															
2 耐震スリット	<p>幅及び深さ 図示による()</p> <p>設置箇所 図示による()</p>															
3 充填材の挿入及び周囲補修等	<ul style="list-style-type: none"> 耐火材 使用箇所及び仕様 図示による() 遮音材 使用箇所及び仕様 図示による() 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 															

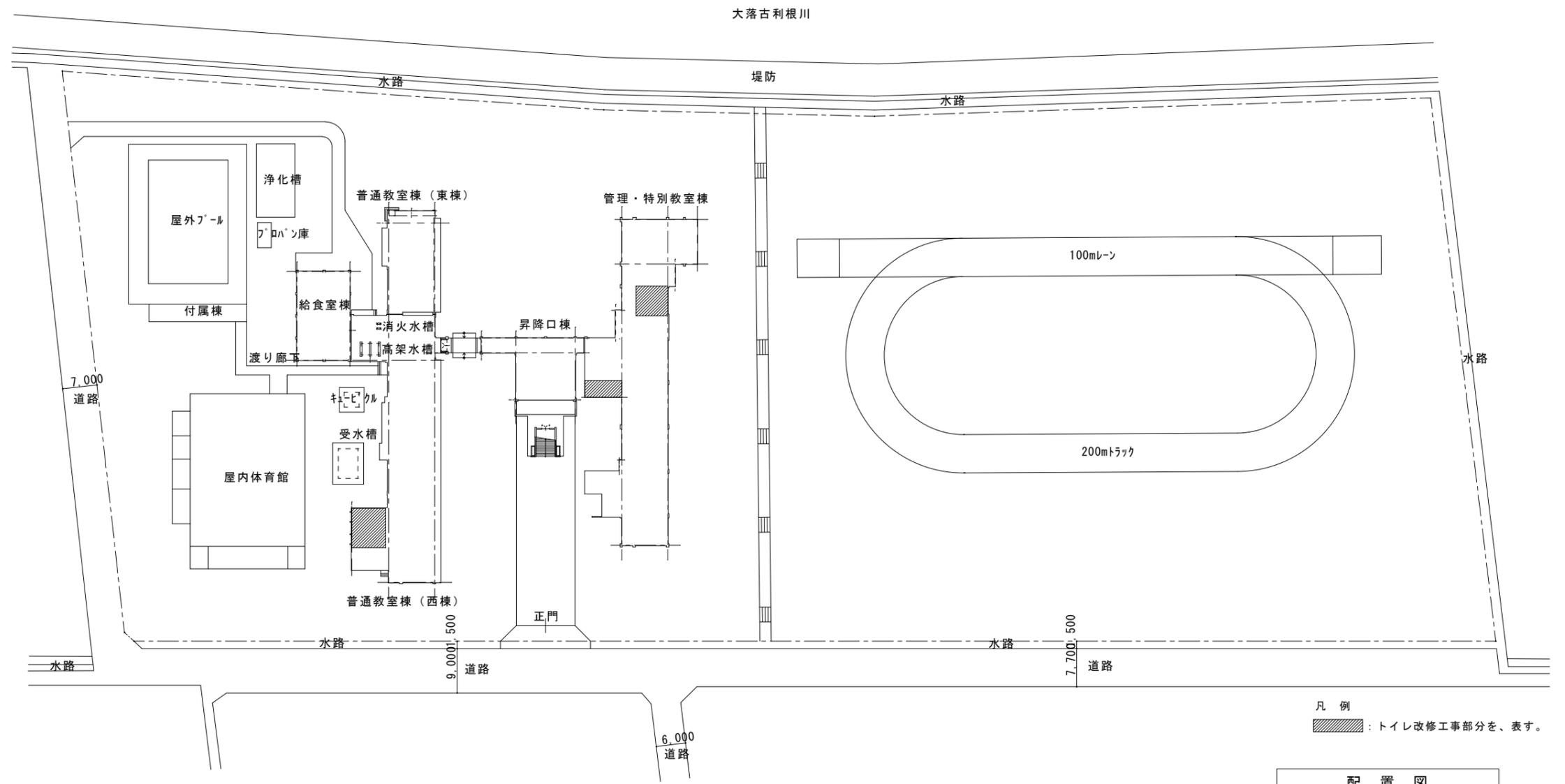
〈免震改修工事〉	・別添の免震工事特記仕様書による								
〈制振改修工事〉	・別添の制振工事特記仕様書による								
〈土工事及び地業工事〉 1 既存杭の撤去等	撤去範囲及び撤去方法 図示による () ・杭頭部等の処理 図示による () ・既存杭の補強 図示による () ・健全性の確認試験 図示による ()	[8.28.2]							
2 土工事	埋戻し及び盛土の種類 ・A種 適用場所 () ・B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・D種 適用場所 () 品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。 六価クロム溶出試験 ・行う 建設発生土の処理 ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷均し 鋼矢板等の抜き跡の処理 ※※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる 山留め壁等の存置 ・行う(存置範囲 ※図示)	[8.28.3]							
3 地業工事	<ul style="list-style-type: none"> ・杭地業 [8.2.15][8.28.4] <ul style="list-style-type: none"> 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 図示による () 試験杭の位置、本数、寸法、施工方法 図示による () 杭の載荷試験 ・適用(鉛直・水平) 試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示) 地盤の載荷試験 ・適用(※平板) 試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示 杭の溶接継手 ・あり(継手の箇所数、材料、工法等 ※図示) 技能資格者の技量及び溶接部の確認 ※図示 杭頭の処理等 ・する(処理方法(切断にともなう補強方法含む) ※図示) 記録する施工状況等 図示による () ・砂利地業 [8.2.15][8.28.4] <ul style="list-style-type: none"> 材料 ・再生クラッシュラン ⑤ ・切込砂利又は切込砕石 施工範囲 図示による () 厚さ ※60mm ・砂地業 [8.2.15][8.28.4] <ul style="list-style-type: none"> 材料 ・シルト ・有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 施工範囲 図示による () 厚さ ※60mm ・捨コンクリート地業 [8.11.1~3][8.28.4] <ul style="list-style-type: none"> 材料 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² スランブ ※15cm又は8cm 施工範囲 図示による () 厚さ ※50mm(※平たん仕上げ) 								



工事建物：春日部市立緑小学校
 工事場所：春日部市緑町5丁目4番1号



案内図 Non Scale



凡例
 [Hatched Box] : トイレ改修工事部分を、表す。

配置図

内部仕上表

改修前仕上表

階	室名	床仕上		巾木	H	壁(腰)		天井				備考
		下地	仕上			下地	仕上	下地	仕上	廻り縁	CH	
1 2 4	普通教室棟 男子トイレ 女子トイレ	モルタル	25角磁器質珪酸塩貼	100角 半磁器質タイル	100	コンクリート CB	モルタル塗金コテ EP塗装 半磁器100角色タイル(腰壁)	LGS	タカ板 t=5.0 EP仕上	タカ	2500	衛生設備[撤去(設備工事)] (木製建具、櫃、床下点検口(7ヶ所共)、天井点検口、 額縁、トイレ・ス、ライニング) [撤去]
	普通教室棟 廊下	モルタル	半硬質塩化ビニル貼 t=2.0	ソフト巾木	100	コンクリート	モルタル塗金コテ EP塗装	LGS	石膏ボード t=9 EP塗装 一部有孔石膏ボード張 t=9 EP塗装	タカ	2585	サイン撤去
1 2 3	管理特別教室棟 (児童) 男子トイレ 女子トイレ	モルタル	25角磁器質珪酸塩貼	100角 半磁器質タイル	100	コンクリート CB	モルタル塗金コテ VP塗装 半磁器100角色タイル(腰壁) 耐水合板 t12+タカ板 t6 EP-G塗装、半磁器100角色タイル(腰壁)	LGS	タカ板 t=4.0 EP-G仕上	タカ	2500	衛生設備[撤去(設備工事)] (木製建具、櫃、床下点検口(7ヶ所共)、天井点検口、 額縁、トイレ・ス、ライニング) [撤去]
	管理特別教室棟 廊下	モルタル	半硬質塩化ビニル貼 t=2.0	ソフト巾木	100	コンクリート	モルタル塗金コテ EP塗装	LGS	石膏ボード t=9 EP塗装 一部有孔石膏ボード張 t=9 EP塗装	タカ	2585	サイン撤去
1	管理特別教室棟 (職員) 男子トイレ 女子トイレ	モルタル	25角磁器質珪酸塩貼	100角 半磁器質タイル	100	コンクリート CB	モルタル塗金コテ VP塗装 半磁器100角色タイル(腰壁)	LGS	タカ板 t=4.0 EP-G仕上	タカ	2500	衛生設備[撤去(設備工事)] (木製建具、櫃、床下点検口(7ヶ所共)、天井点検口、 額縁、トイレ・ス、ライニング) [撤去]
	管理特別教室棟 廊下	モルタル	半硬質塩化ビニル貼 t=2.0	ソフト巾木	100	コンクリート	モルタル塗金コテ EP塗装	LGS	石膏ボード t=9 EP塗装 一部有孔石膏ボード張 t=9 EP塗装	タカ	2585	サイン撤去

改修後仕上表

階	室名	床仕上		巾木	H	壁(腰)		天井				備考
		下地	仕上			下地	仕上	下地	仕上	廻り縁	CH	
1 2 4	普通教室棟 男子トイレ 女子トイレ	乾式二重床 既存タイルの上、モルタルリソウ	バネ付タイル t=20 + 耐水性合板 t=12 ビニル床シート t=2.0	床材巻上げ ビニル床シート	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	耐水PB t=12.5 + 化粧珪酸塩タイル板 t=6.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2450	(床下点検口、天井点検口、木製額縁、トイレ・ス、ライニング、 モップ掛け、雑巾掛け) 【新設】 衛生設備【新設(設備工事)】 ビニルサイン
	普通教室棟 廊下	既存のまま	既存のまま	ソフト巾木	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	タコタ(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0 タコタ(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0 タコタ(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2585	ビニルサイン
1	管理特別教室棟 (職員) 男子トイレ 女子トイレ	乾式二重床 既存タイルの上、モルタルリソウ	バネ付タイル t=20 + 耐水性合板 t=12 ビニル床シート t=2.0	床材巻上げ ビニル床シート	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	耐水PB t=12.5 + 化粧珪酸塩タイル板 t=6.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2450	(床下点検口、天井点検口、木製額縁、トイレ・ス、ライニング、 モップ掛け、雑巾掛け) 【新設】 衛生設備【新設(設備工事)】 ビニルサイン
	管理特別教室棟 廊下	既存のまま	既存のまま	ソフト巾木	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	タコタ(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0 タコタ(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0 タコタ(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2585	ビニルサイン
1 2 3	管理特別教室棟 (児童) 男子トイレ 女子トイレ だれでもトイレ	乾式二重床 既存タイルの上、モルタルリソウ	バネ付タイル t=20 + 耐水性合板 t=12 ビニル床シート t=2.0	床材巻上げ ビニル床シート	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	耐水PB t=12.5 + 化粧珪酸塩タイル板 t=6.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2450	(床下点検口、天井点検口、木製額縁、トイレ・ス、ライニング、 モップ掛け、雑巾掛け) 【新設】 衛生設備【新設(設備工事)】 ビニルサイン
	管理特別教室棟 廊下	既存のまま	既存のまま	ソフト巾木	100	既存モルタルの上、 LGS(65型)	タコタ(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0 タコタ(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0 タコタ(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0	LGS	不燃化粧PB t=9.5	塩ビ製	2585	ビニルサイン

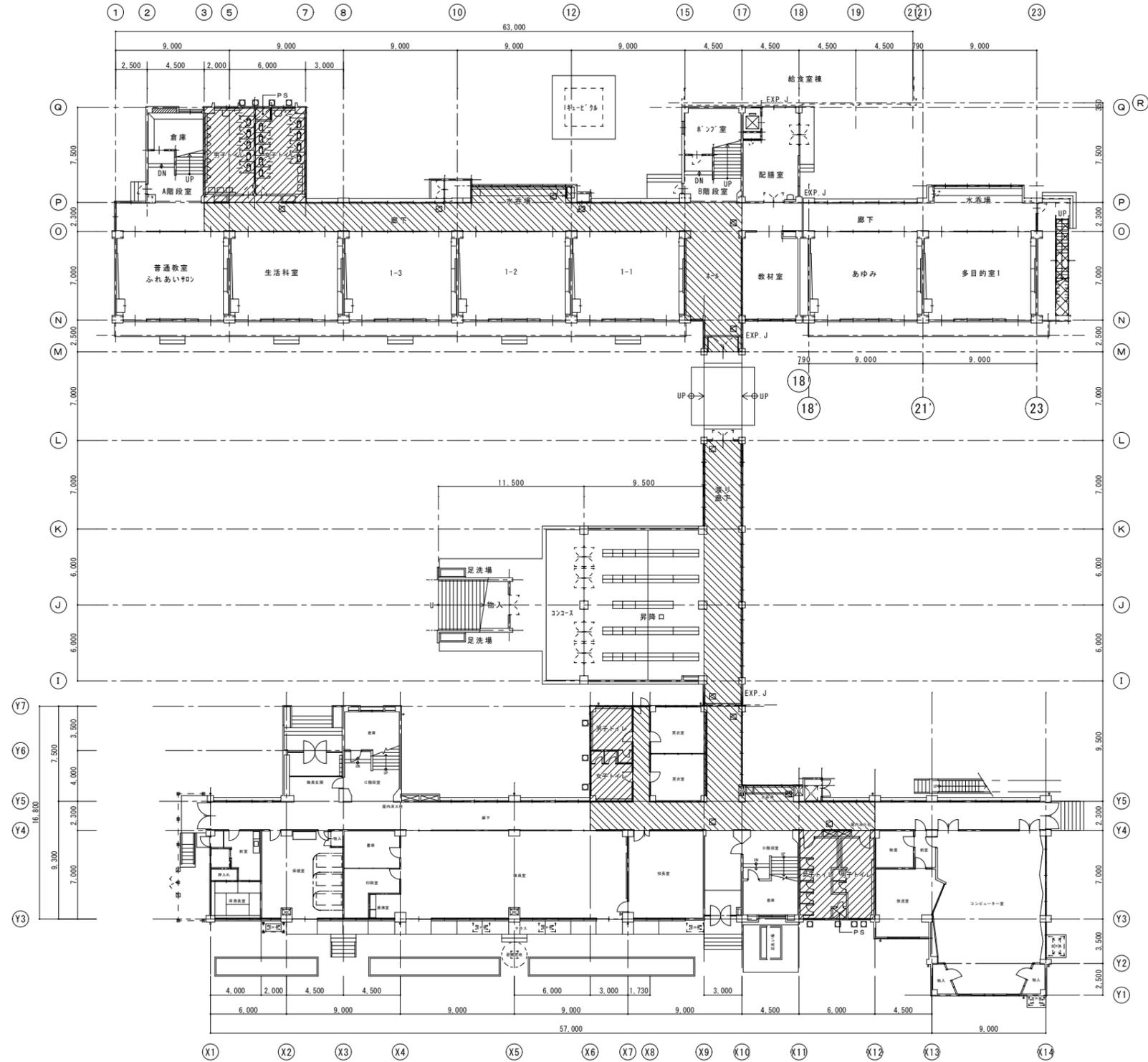
AL	アルミ
ALC	軽量気泡コンクリート
AS	アスファルト
RC	鉄筋コンクリート
CB	コンクリートブロック
FA	フリアクセリア
GW	グラスウール(ボート)
LGS	軽量鉄骨
GL	ガラス
PB	石膏ボード
PLB	石膏ボード

PC	プレキャストコンクリート
PVC	塩化ビニル
RW	ロックウール
S	スチール
SGL	配管用炭素鋼管
ST	ステンレス
VP	硬質塩化ビニル管
W	木質
RS	セメント押出成型板
SL	セメントリソウ材
UB	エポキシ

OP	油性珪酸塩ペイント
SOP	合成樹脂珪酸塩ペイント
ALP	アルミペイント
FE	フェニール樹脂珪酸塩
OS	オイルペイント
OSW	オイルペイント・ワックス
OSQL	オイルペイント・ラッカー
UE	2種ウレタン珪酸塩
UEC	2種ウレタン珪酸塩
CL	クリヤー珪酸塩
LE	ラッカー珪酸塩

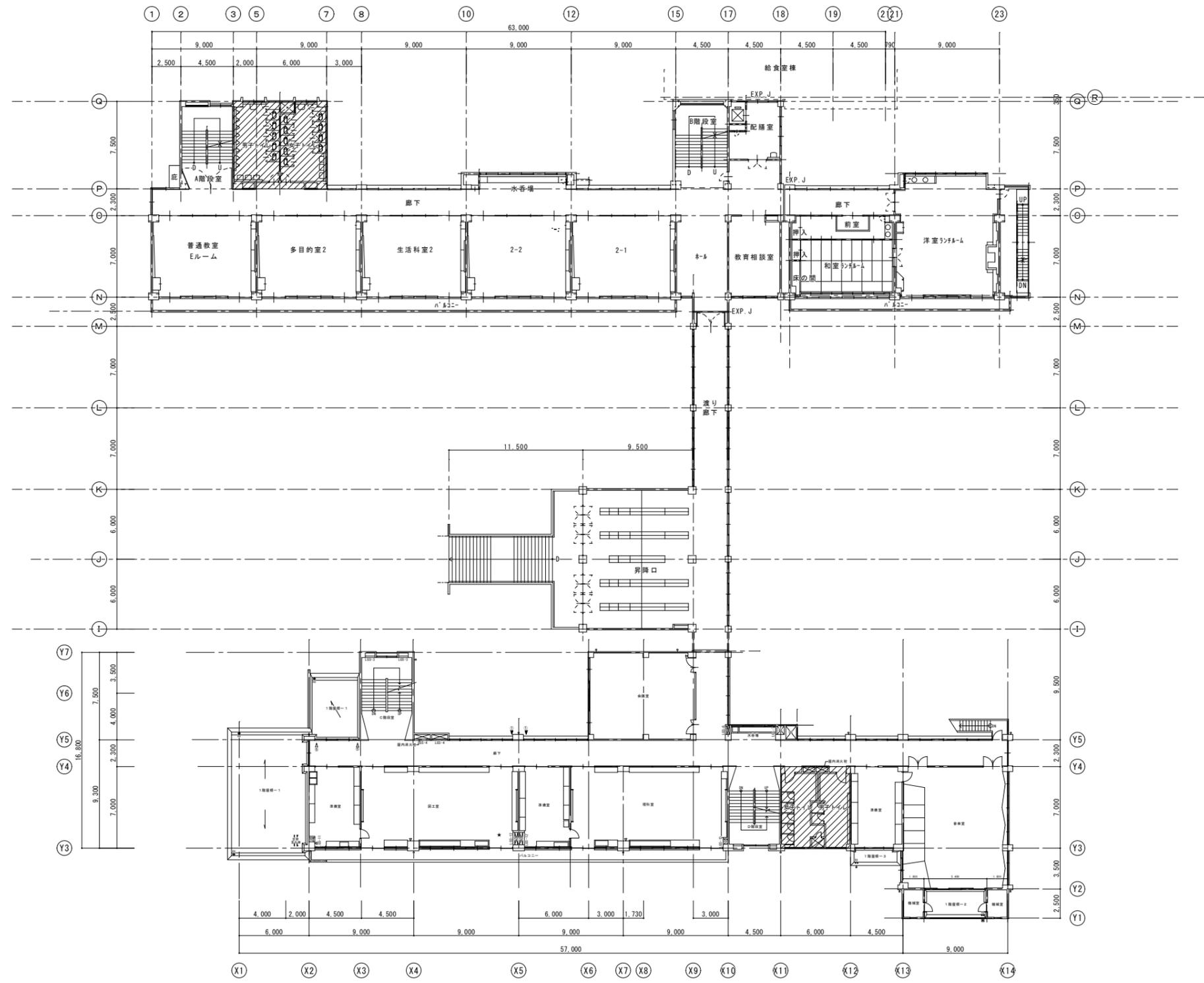
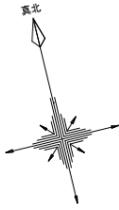
AE	アクリル珪酸塩
VE	塩化ビニル珪酸塩
EP-1	JIS K5663 1種珪酸塩
EP-2	JIS K5663 2種珪酸塩
AB-E	アクリル樹脂珪酸塩
PP	ポリアクリル樹脂珪酸塩
EP	合成樹脂珪酸塩
OSV	オイル珪酸塩

H	高さ
W	巾
D	深さ
T	厚さ
R	半径
EXP-J	エクスパンションジョイント
EV	エレベーター
CD	コンクリートダクト



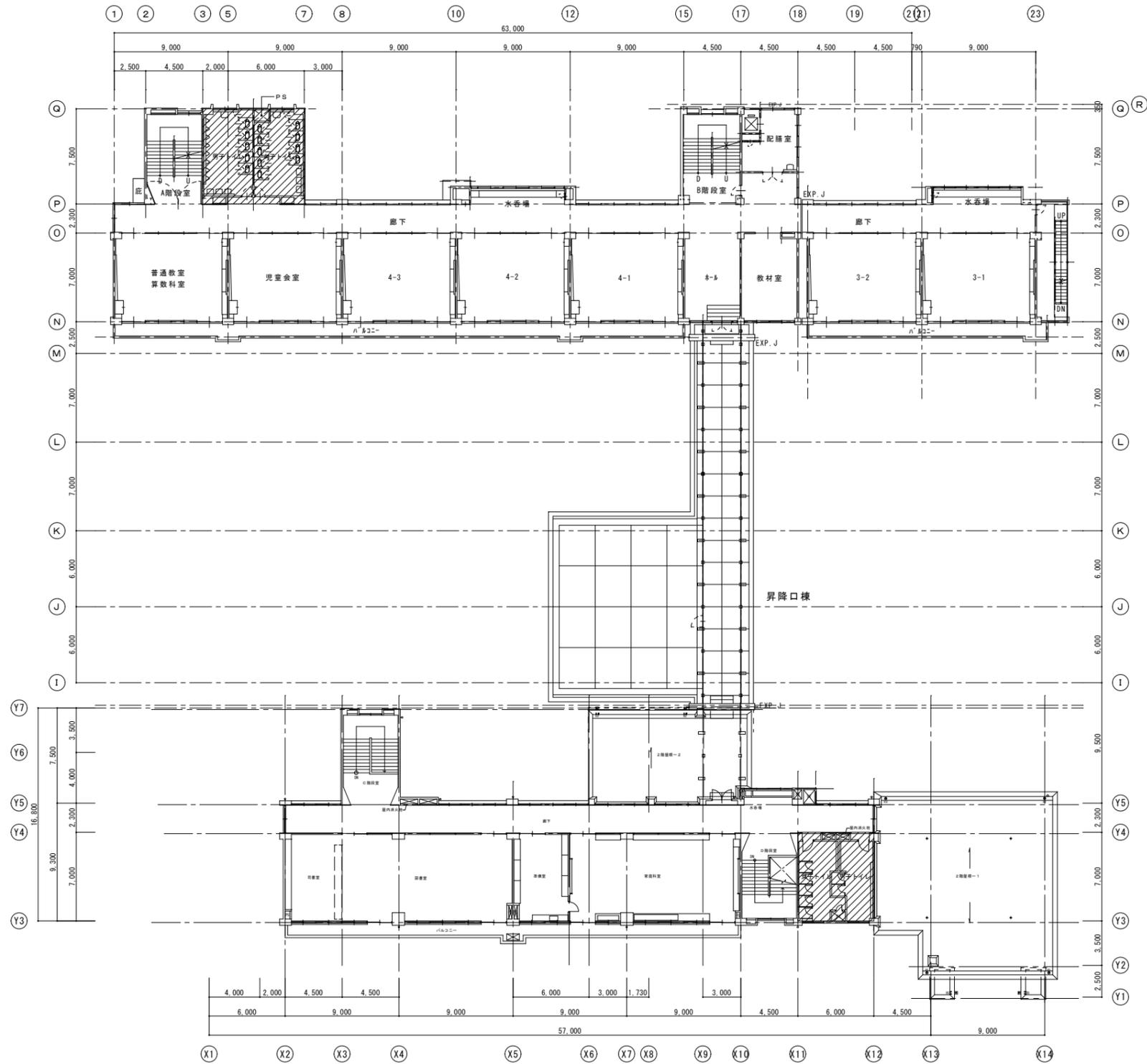
1階平面図 (改修前) S=1/200

- : 廊下内既設天井点検口(12箇所)撤去・新設
- : トイレ改修工事範囲
- : 天井改修工事範囲



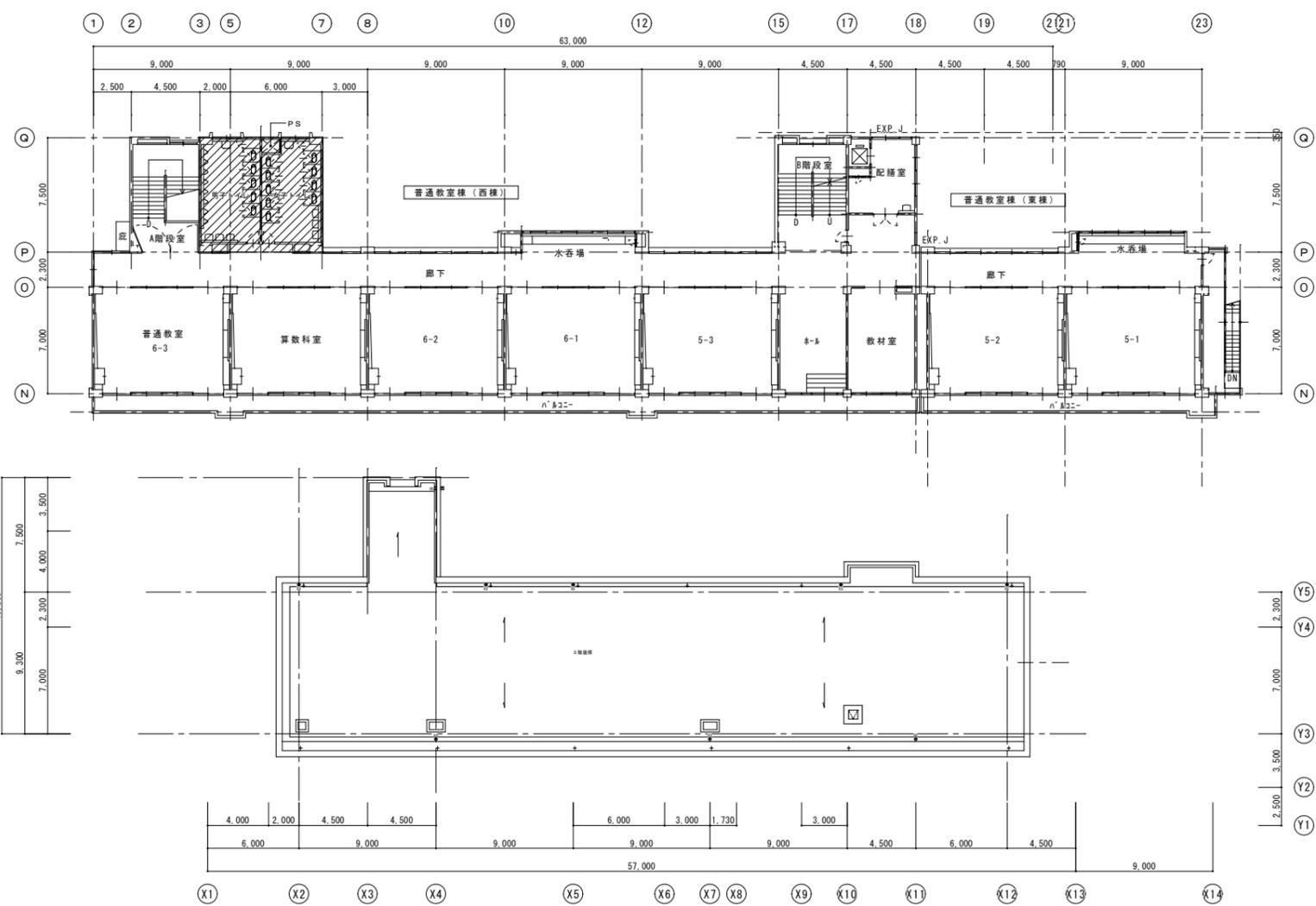
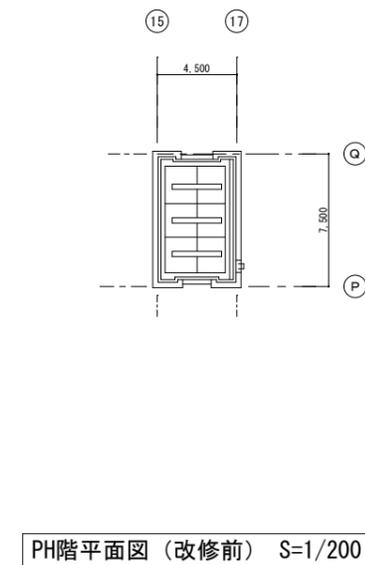
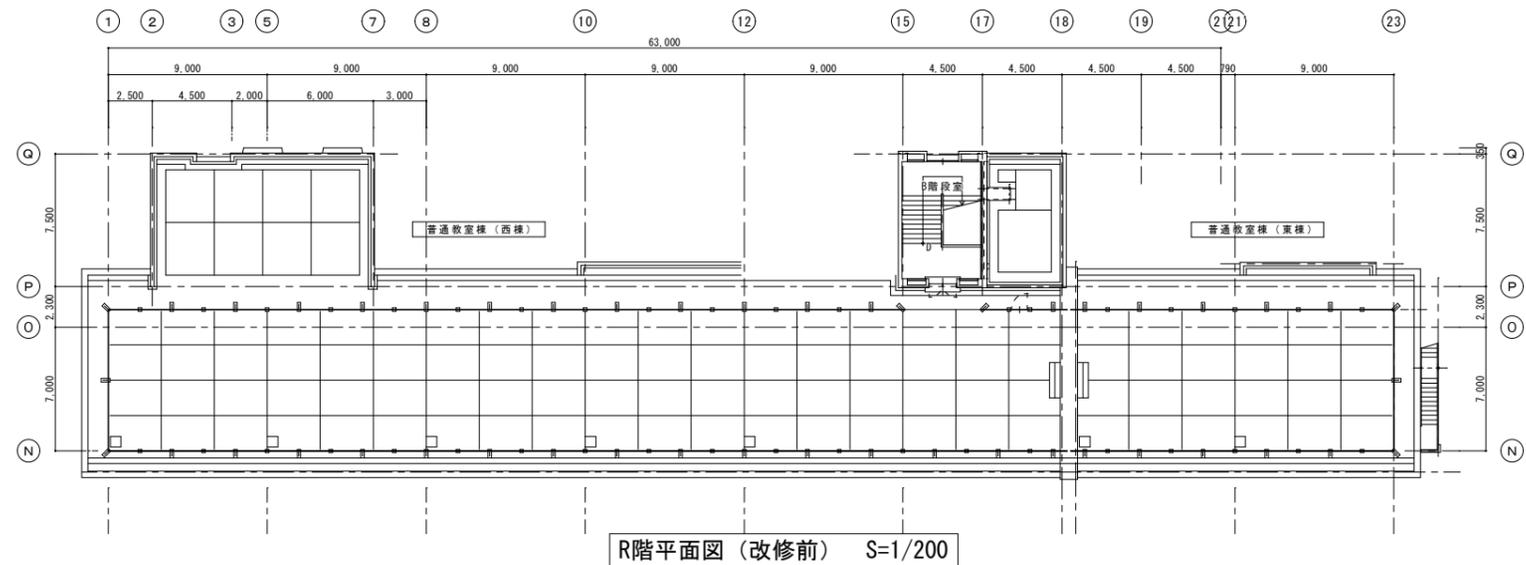
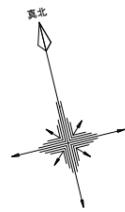
 : トイレ改修工事範囲

2階平面図 (改修前) S=1/200



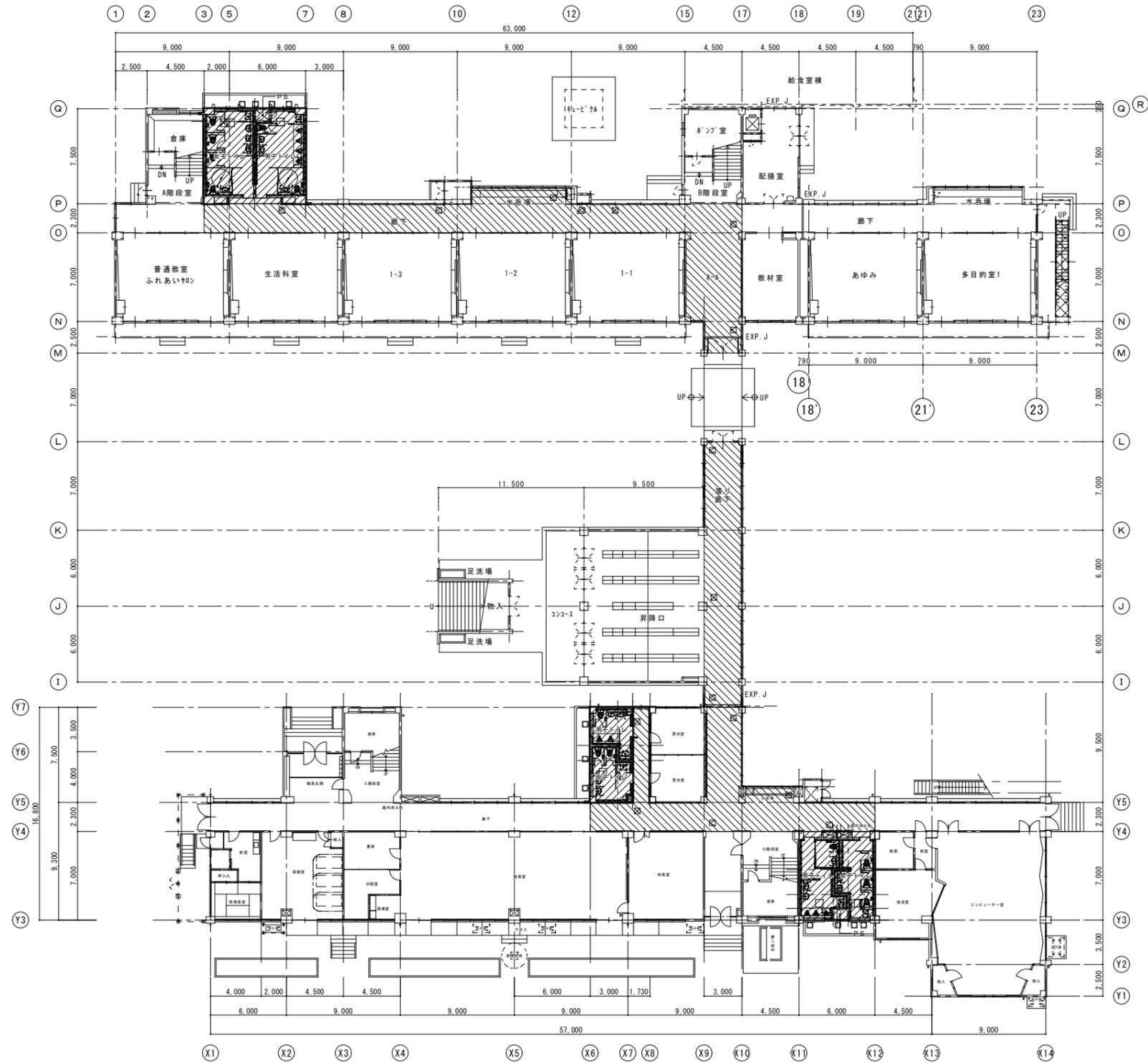
 : トイレ改修工事範囲

3階平面図 (改修前) S=1/200



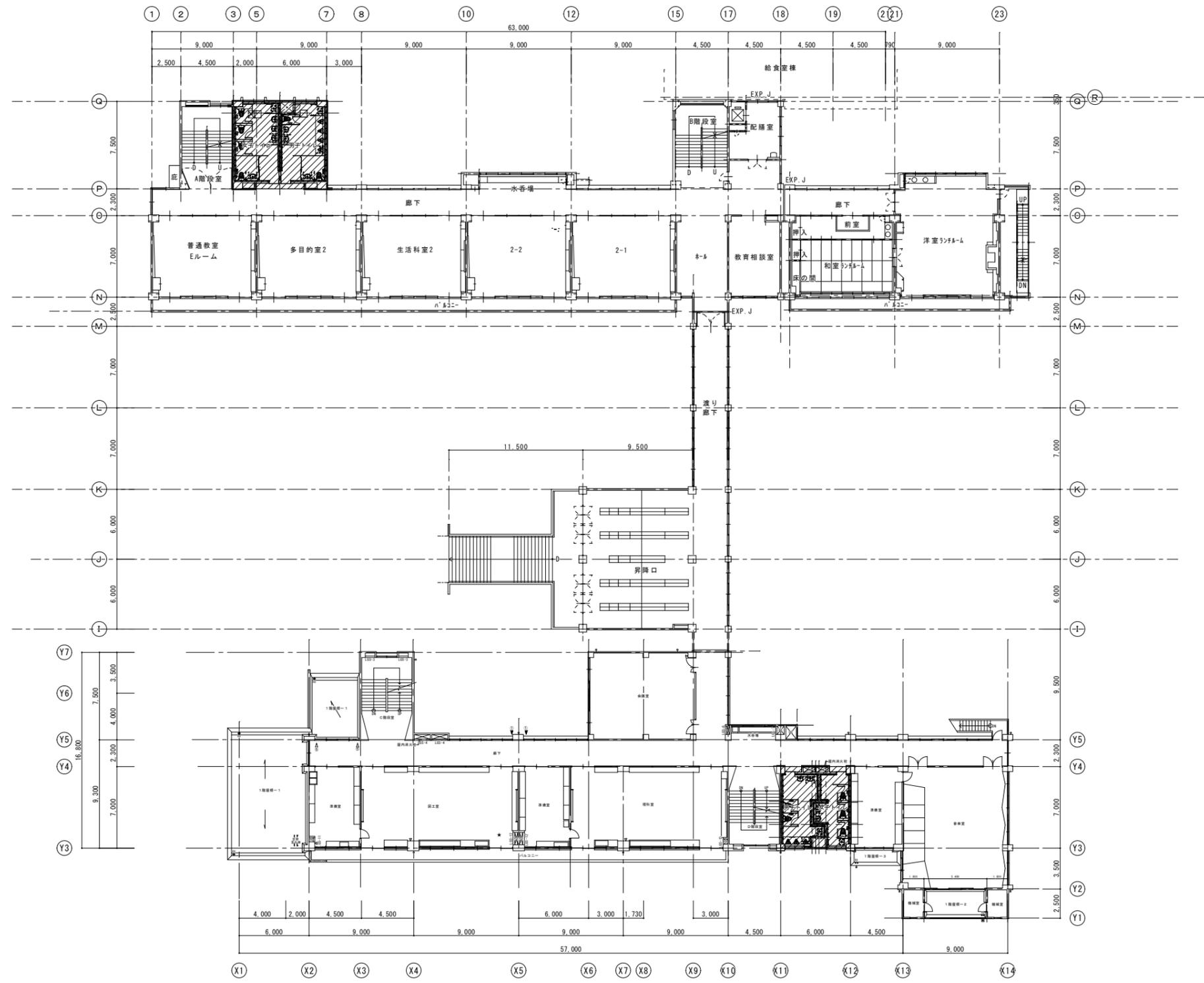
: トイレ改修工事範囲

4階平面図 (改修前) S=1/200



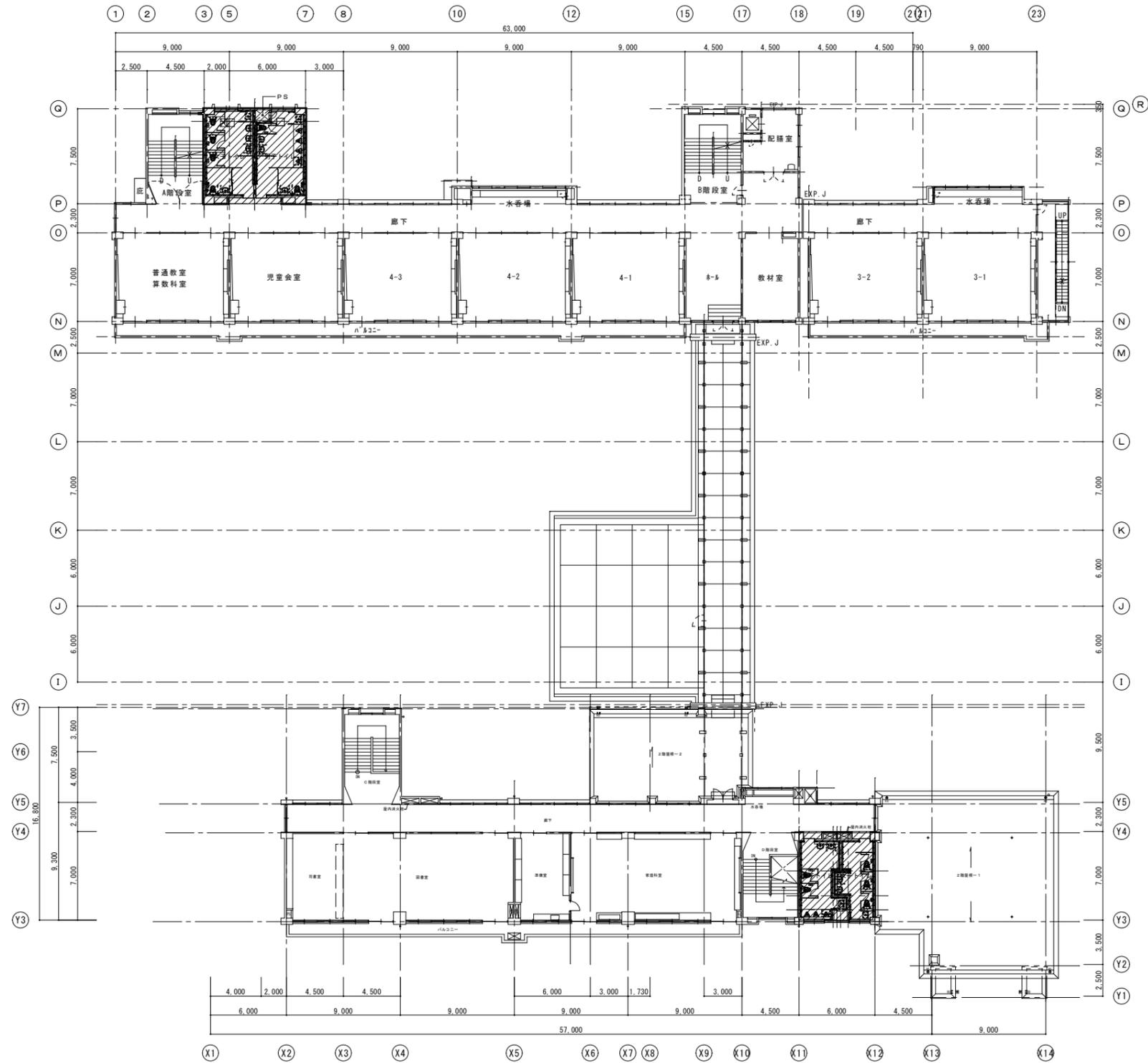
-  : 廊下内新規天井点検口 (4箇所)
-  : 廊下内既設天井点検口 (12箇所) 撤去・新設
-  : トイレ改修工事範囲
-  : 天井改修工事範囲

1階平面図 (改修後) S=1/200



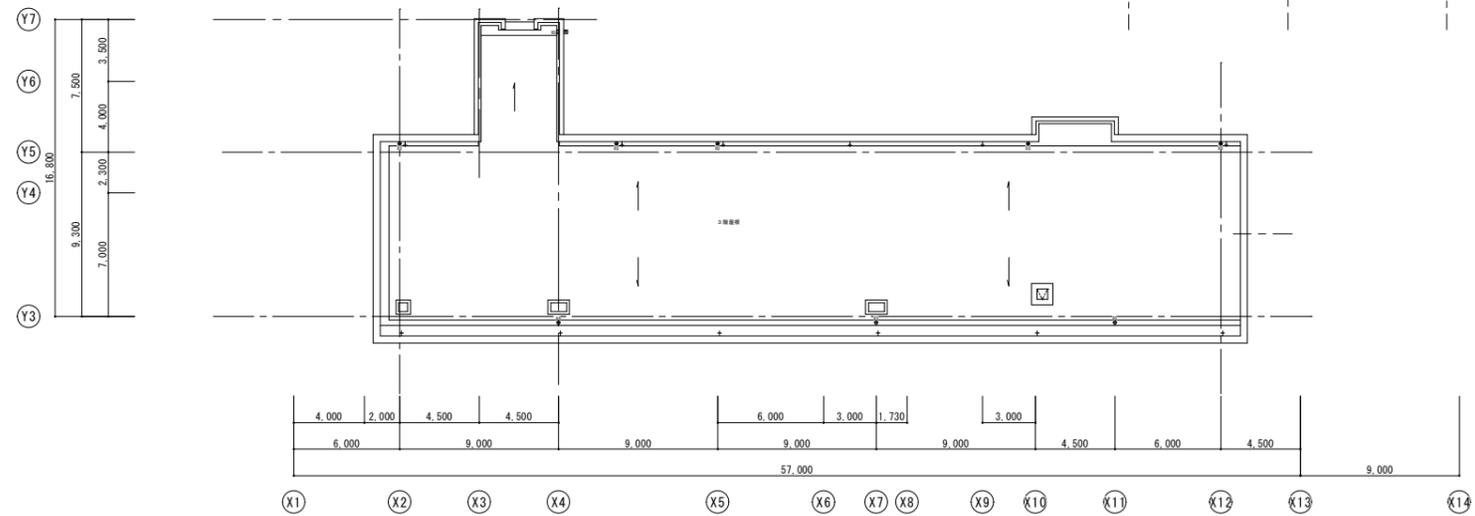
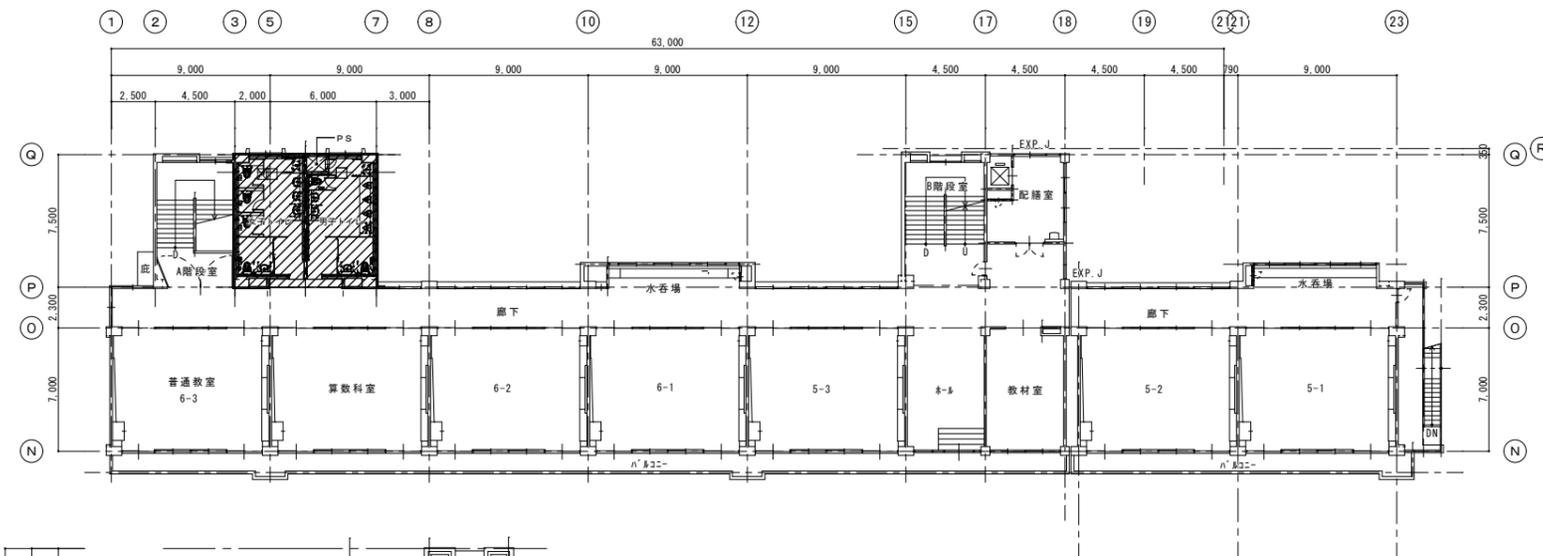
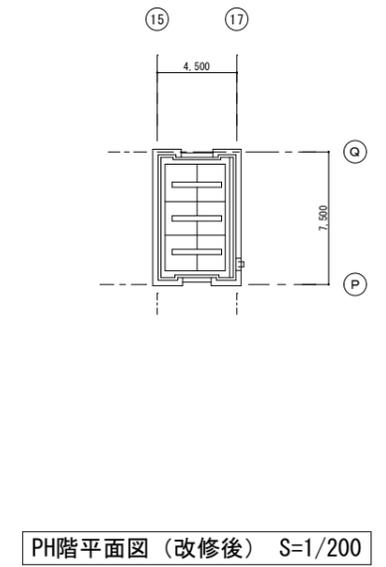
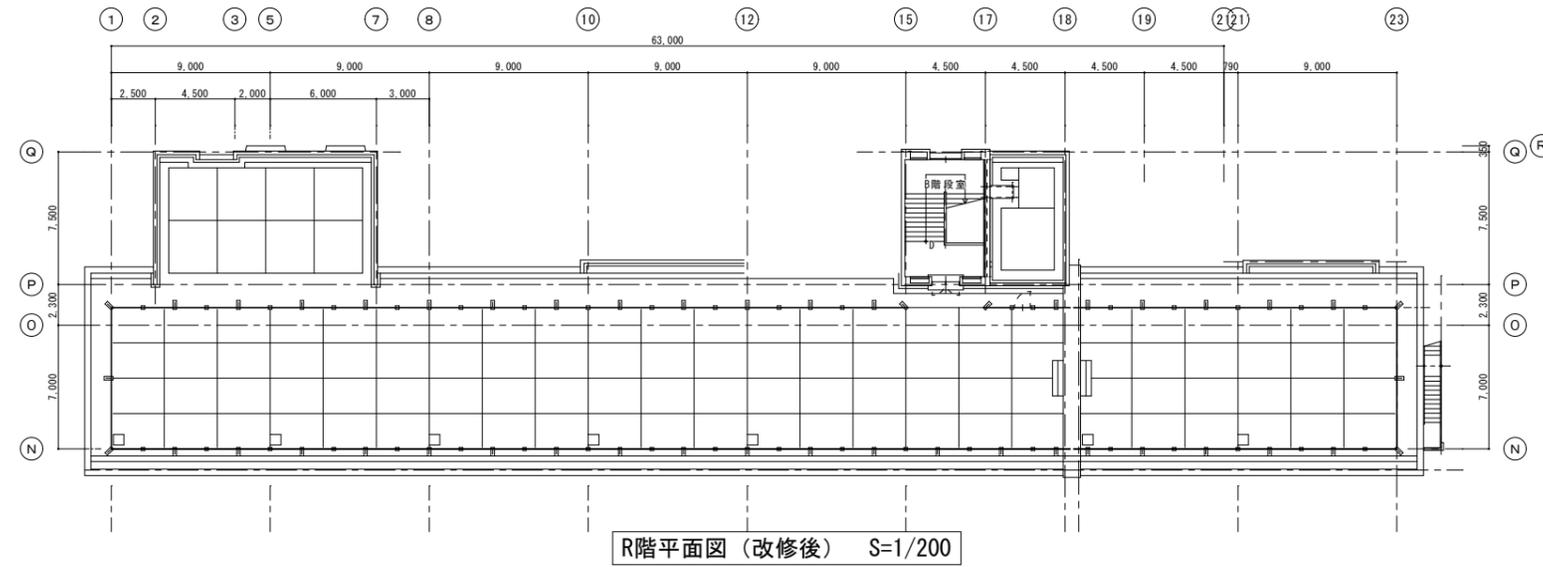
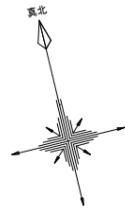
: トイレ改修工事範囲

2階平面図 (改修後) S=1/200



 : トイレ改修工事範囲

3階平面図 (改修後) S=1/200

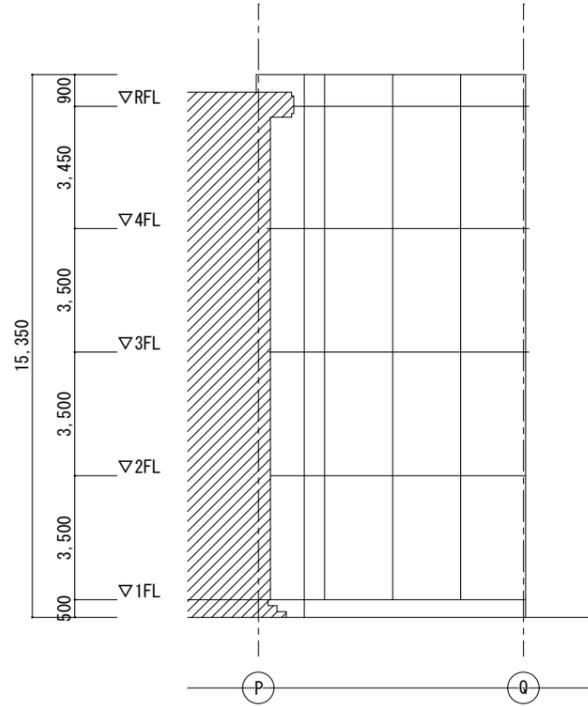


 : トイレ改修工事範囲

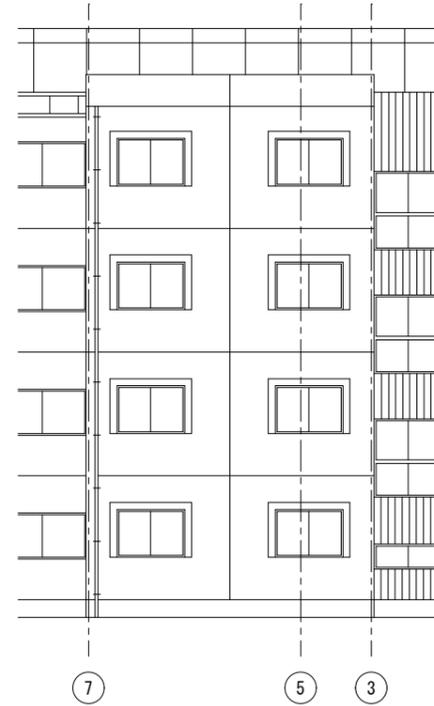
4階平面図 (改修後) S=1/200

普通教室棟 外部仕上		
外 壁	コンクリート打放しリシシガン吹付	既存のまま
柱 梁 型	コンクリート打放しリシシガン吹付	既存のまま
外 巾 木	コンクリート打放し	既存のまま
堅 種	堅種：硬質塩ビパイプ OP 75.100φ 支持金物	既存のまま
その他		

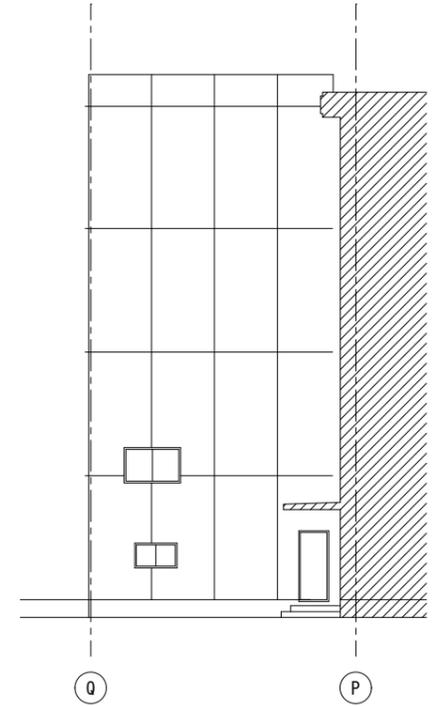
管理特別教室棟 外部仕上		
外 壁	コンクリート打放しリシシガン吹付	既存のまま
柱 梁 型	コンクリート打放しリシシガン吹付	既存のまま
外 巾 木	コンクリート打放し	既存のまま
堅 種	堅種：硬質塩ビパイプ OP 75.100φ 支持金物	既存のまま
その他		



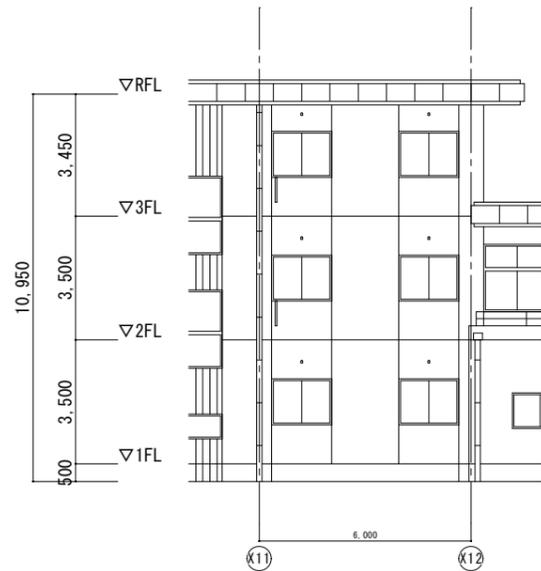
普通教室棟 東立面図 (改修前・後) S=1/100



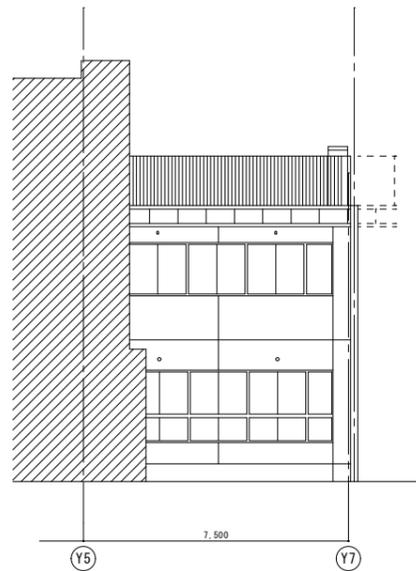
普通教室棟 北側立面図 (改修前・後) S=1/100



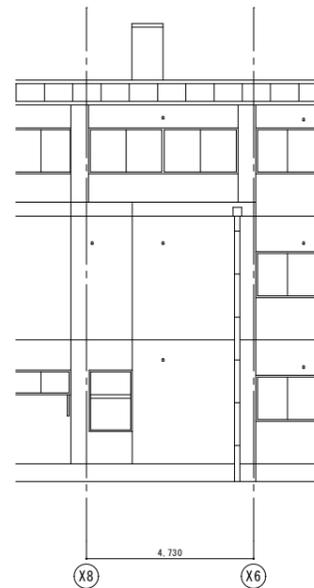
普通教室棟 西立面図 (改修前・後) S=1/100



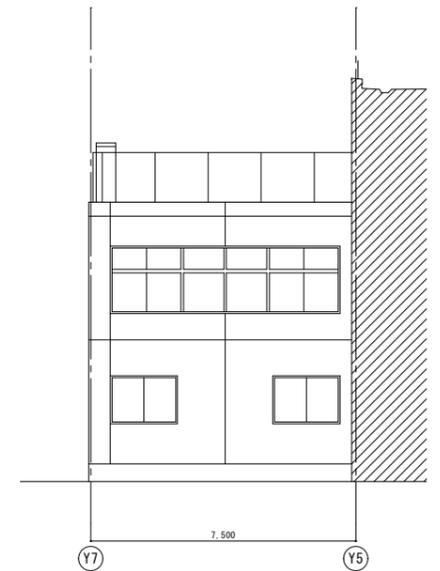
管理特別教室棟(児童用) 南側立面図 (改修前・後) S=1/100



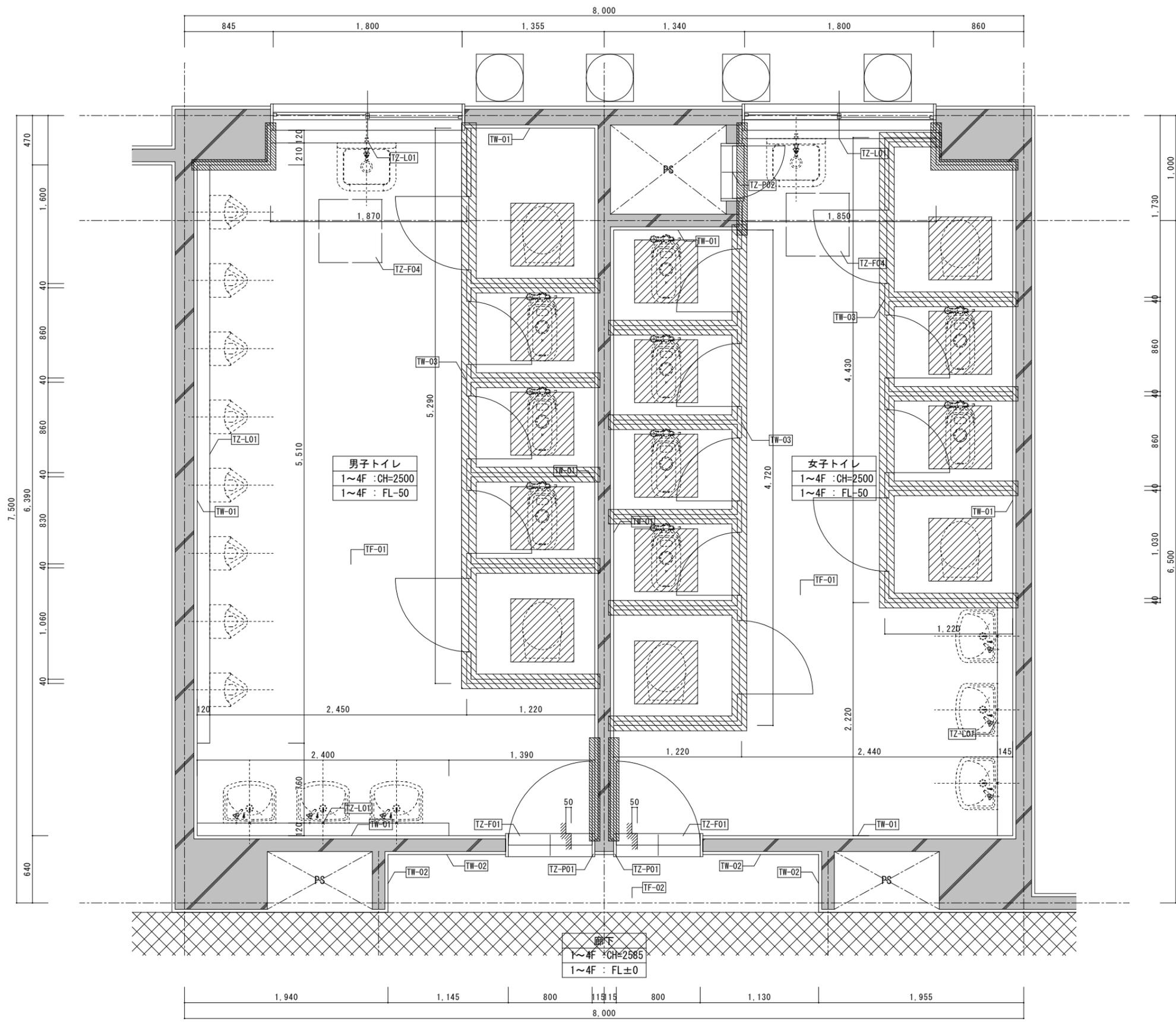
管理特別教室棟(職員用) 東立面図 (改修前・後) S=1/100



管理特別教室棟(職員用) 北側立面図 (改修前・後) S=1/100



管理特別教室棟(職員用) 西側立面図 (改修前・後) S=1/100



床撤去凡例	撤去項目仕様
TF-01	25角磁器質タイル貼[モルタル下地共] (既存のまま)
TF-02	硬質塩ビ系タイル貼
TF-03	
特記事項	
斜線: 既存便器撤去床スラブ 復旧部分を示す。	

壁撤去凡例	撤去項目仕様
TW-01	半磁器100角色タイル[腰壁] (一部撤去)、モルタル金網の上VP塗装
TW-02	モルタル金網の上、EP塗装
TW-03	トイレノース
特記事項	
斜線: 壁撤去範囲を示す。	
点線: タイル撤去範囲を示す。	

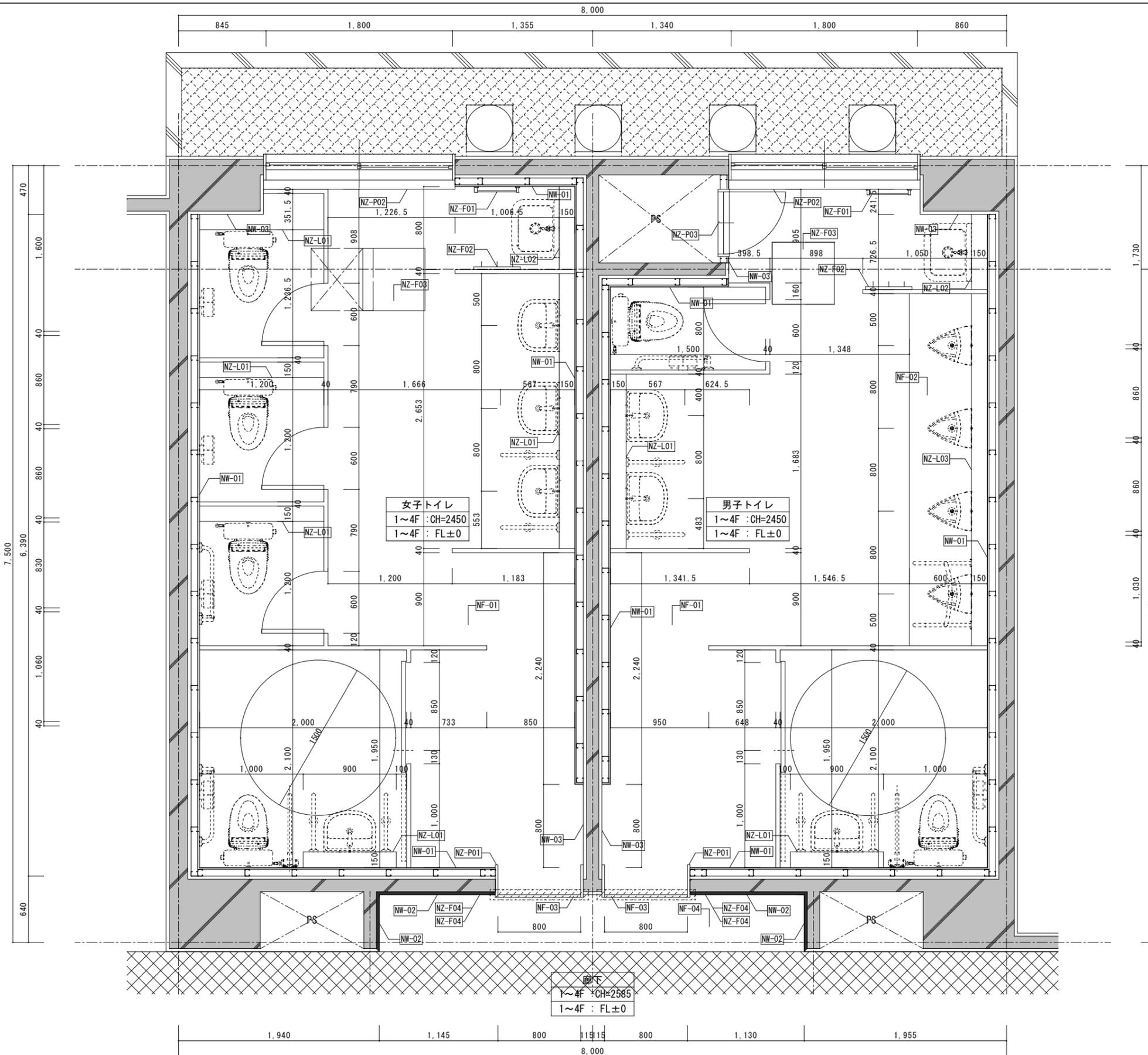
天井撤去凡例	撤去項目仕様
※天井伏図参照	

建具・造作物撤去凡例	撤去項目仕様
ライニング	TZ-L01 立上り: コンクリートブロック下地、タイル張り 天板: 珪藻土ブロック
家具その他	TZ-F01 櫃: 珪藻土ブロック 200x60
	TZ-F02
	TZ-F03
	TZ-F04 床下点検口カバー共 (1階のみ)
	TZ-F05 掃除用具入れ
建具	TZ-P01 木製建具 (四方枠、欄間共)
	TZ-P02 鋼製建具
	TZ-P03

凡例	
コンクリート壁	
廊下トイレ改修工事範囲外を示す	
トイレ	部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。 FLからの高さを示す。

外構凡例	
排水樹	





床新設凡例	新設項目仕様
NF-01	ビニル床シート t=2.0
NF-02	トイレ専用防滑性ビニル床シート t=2.0
NF-03	床見切材 (ステンレス製)
NF-04	ビニル床タイル t=2.0

特記事項
床下地 エポキシ樹脂の上、置床
ここに示す段差部はステンレス目地部分を示す。

壁新設凡例	新設項目仕様
NW-01	耐水PB t=12.5+化粧珪酸カルシウム板 t=6.0
NW-02	既存壁下地処理の上、EP-G塗装
NW-03	既存壁下地処理の上、珪酸化樹脂 t=3.0 タイル部撤去後補修の上、珪酸化樹脂 t=3.0

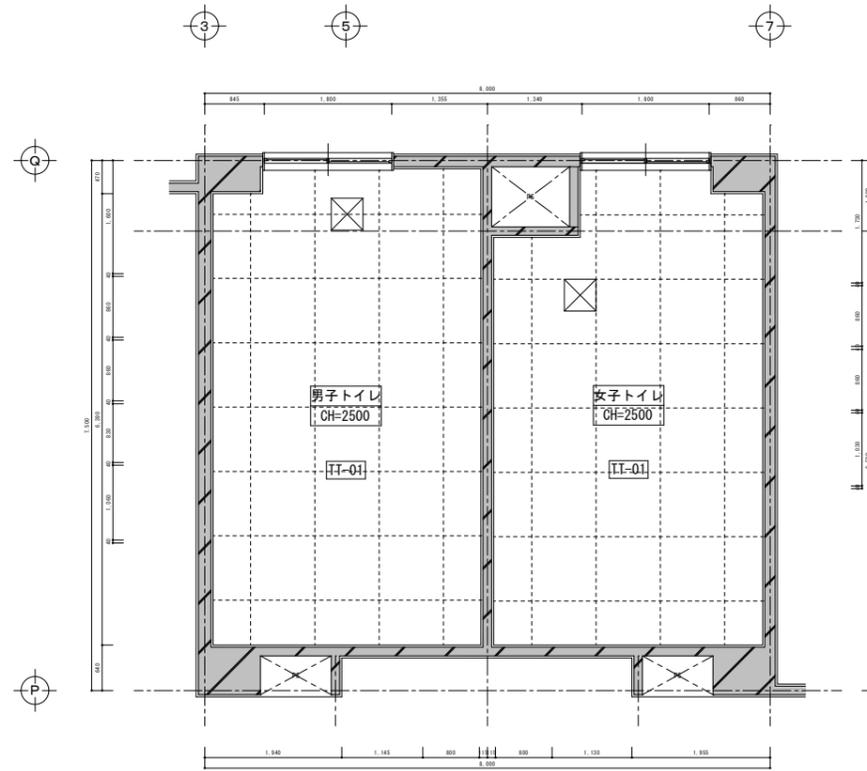
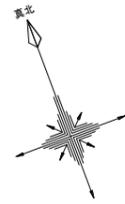
建具・造作物新設凡例	新設項目仕様
洗面台	NZ-L01 壁 (洗面器部) : LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ性珪酸樹脂化粧板 t=3.0 天板 : 珪酸樹脂 t=20 端部R付
	NZ-L02 壁 (手すり・SK部) : LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ性珪酸樹脂化粧板 t=3.0 天板 : 珪酸樹脂 t=20 端部R付
	NZ-L03 壁 (小便器部) : LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ性珪酸樹脂化粧板 t=3.0 天板 : 珪酸樹脂 t=20 端部R付
家具その他	NZ-F01 雑巾掛け (位置が開閉部に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F02 タオル掛け
	NZ-F03 床下点検口 (1階のみ)
	NZ-F04 ビケトラフ (男子トイレ、女子トイレ、だれでもトイレ)
建具	NZ-P01 三方枠 : 亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装
	NZ-P02 木製額縁 EP-G塗装 (新設)
	NZ-P03 ステンレス (焼付塗装)、ドアノブを含む

凡例	
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	廊下トイレ改修工事範囲外を示す
トイレ 〇 一部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。 FL=100 FLからの高さを示す。	

※廊下床見切り撤去後復旧 : 塩ビ系タイル (t=2.0、既存同色) による復旧とする (300mm程度の範囲を見込む)
 ※設計段階での調査箇所 : 廊下巾木、廊下床塩ビ系タイル、廊下天井石膏ボード、トイレ天井珪酸樹脂化粧板
 ※設計段階での調査により判明した石綿含有建材 : 廊下巾木、廊下床塩ビ系タイル

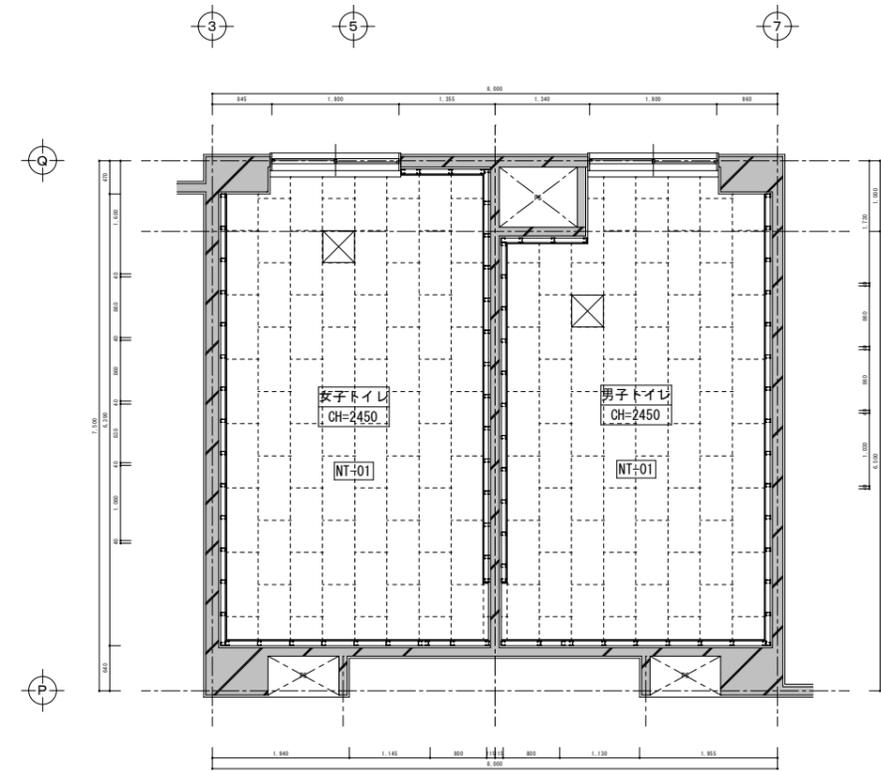
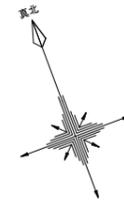
外構工事凡例	
	排水孔
	CR擁壁 (3段積)
	寄土部分





普通教室棟 1~4階トイレ 天井伏図 (改修前) S=1/50

天井撤去凡例	撤去項目仕様
TT-01	フルキタ'株'-t' t=4.0[軽量鉄骨下地、廻縁共]
	450角 天井点検口 (7#3枠)



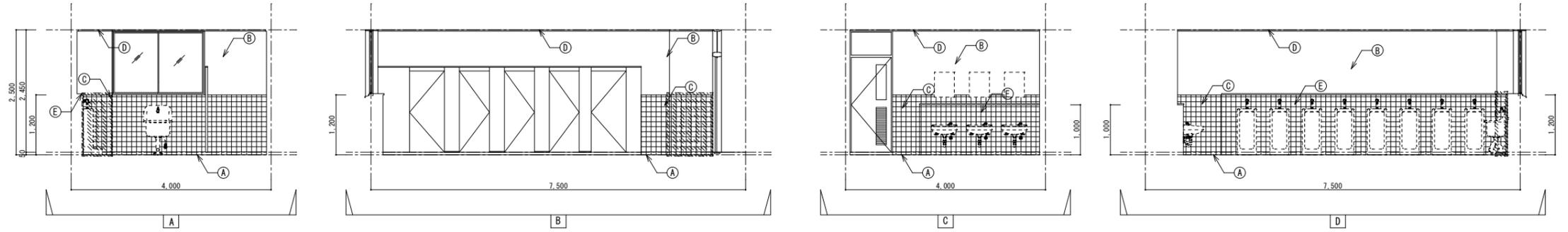
普通教室棟 1~4階トイレ 天井伏図 (改修後) S=1/50

天井新設凡例	新設項目仕様
NT-01	不燃化粧PB t=9.5[塩t'製廻縁、軽量鉄骨下地]
	450角 天井点検口 (7#3枠) ※設置位置は監督員と協議

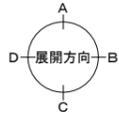
凡例

	コンクリート壁
	LGS下地壁
	事務室 部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。

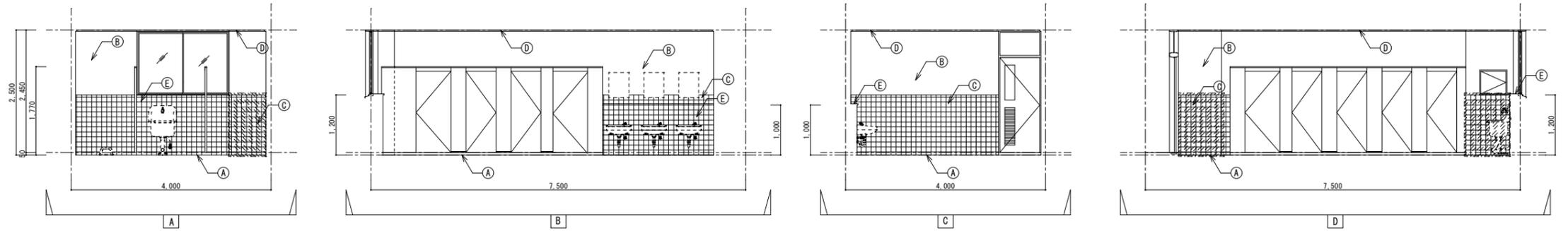
男子トイレ



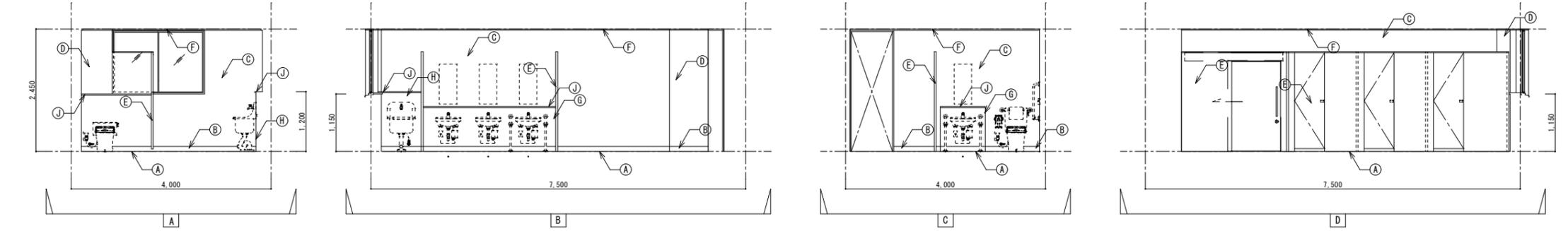
仕上凡例			
床	25角磁器質タイル貼付(タイル貼付下地共)	既存のまま	A
壁	珪藻土塗料 EP	既存のまま	B
障壁	半磁器100角タイル	一部撤去	C
天井	フックボード VP	撤去	D
廻り縁	塩ビ製	撤去	
サッシ	立上り：CB下地、100角半磁器タイル	撤去	E
	天板：フックボード	撤去	
	トリプルガラス	撤去	
備考	扉：フックボード 200x60	撤去	
	床下点検口移設（1階のみ）	撤去	



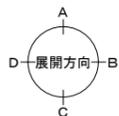
女子トイレ



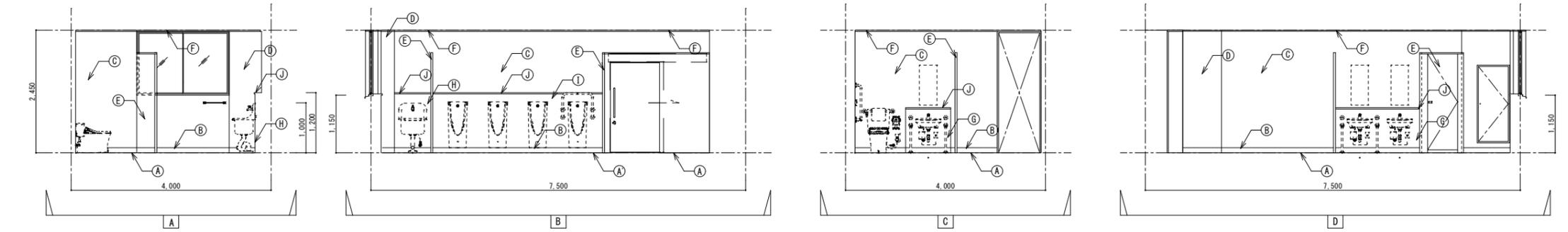
女子トイレ



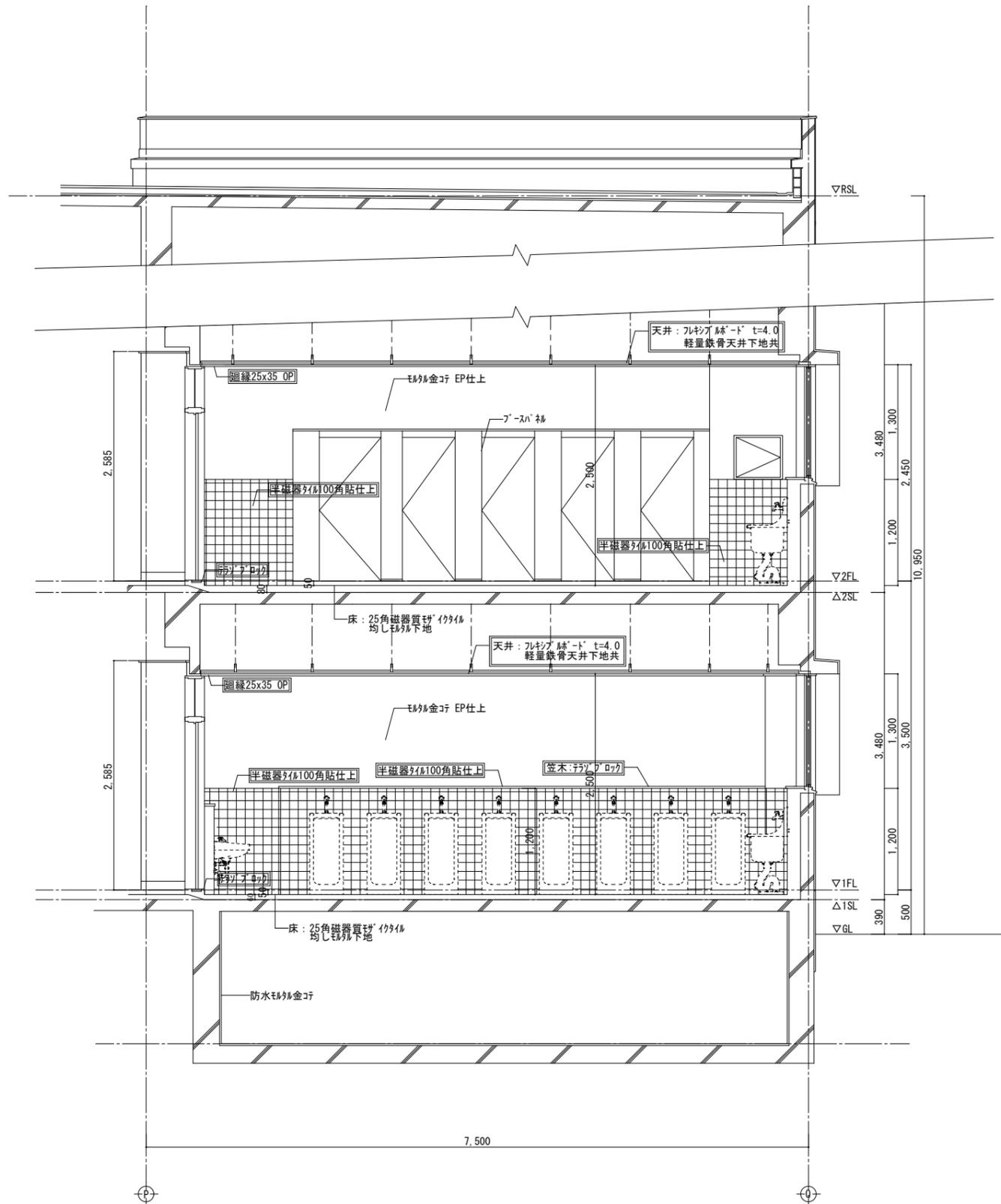
仕上凡例			
床	既存タイルの上、珪藻土タイル		A
	乾式二重床：ハチケルボード t=20 + 耐水合板 t=12の上、ビニルシート t=2.0		A'
巾木	既存タイルの上、珪藻土タイル		B
	乾式二重床：ハチケルボード t=20 + 耐水合板 t=12の上、トリプルガラス		B'
壁	ビス床シート巻上げ		C
	(壁見切り材押え) h=100		C'
ガラス	LGS下地、耐水PB t=12.5の上、化粧珪藻土合板 t=6.0		D
	珪藻土補修 + フォス化珪藻土合板 t=3.0		D'
天井	珪藻土撤去珪藻土補修の上 フォス化珪藻土合板 t=3.0		E
廻り縁	高圧珪藻土珪藻土合板		F
サッシ	LGS下地、不燃化粧PB t=9.5		G
	珪藻土補修 + フォス化珪藻土合板 t=3.0		G'
備考	壁(洗面器部)：LGS下地、耐水合板 t=24の上、抗汚染珪藻土珪藻土合板 t=3.0		H
	壁(手すり・SK部)：LGS下地、耐水合板 t=18の上、抗汚染珪藻土珪藻土合板 t=3.0		H'
	壁(小便器部)：LGS下地、耐水合板 t=12の上、抗汚染珪藻土珪藻土合板 t=3.0		I
	天板：珪藻土ボード t=20 端部R付		J
	汚垂部：トリプル防汚性珪藻土床シート t=2.0		J'
	フックボード・鏡巾掛け		K
	床下点検口（汚移新設）（1階のみ）		L
	天井点検口（新設）		L'
	木製珪藻土 EP-G塗装		M
	三方枠：珪藻土珪藻土合板 EP-G塗装		M'
	XFボード：焼付塗装		N



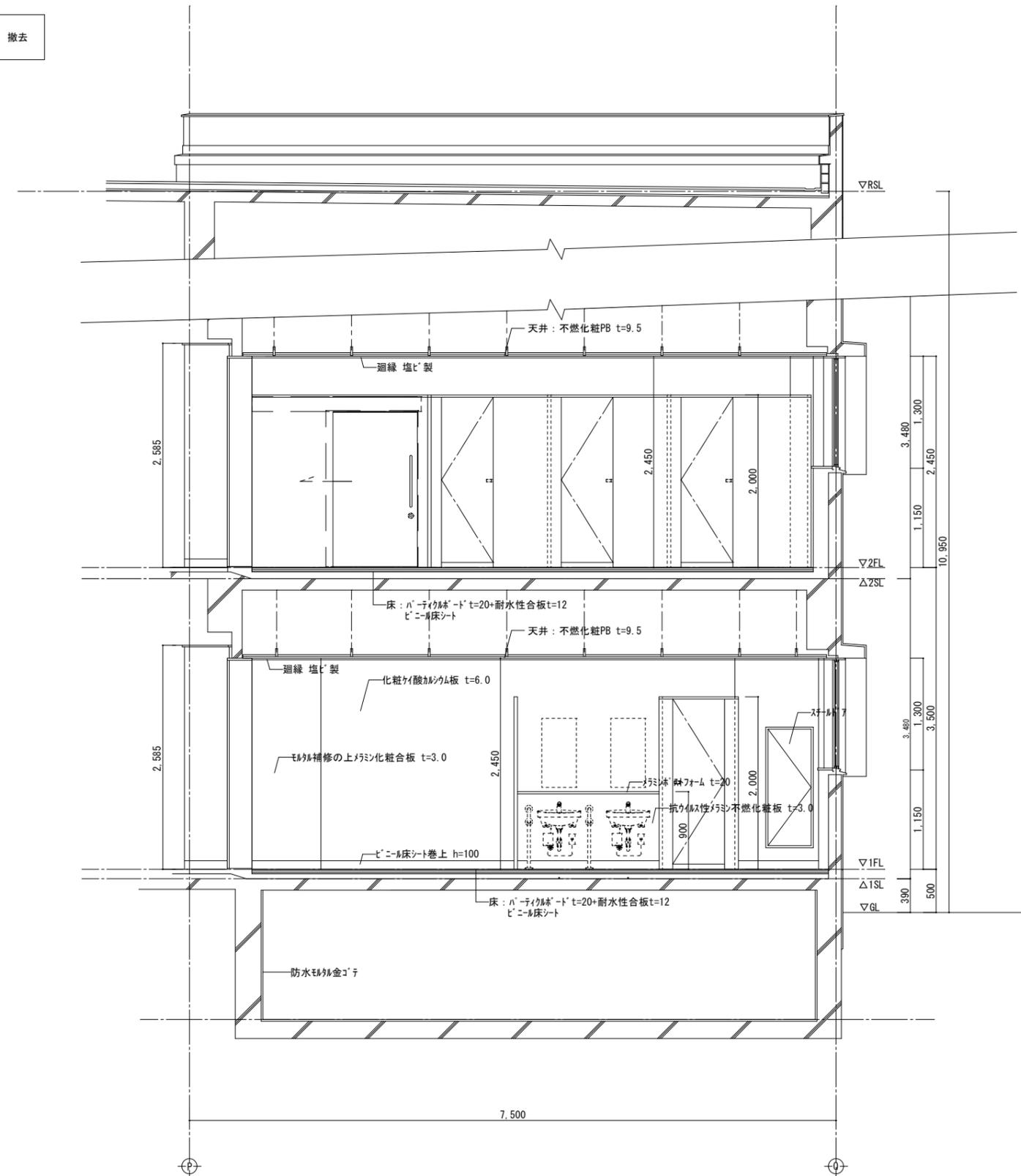
男子トイレ



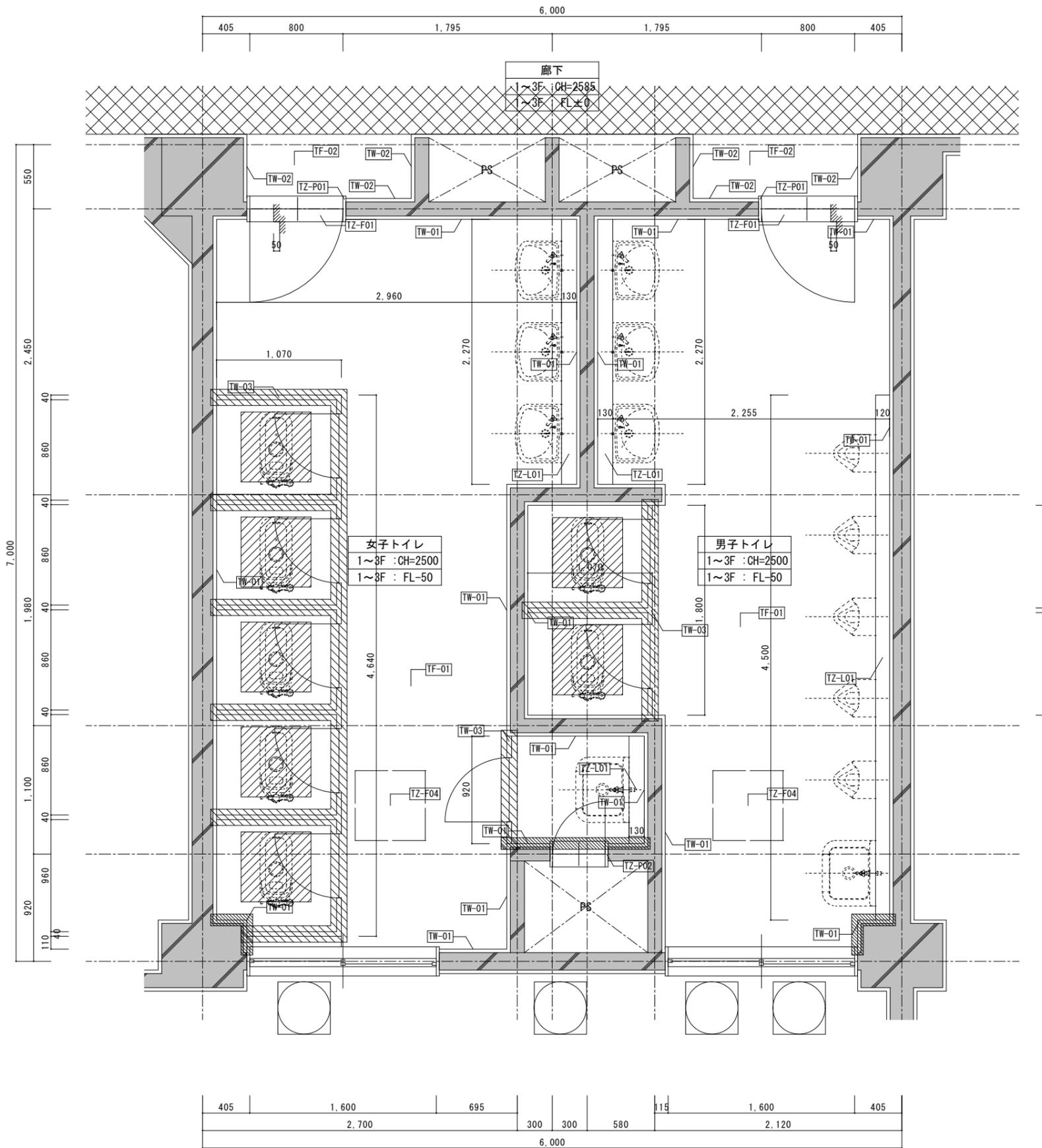
凡例
 撤去



断面矩計図 (改修前) S=1/30



断面矩計図 (改修後) S=1/30



床撤去凡例	撤去項目仕様
TF-01	25角磁器質サマイタイル貼[モルタル下地共] (既存のまま)
TF-02	硬質塩ビ系タイル貼
TF-03	
特記事項	
斜線: 既存便器撤去床面が復旧部分を示す。	

壁撤去凡例	撤去項目仕様
TW-01	半磁器100角色タイル腰壁 (一部撤去)、モルタルの上VP塗装
TW-02	モルタルの上、EP塗装
TW-03	トイレース
特記事項	
斜線: 壁撤去範囲を示す。	
斜線: タイル撤去範囲を示す。	

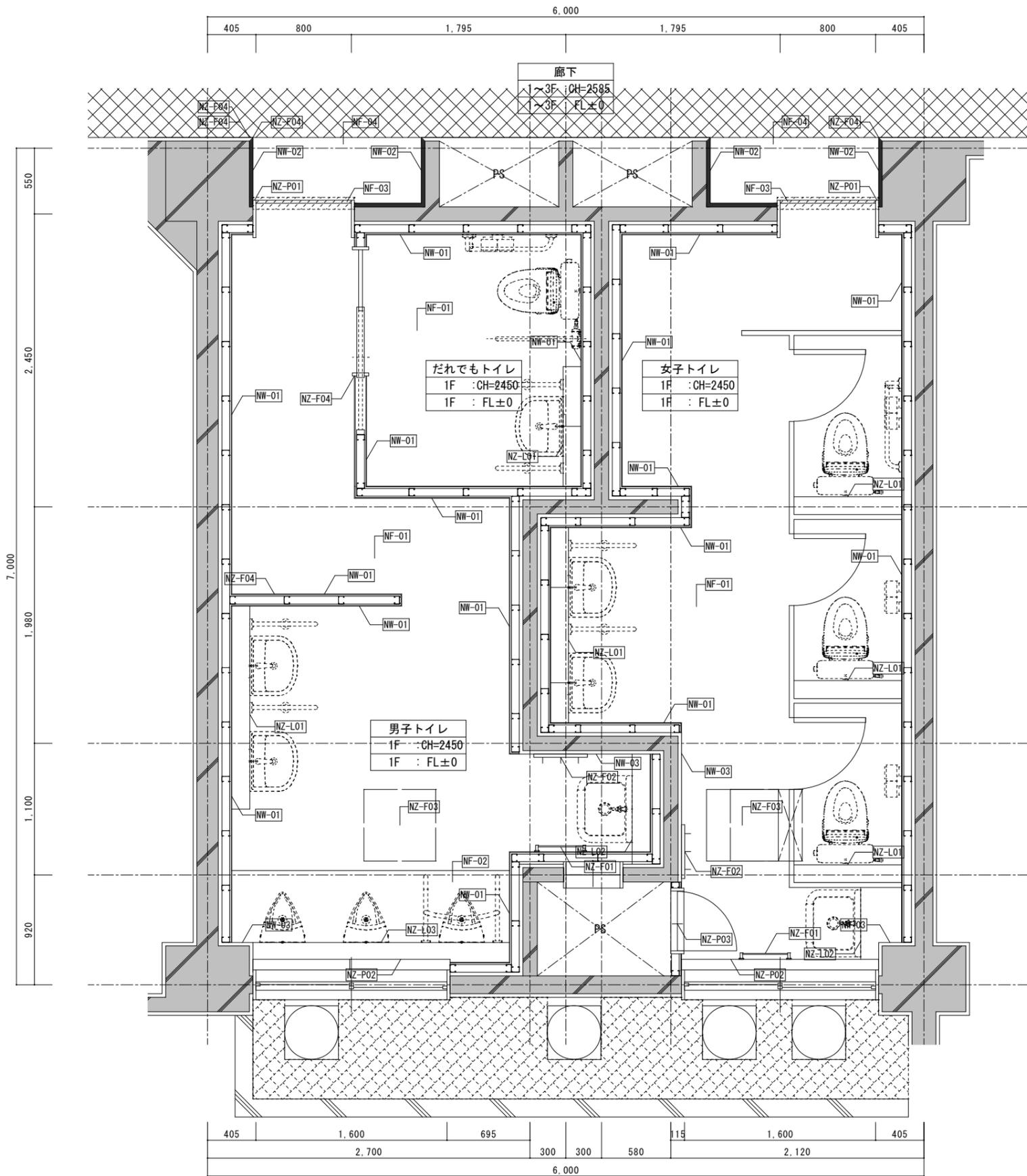
天井撤去凡例	撤去項目仕様
	※天井伏図参照

建具・造作物撤去凡例	撤去項目仕様
ライニング	TZ-L01 立上り: コンクリートブロック下地、タイル張り 天板: 化粧ブロック
家具その他	TZ-F01 櫃: 化粧ブロック 200x60
	TZ-F02
	TZ-F03
	TZ-F04 床下点検口枠共 (1階のみ)
	TZ-F05 掃除用具入れ
建具	TZ-P01 木製建具 (四方枠、欄間共)
	TZ-P02 鋼製建具
	TZ-P03

凡例	
斜線	コンクリート壁
斜線	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
トイレ	部屋名称を示す。
CH=2,400	天井高さを示す。
+100	FLからの高さを示す。

外構凡例	
○	排水樹





床新設凡例	新設項目仕様
NF-01	ビニル床シート t=2.0
NF-02	トリ専用防滑性ビニル床シート t=2.0
NF-03	床見切材 (ステンレス製)
NF-04	ビニル床タイル t=2.0
特記事項	
床下地: 珪藻土・リソールの上、置床	
この図面: 段差部ステンレス目地部分を示す。	

壁新設凡例	新設項目仕様
NW-01	耐水PB t=12.5+化粧珪藻土加珪藻土板 t=6.0
NW-02	既存壁下地処理の上、EP-G塗装
NW-03	既存壁下地処理の上、珪藻土化粧板 t=3.0 タイル部撤去珪藻土補修の上、珪藻土化粧板 t=3.0
特記事項	
新規PS点検口開口部はもみ左官補修すること。	

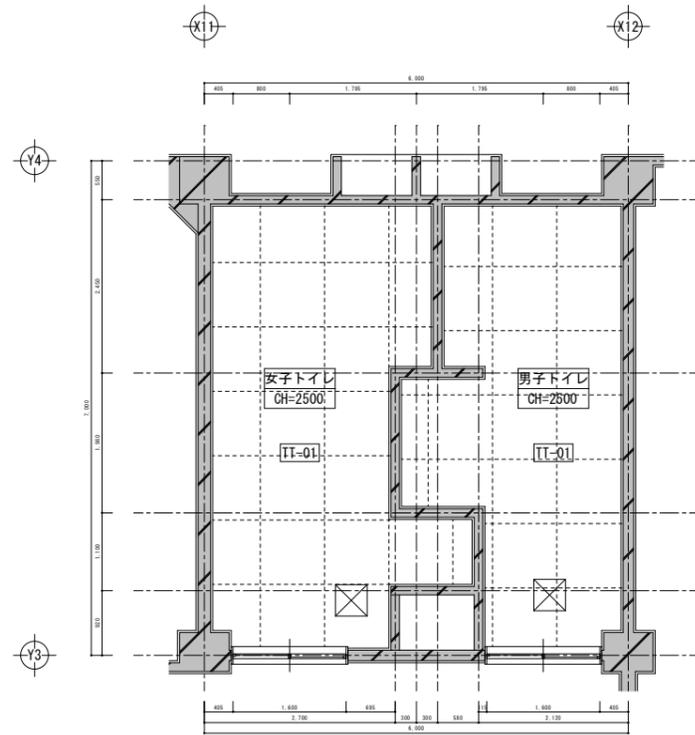
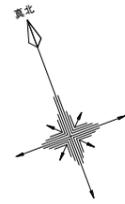
建具・造作物新設凡例	新設項目仕様	
ラミネーティング	NZ-L01	壁(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ性珪藻土不燃化粧板 t=3.0 天板: 珪藻土フォーム t=20 端部R付
	NZ-L02	壁(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ性珪藻土不燃化粧板 t=3.0 天板: 珪藻土フォーム t=20 端部R付
	NZ-L03	壁(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ性珪藻土不燃化粧板 t=3.0 天板: 珪藻土フォーム t=20 端部R付
家具その他	NZ-F01	雑巾掛け (位置が開閉部に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F02	モップ掛け
	NZ-F03	床下点検口 (1階のみ)
	NZ-F04	ビックラ(男子トイレ、女子トイレ、だれでもトイレ)
建具	NZ-P01	三方枠: 亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装
	NZ-P02	木製額縁 EP-G塗装 (新設)
	NZ-P03	スチール(焼付塗装)、トアロ-ザ-含む

凡例	
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
トイレ: 一部屋名を示す。 CH=2400: 天井高さを示す。 +100: FLからの高さを示す。	

外構凡例	
	排水栓
	3段積りCE舗装
	寄土部分

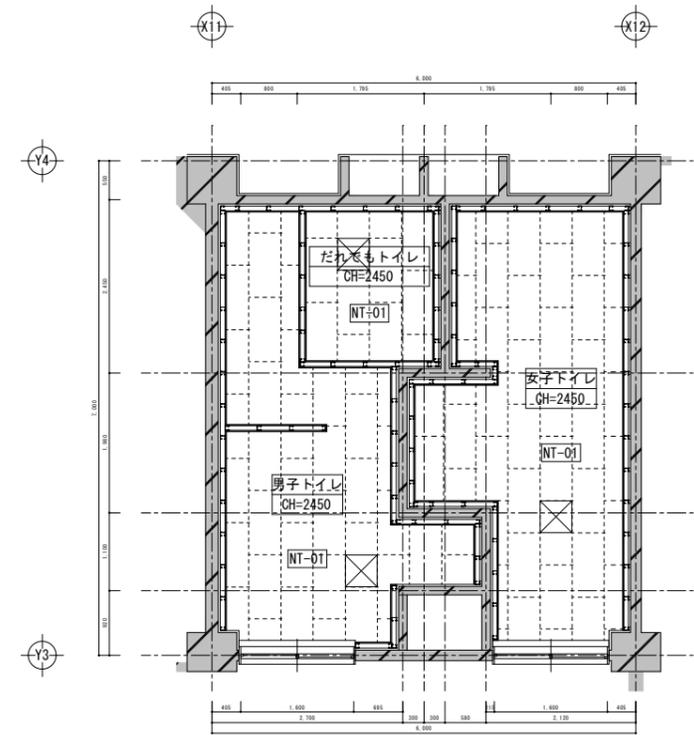
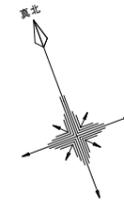
※廊下床見切り部撤去後: 珪藻土タイル(t=2.0、既存同色)による復旧とする(300mm程度の範囲を見込む)
 ※設計段階での調査箇所: 廊下巾木、廊下床土、廊下床土(珪藻土)、廊下天井(珪藻土)、廊下天井(珪藻土)等
 ※設計段階での調査により判明した石綿含有建材: 廊下巾木、廊下床土、廊下天井(珪藻土)、廊下天井(珪藻土)等





管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 天井伏図(改修前) S=1/50

天井撤去凡例	撤去項目仕様
TT-01	フルキワ'株'-t' t=4.0[軽量鉄骨下地、廻縁共]
	450角 天井点検口(7#3枠)

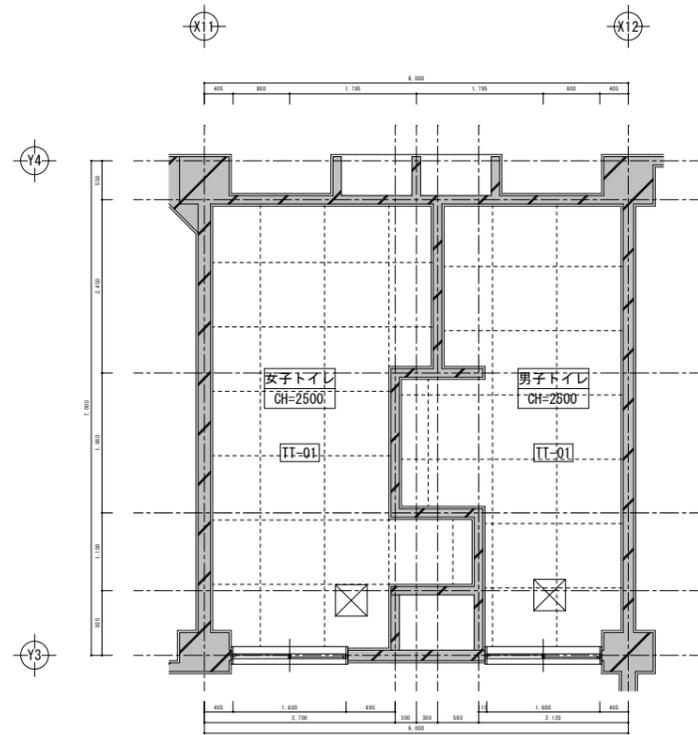
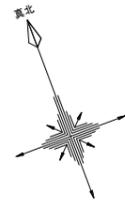


管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 天井伏図(改修後) S=1/50

天井新設凡例	新設項目仕様
NT-01	不燃化粧PB t=9.5[塩ビ製廻縁、軽量鉄骨下地]
	450角 天井点検口(7#3枠) ※設置位置は監督員と協議

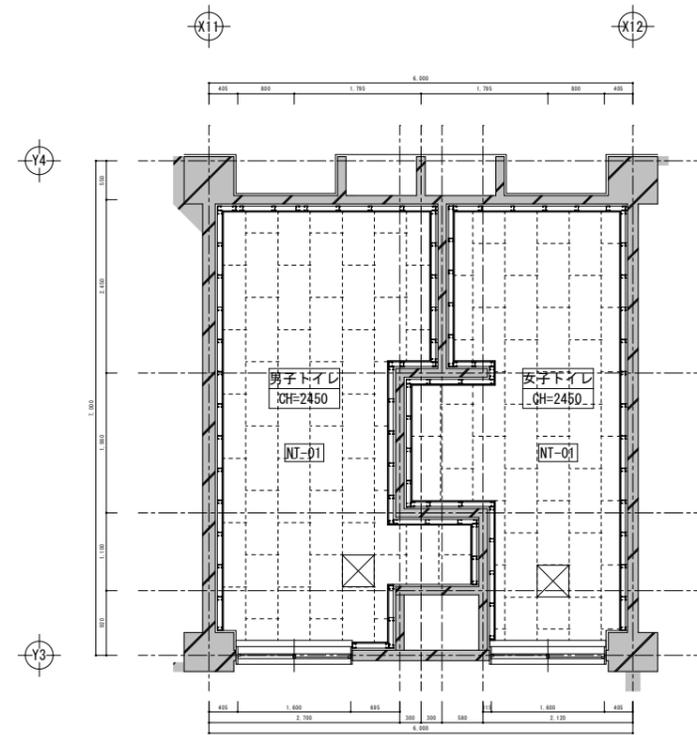
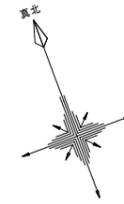
凡例

	コンクリート壁
	LGS下地壁
	事務室 部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。



管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 天井伏図 (改修前) S=1/50

天井撤去凡例	撤去項目仕様
TT-01	フキツク'ホ' t=4.0[軽量鉄骨下地、廻縁共]
	450角 天井点検口 (7#3枠)



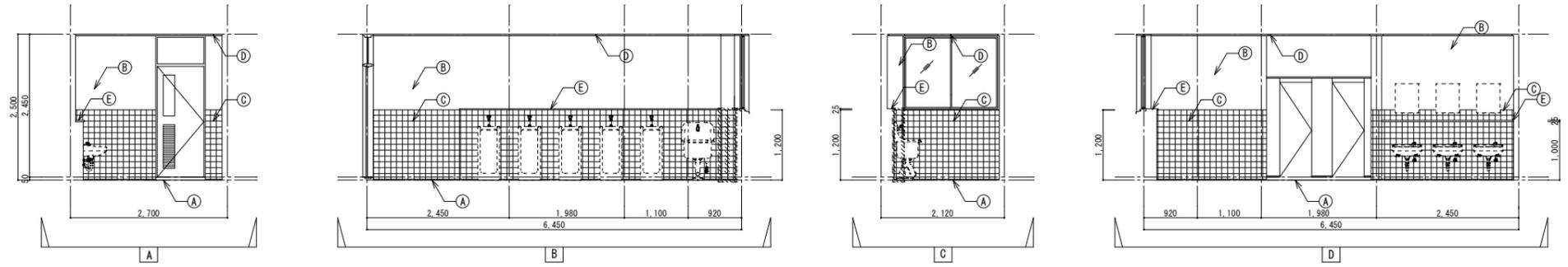
管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 天井伏図 (改修後) S=1/50

天井新設凡例	新設項目仕様
NT-01	不燃化粧PB t=9.5[塩ビ製廻縁、軽量鉄骨下地]
	450角 天井点検口 (7#3枠) ※設置位置は監督員と協議

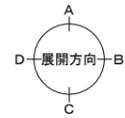
凡例

	コンクリート壁
	LGS下地壁
	事務室 部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。

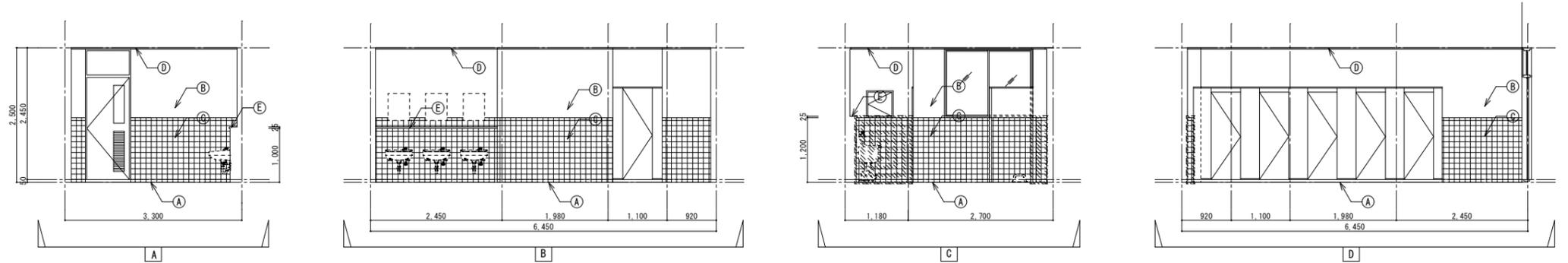
男子トイレ



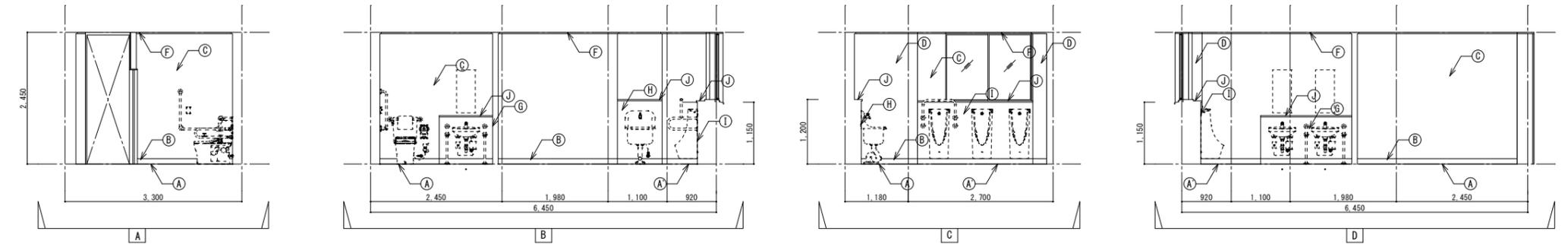
仕上凡例			
床	25角磁器質タイル貼(磁器タイル下地共)	既存のまま	A
壁	珪藻土塗金網 EP	既存のまま	B
腰壁	半磁器100角タイル タイル貼付範囲を示す。	一部撤去	C
天井	フレイグ'ス'ド' EP-G	撤去	D
廻り縁	塩ビ製	撤去	
引込	立上り: CB下地、100角半磁器タイル 天板: フレイグ'ス'ド'	撤去	E
	トリブ'ス	撤去	
備考	幅: フレイグ'ス'ド' 200x60 床下点検口移設(1階のみ)	撤去	



女子トイレ



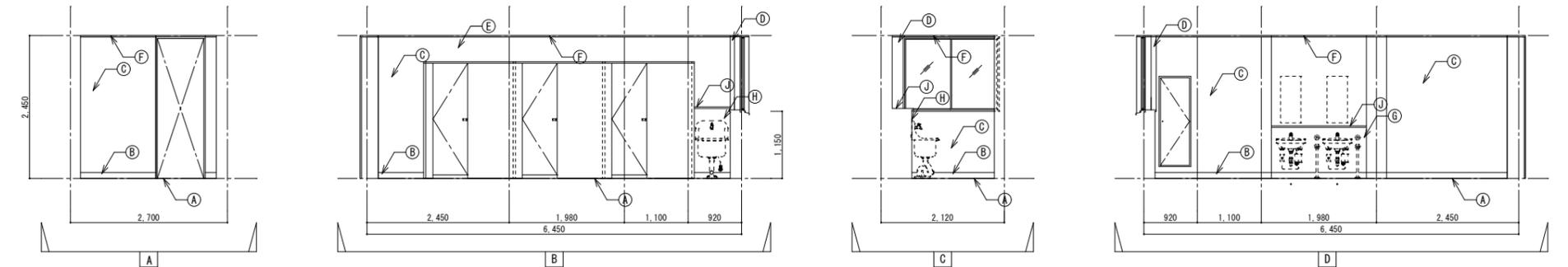
男子トイレ



仕上凡例			
床	既存タイルの上、タイル'シング'	乾式二重床: n'タイル'ド' t=20 + 耐水合板 t=12の上、ビニ床シート t=2.0	A
	既存タイルの上、タイル'シング'		A'
巾木	ビニ床シート巻上げ t=12 (壁見切り材押入) h=100		B
壁	LGS下地、耐水PB t=12.5の上、 化粧珪藻土合板 t=6.0		C
	タイル補修 + タイル化粧合板 t=3.0 タイル撤去タイル補修の上タイル化粧合板 t=3.0		D
ア'タ'タ'	高圧珪藻土樹脂化粧板		E
天井	LGS下地、不燃化粧PB t=9.5		F
廻り縁	塩ビ製		
引込	壁(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ珪藻土不燃化粧板 t=3.0		G
	壁(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ珪藻土不燃化粧板 t=3.0		H
	壁(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ珪藻土不燃化粧板 t=3.0		I
備考	天板: タイル'シング' t=20 端部R付		J
	汚濁部: 珪藻土珪藻土合板 t=2.0		
	巾着掛け・雑巾掛け		
	床下点検口(新設) (1階のみ)		
	天井点検口(新設)		
	木製廻り縁 EP-G塗装		
	三方枠: 亜鉛付鋼板 EP-G塗装		
	タイル'シング': 焼付塗装		

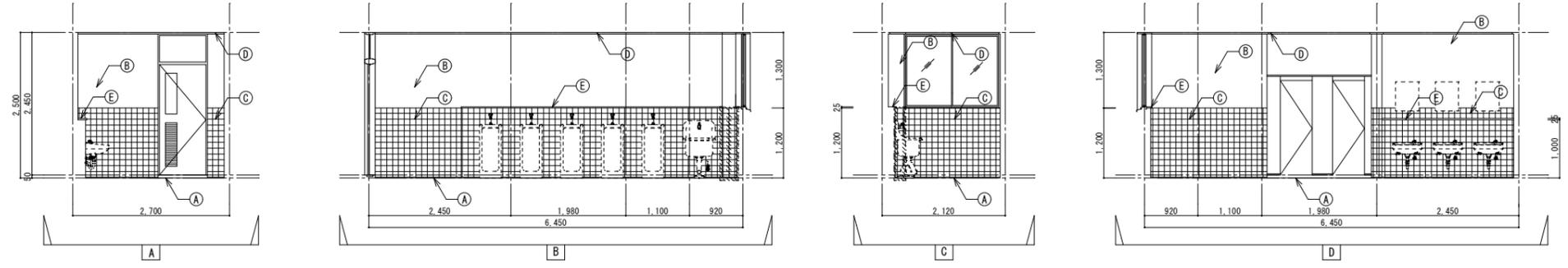


女子トイレ



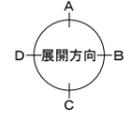
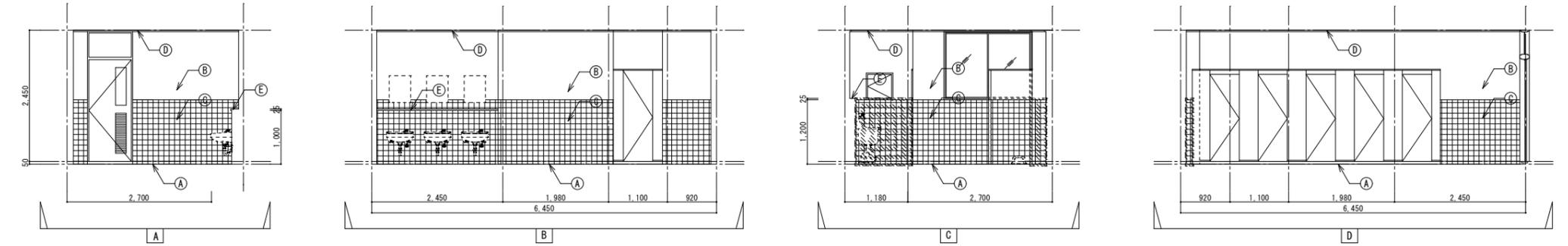
管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ展開図 (改修前)

男子トイレ



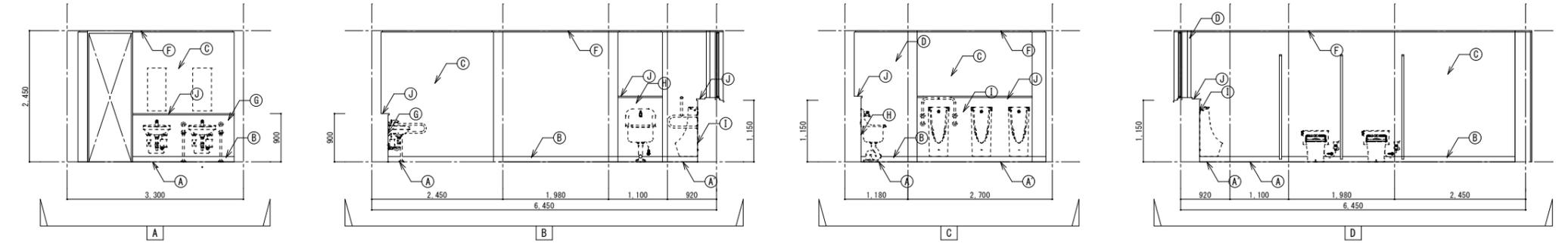
仕上凡例			
床	25角磁器質タイル貼付(タイル貼付は下地共)	既存のまま	A
壁	タイル塗装 EP	既存のまま	B
腰壁	半磁器100角タイル タイル貼付は撤去範囲を示す。	一部撤去	C
天井	70x70タイル EP-G	撤去	D
廻り縁	塩ビ製	撤去	
ライニング	立上り: CB下地、100角半磁器タイル 天板: 珪藻土ボード	撤去	E
備考	トイレノズ 扉: 珪藻土ボード 200x60 床下点検口移設 (1階のみ)	撤去	

女子トイレ



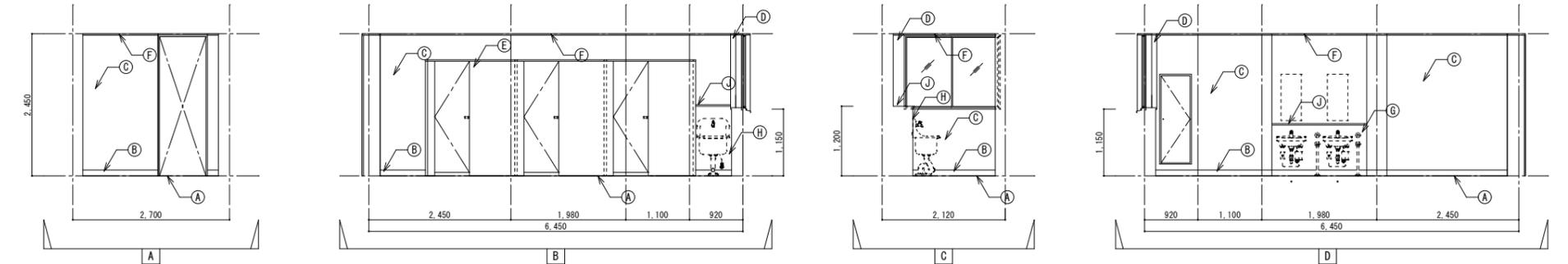
管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ展開図 (改修後)

男子トイレ

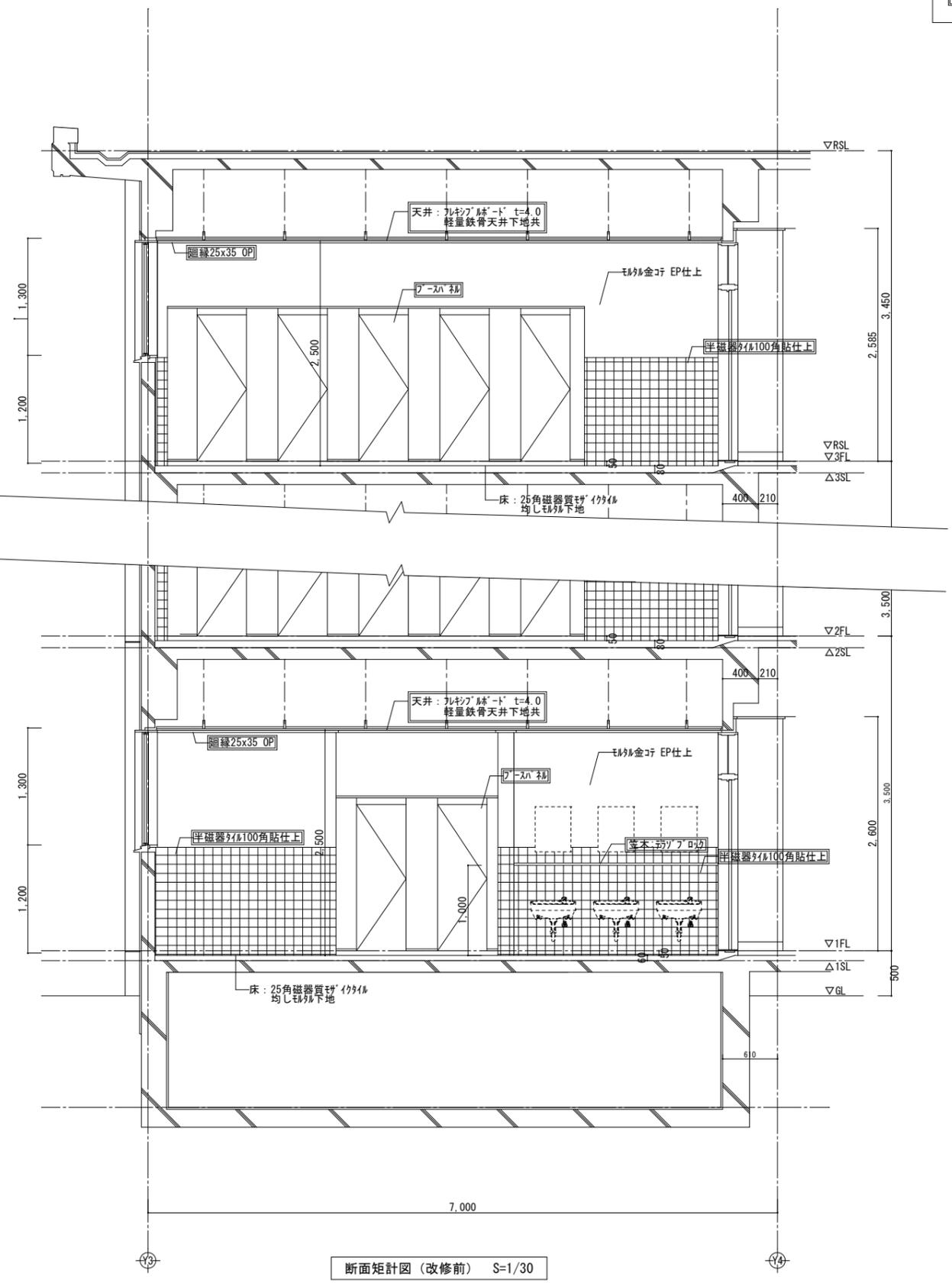


仕上凡例			
床	既存タイルの上、タイルタイル 乾式二重床: n-タイル t=20 + 耐水合板 t=12の上、ビニルシート t=2.0		A
巾木	既存タイルの上、タイルタイル 乾式二重床: n-タイル t=20 + 耐水合板 t=12の上、タイル専用防滑性ビニルシート t=2.0 ビニルシート巻上げ (壁見切り材押入) h=100		A'
巾木			B
壁	LGS下地、耐水PB t=12.5の上、 化粧タイル貼付 t=6.0		C
タイル	タイル補修 + タイル化粧合板 t=3.0 タイル撤去タイル補修の上タイル化粧合板 t=3.0		D
アクリル	高圧タイル樹脂化粧板		E
天井	LGS下地、不燃化粧PB t=9.5		F
廻り縁	塩ビ製		
ライニング	壁(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0 壁(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0 壁(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ性タイル不燃化粧板 t=3.0		G
	天板: タイルタイル t=20 端部R付 汚濁部: タイル専用防滑性ビニルシート t=2.0 巾着掛け・雑巾掛け 床下点検口 (タイル新設) (1階のみ)		H
備考	天井点検口 (新設) 木製廻り縁 EP-G塗装 三方枠: 亜鉛付鋼板 EP-G塗装 タイルタイル: 焼付塗装		I
			J

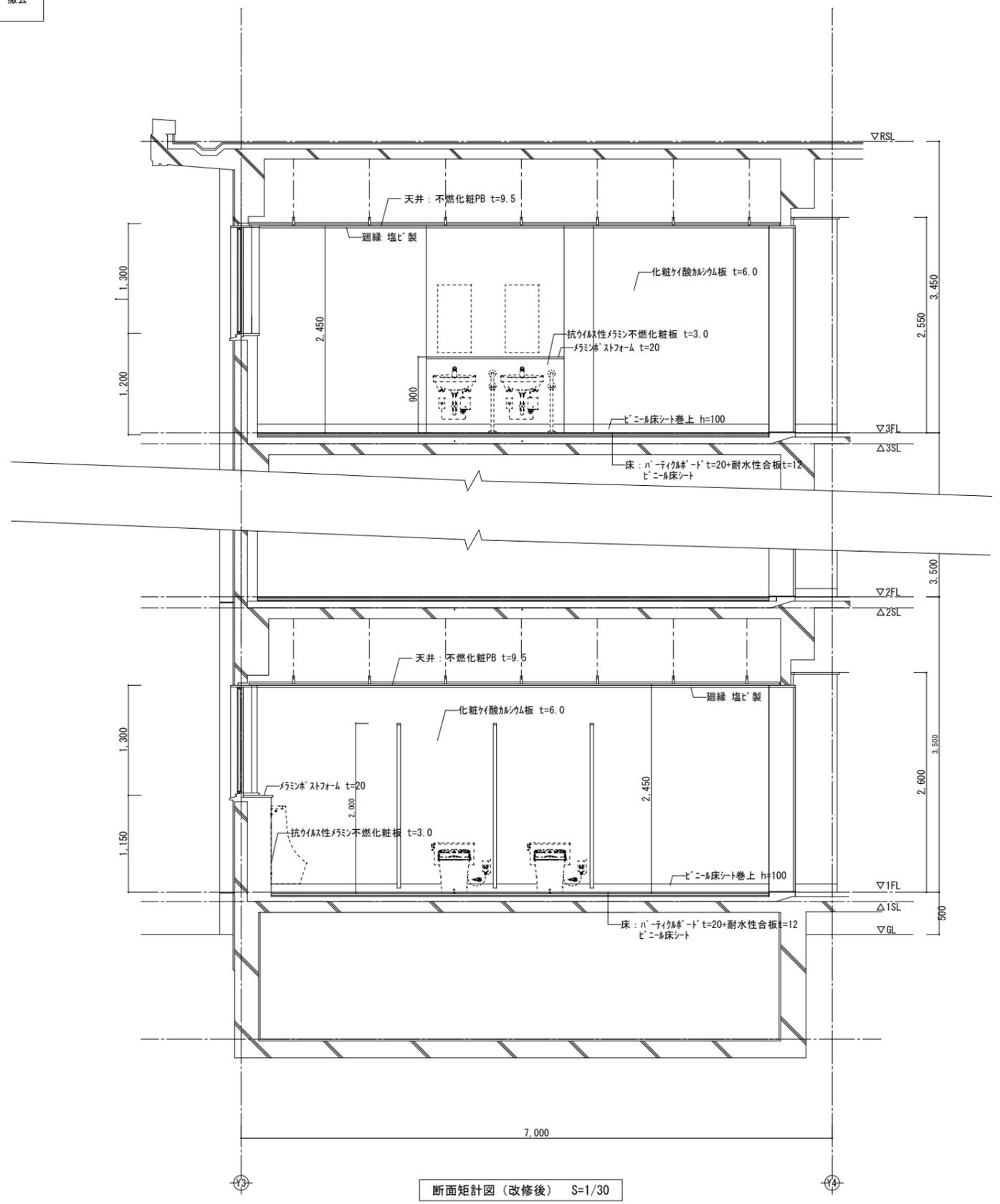
女子トイレ



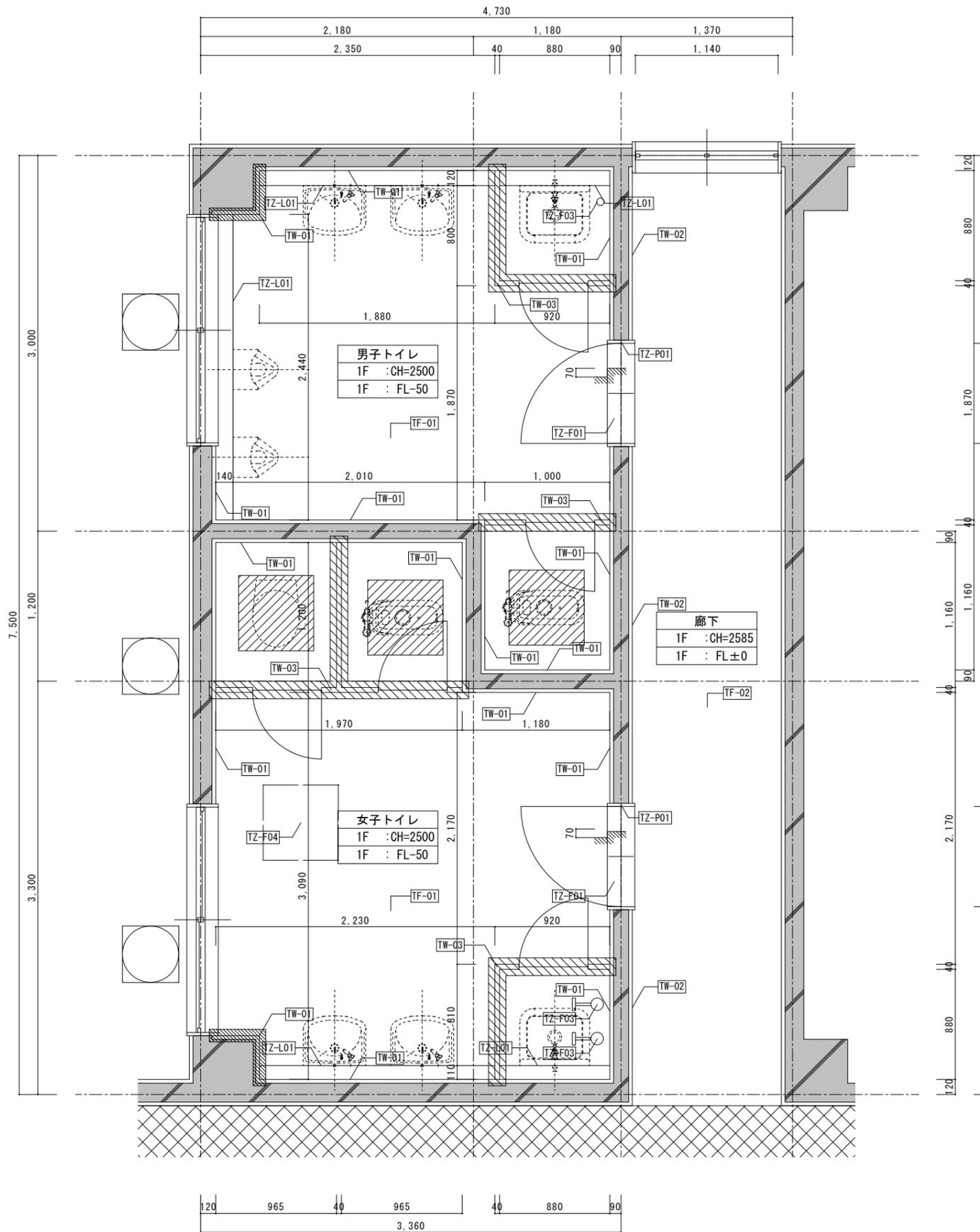
凡例
 撤去



断面矩計図 (改修前) S=1/30



断面矩計図 (改修後) S=1/30



床撤去凡例	撤去項目仕様
TF-01	25角磁器質タイル貼[モルタル下地共] (既存のまま)
TF-02	硬質塩ビ系タイル貼
TF-03	
特記事項	
斜線: 既存便器撤去床スリ' 復旧部分を示す。	

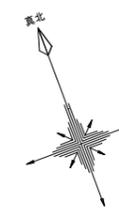
壁撤去凡例	撤去項目仕様
TW-01	半磁器100角色タイル[腰壁] (一部撤去)、モルタルの上VP塗装
TW-02	モルタルの上、EP塗装
TW-03	トイレノース
特記事項	
斜線: 壁撤去範囲を示す。	
点線: タイル撤去範囲を示す。	

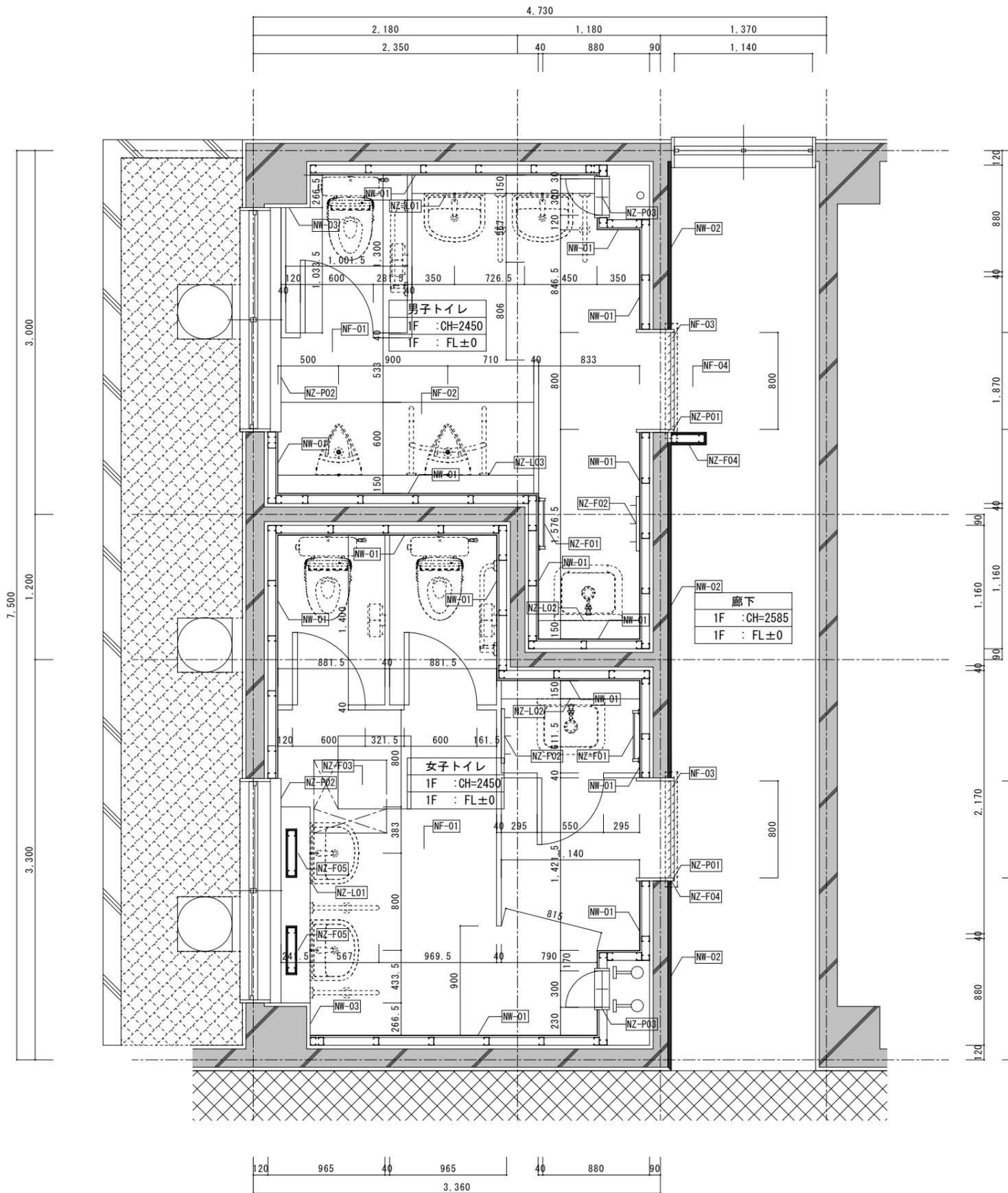
天井撤去凡例	撤去項目仕様
※天井伏図参照	

建具・造作物撤去凡例	撤去項目仕様
ライニング	TZ-L01 立上り: コンクリートブロック下地、タイル張り 天板: 珪藻土ブロック
家具その他	TZ-F01 櫃: 珪藻土ブロック 200x60
	TZ-F02 給水配管
	TZ-F04 床下点検口フタ共 (1階のみ)
	TZ-F05 掃除用具入れ
	TZ-P01 木製建具 (四方枠、欄間共)
建具	TZ-P02 鋼製建具
	TZ-P03

凡例	
	コンクリート壁
	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
	トイレ 部屋名称を示す。
	天井高さを示す。
	FLからの高さを示す。

外構凡例	
	排水樹





床新設凡例	新設項目仕様
NF-01	ビニル床シート t=2.0
NF-02	トイレ専用防滑性ビニル床シート t=2.0
NF-03	床見切材 (ステンレス製)
NF-04	ビニル床タイル t=2.0
特記事項	
床下地 : 珪藻土・リソリウムの上、置床	
ここに示す: 段差部ステンレス目地部分を示す。	

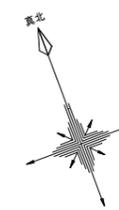
壁新設凡例	新設項目仕様
NW-01	耐水PB t=12.5+化粧珪藻土ボード t=6.0
NW-02	既存壁下地処理の上、EP-G塗装
NW-03	既存壁下地処理の上、珪藻土化粧合板 t=3.0 タイル部撤去珪藻土補修の上、珪藻土化粧合板 t=3.0
特記事項	

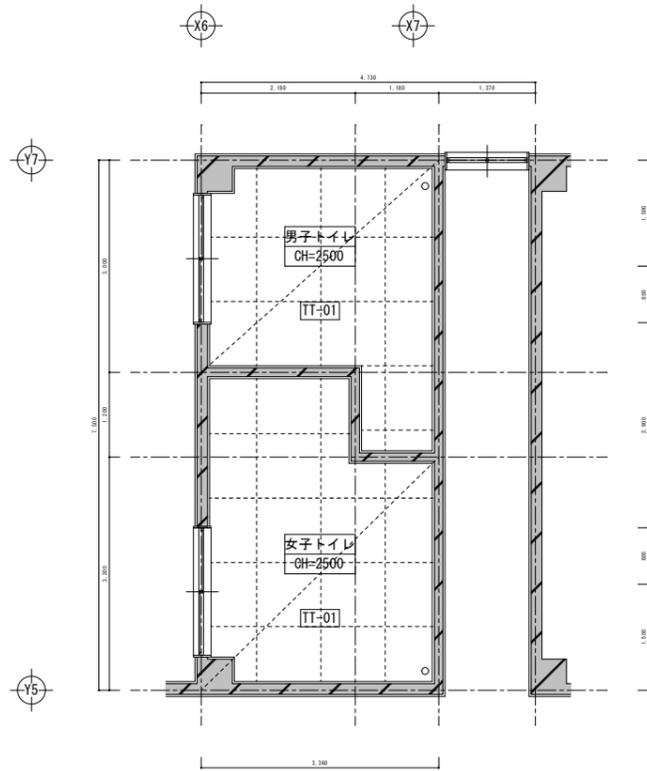
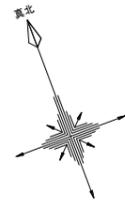
建具・造作物新設凡例	新設項目仕様	
ユニット	NZ-L01	壁 (洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗カビ性珪藻土化粧合板 t=3.0 天板: 珪藻土ボード t=20 端部R付
	NZ-L02	壁 (手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗カビ性珪藻土化粧合板 t=3.0 天板: 珪藻土ボード t=20 端部R付
	NZ-L03	壁 (小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗カビ性珪藻土化粧合板 t=3.0 天板: 珪藻土ボード t=20 端部R付
家具その他	NZ-F01	雑巾掛け (位置が開閉部に干渉の場合は木製額縁下に設置)
	NZ-F02	タオル掛け
	NZ-F03	床下点検口 (1階のみ)
	NZ-F04	ビタグラフ (男子トイレ、女子トイレ、だれでもトイレ)
	NZ-F05	洗面化粧鏡: LGS下地、耐水合板 t=12の上、EP-G塗装
建具	NZ-P01	三方枠: 亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装
	NZ-P02	木製額縁 EP-G塗装 (新設)
	NZ-P03	ステンレス (焼付塗装)、ドアノブを含む

凡例	
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	廊下部トイレ改修工事範囲外を示す
トイレ	
	一部屋名称を示す。
	CH=2.400 天井高さを示す。
	FL=100 FLからの高さを示す。

※廊下床見切り部撤去後: 珪藻土タイル (t=2.0、既存同色) による復旧とする (300mm程度の範囲を見込む)
 ※設計段階での調査箇所: 廊下市木、廊下床土系タイル、トイレ天井珪藻土ボード、トイレ配管保温材
 ※設計段階での調査により判明した石綿含有建材: 廊下床土系タイル、トイレ天井珪藻土ボード、トイレ配管保温材

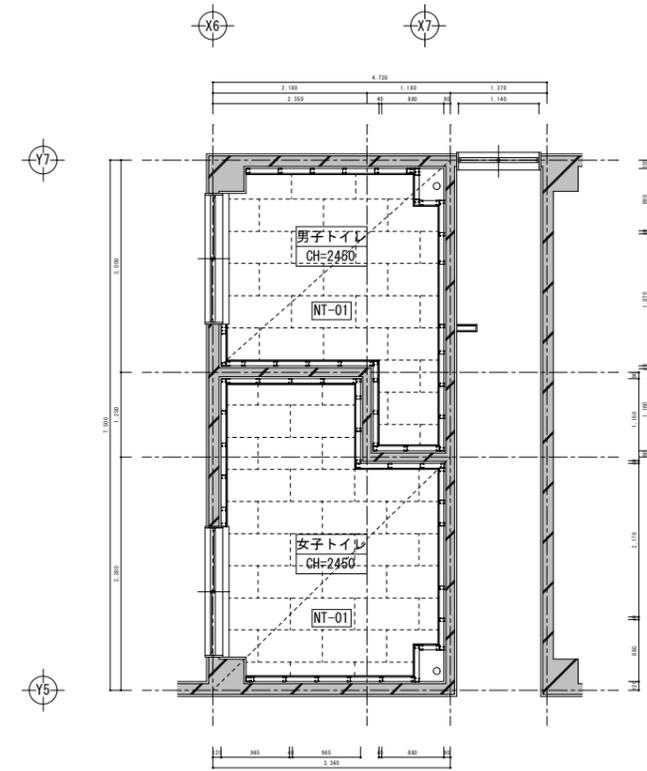
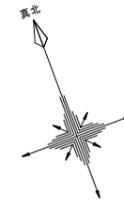
外構凡例	
	排水孔
	CB擁壁 (3段積)
	寄土部分





管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 天井伏図 (改修後) S=1/50

天井撤去凡例	撤去項目仕様
TT-01	フルキップ'株'-t' t=4.0[軽量鉄骨下地、廻縁共]



管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 天井伏図 (改修後) S=1/50

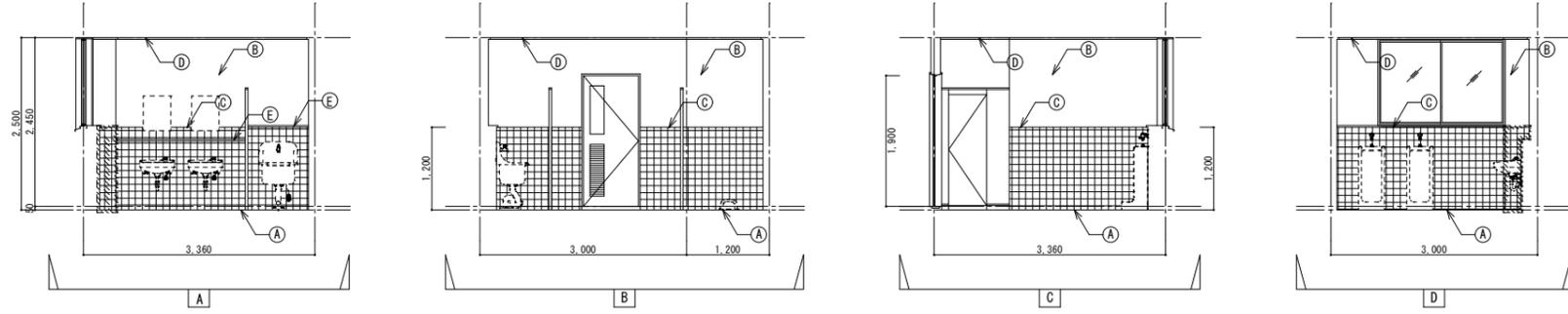
天井新設凡例	新設項目仕様
NT-01	不燃化粧PB t=9.5[塩L'製廻縁、軽量鉄骨下地]

凡例

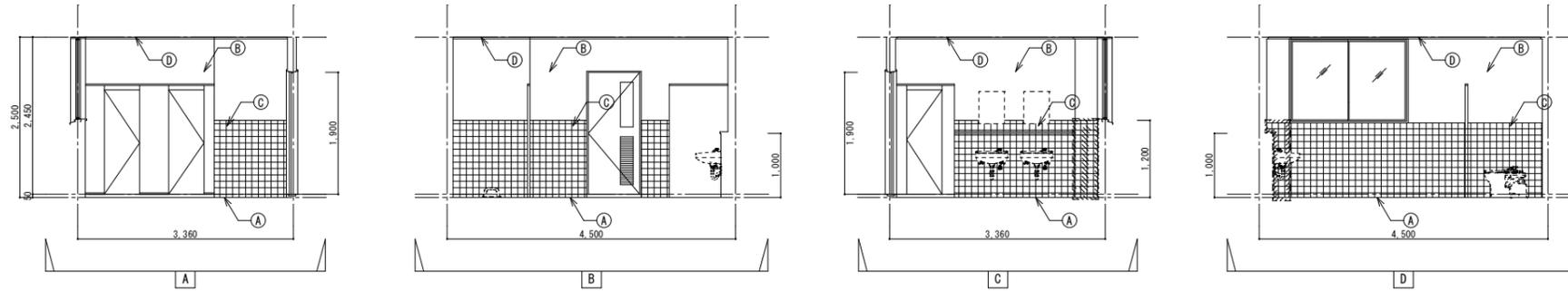
	コンクリート壁
	LGS下地壁
	事務室 部屋名称を示す。 CH=2,400 天井高さを示す。

男子トイレ

仕上凡例			
床	25角磁器質セラミック貼[磁器質セラミックス下地共]	既存のまま	A
壁	珪藻土塗壁 EP	既存のまま	B
腰壁	半磁器100角セラミックス貼	一部撤去	C
天井	フレスコボード EP-G	撤去	D
廻り縁	塩ビ製	撤去	
サッシ	立上り: OS下地、100角半磁器セラミックス貼 天板: フレスコボード	撤去	E
備考	トイレノブ 扉: フレスコボード 200×60 床下点検口移設(1階のみ)	撤去	

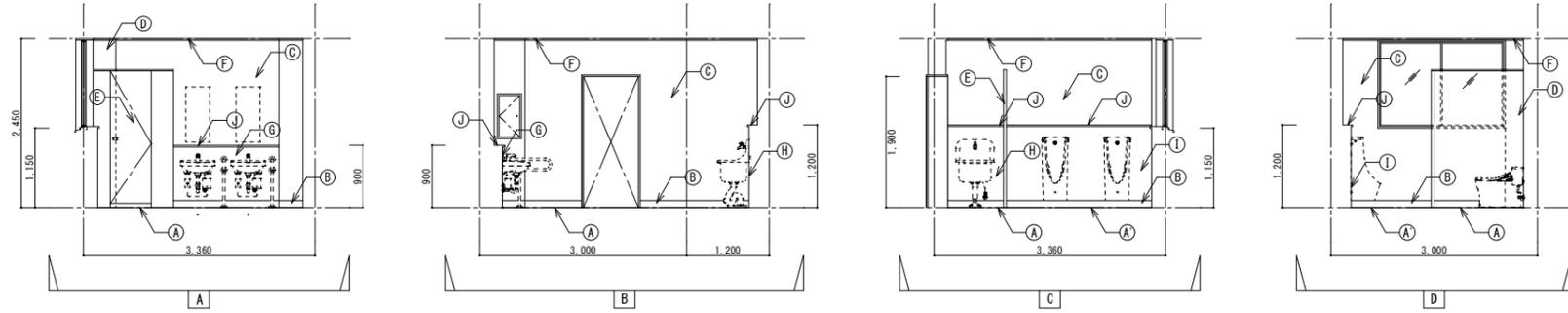


女子トイレ

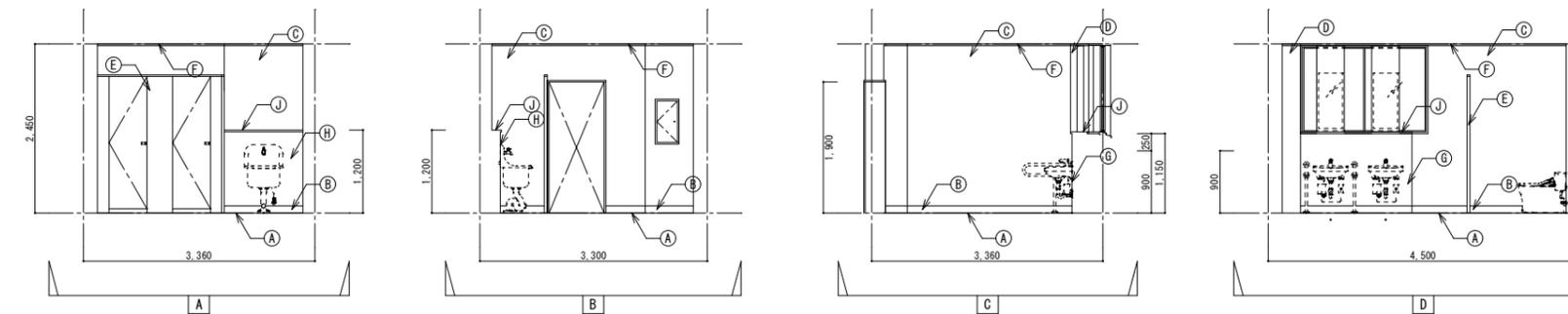
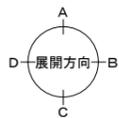


男子トイレ

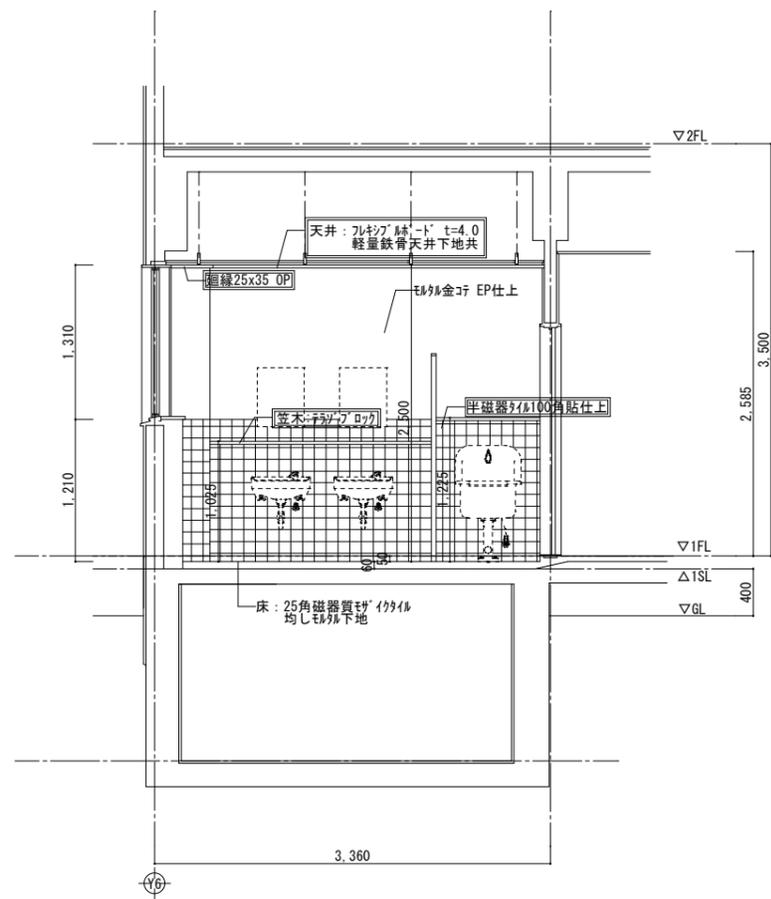
仕上凡例			
床	既存セラミックスの上、セラミックタイル 乾式二重床: パーテックボード t=20 + 耐水合板 t=15の上、t=3床シート t=2.0	既存のまま	A
	既存セラミックスの上、セラミックタイル 乾式二重床: パーテックボード t=20 + 耐水合板 t=15の上、トイレ専用防滑性セラミックス床シート t=2.0	撤去	A'
巾木	t=3床シート巻上げ (壁見切り材押え) h=100	撤去	B
壁	LGS下地、耐水PB t=12.5の上、 化粧珪藻土パネル t=6.0	撤去	C
	セラミック補修 + フォスフィン化耐水合板 t=3.0 セラミックス撤去セラミック補修の上、フォスフィン化耐水合板 t=3.0	撤去	D
ガラス	高圧ポリカーボネイト化粧板	撤去	E
天井	LGS下地、不燃化粧PB t=9.5	撤去	F
廻り縁	塩ビ製	撤去	
サッシ	壁(洗面器部): LGS下地、耐水合板 t=24の上、 抗汚性珪藻土不燃化粧板 t=3.0 壁(手すり・SK部): LGS下地、耐水合板 t=18の上、 抗汚性珪藻土不燃化粧板 t=3.0 壁(小便器部): LGS下地、耐水合板 t=12の上、 抗汚性珪藻土不燃化粧板 t=3.0	撤去	G
	天板: フォスフィンフォーム t=20 端部R付 汚手部: トイレ用防滑性セラミックス床シート t=2.0 モップ掛け・鏡巾掛け 床下点検口(汚手新設)(1階のみ) 天井点検口(新設) 木製腰縁 EP-G塗装 三方枠: 亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装 XF-100: 焼付塗装	撤去	H
		撤去	I
		撤去	J



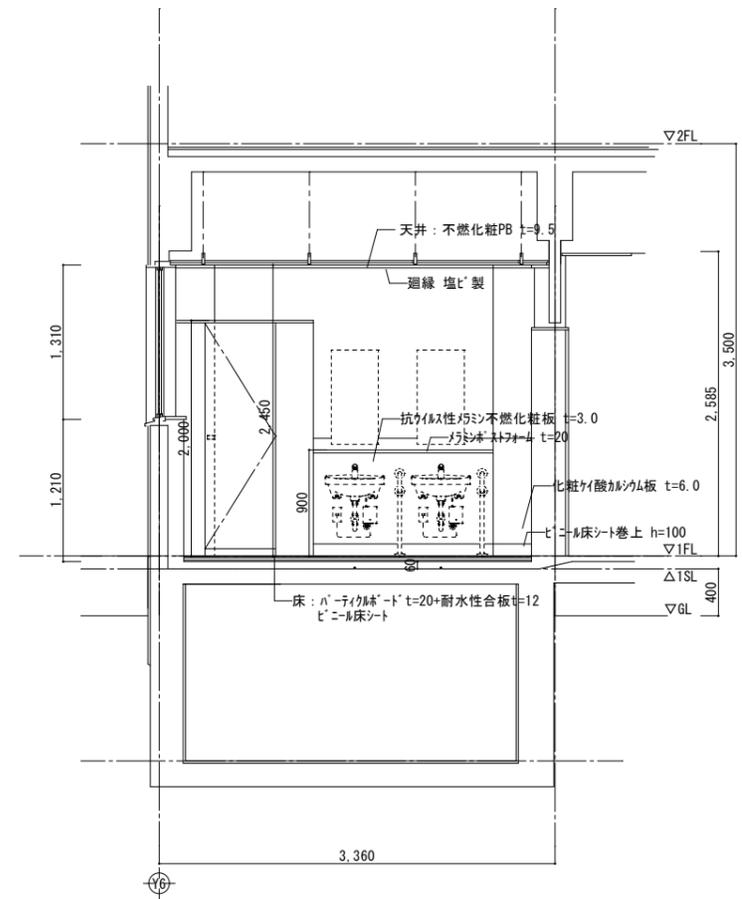
女子トイレ



凡例
 撤去

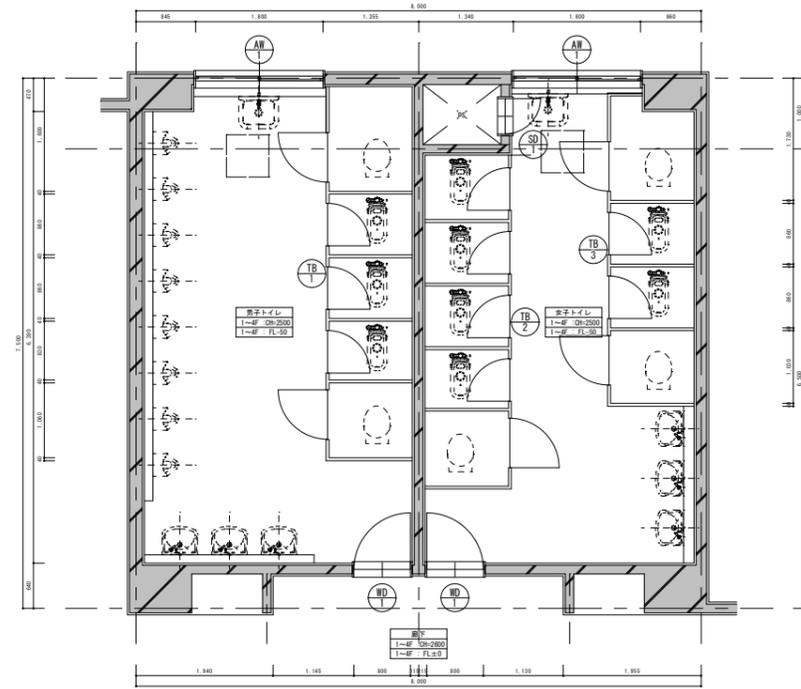


断面矩計図 (改修前) S=1/30

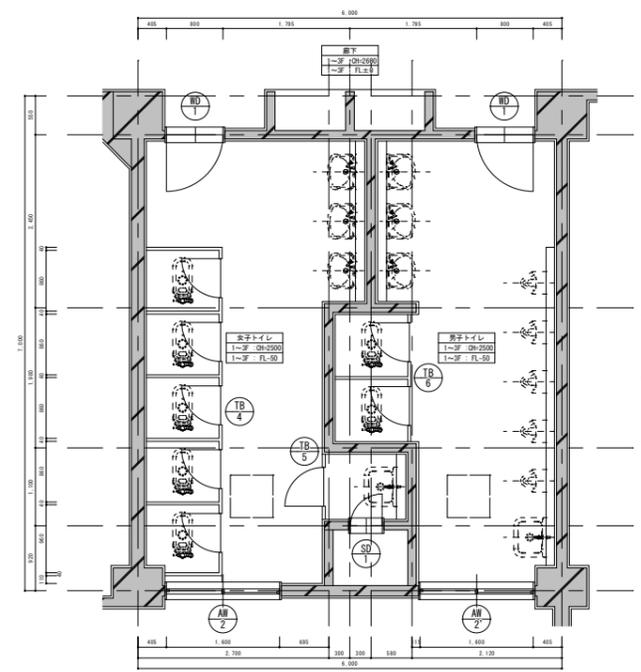


断面矩計図 (改修後) S=1/30

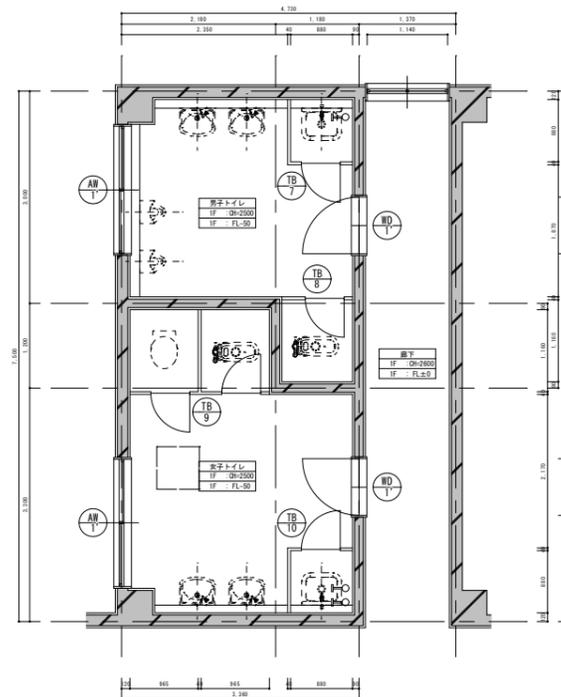
普通教室棟 1~4階トイレ (改修前) 建具キープラン

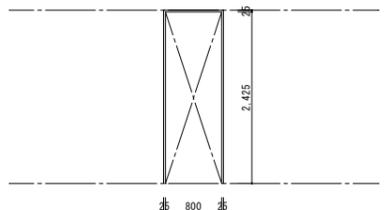
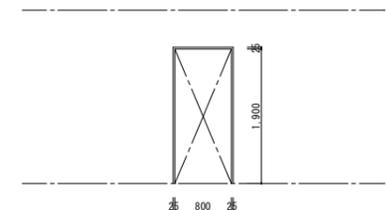
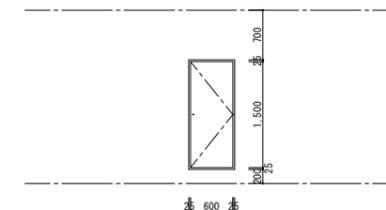
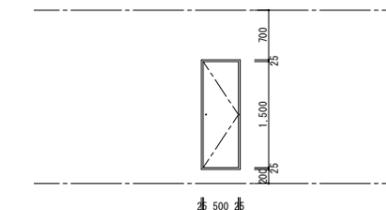
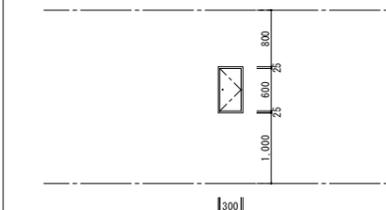
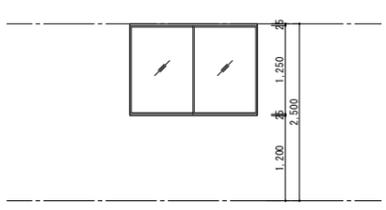
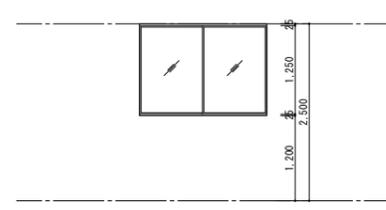
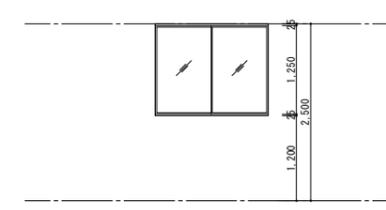
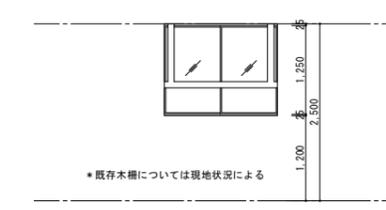
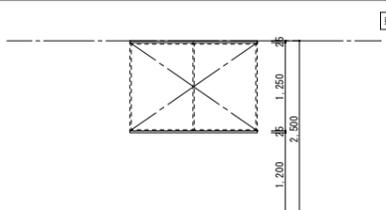
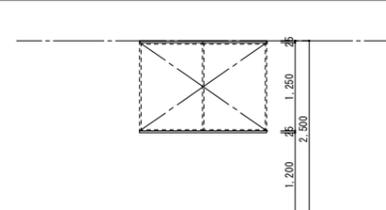
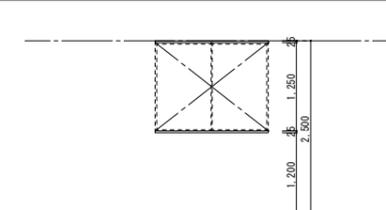
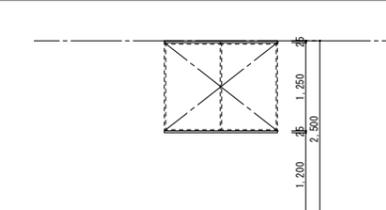
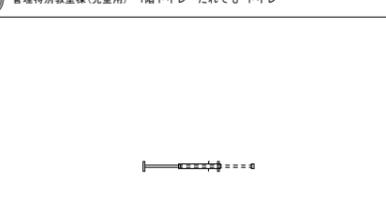
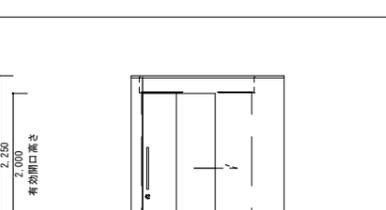


管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ (改修前) 建具キープラン

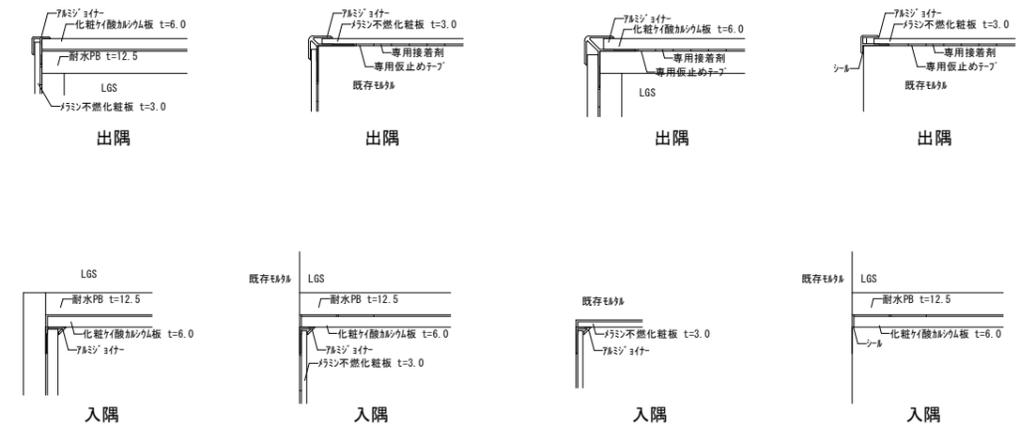
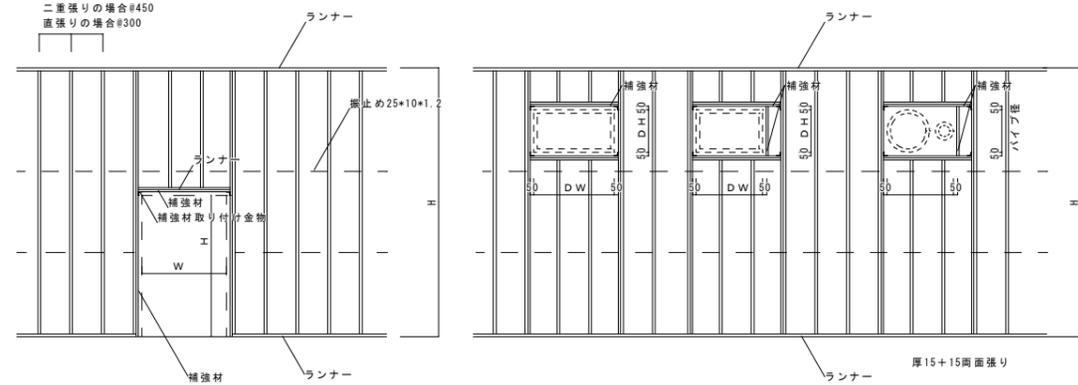
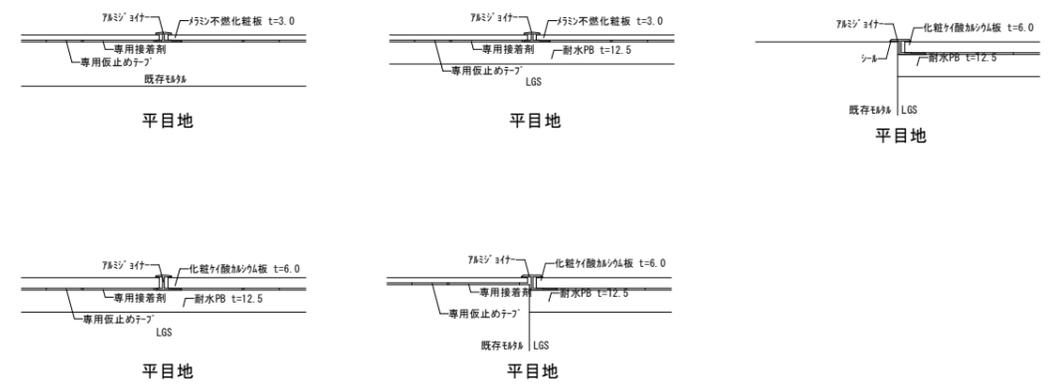
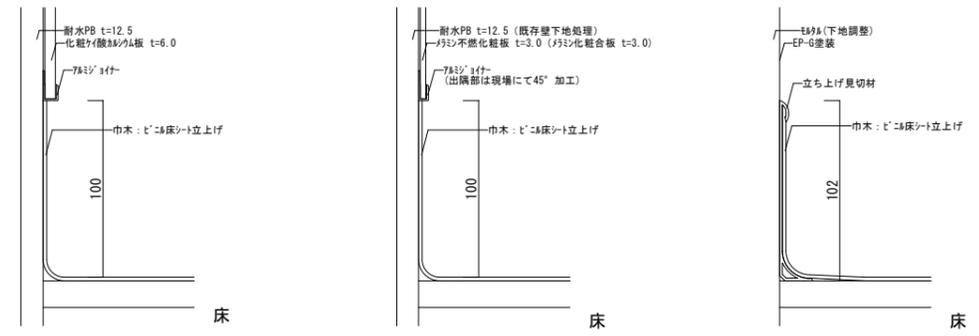
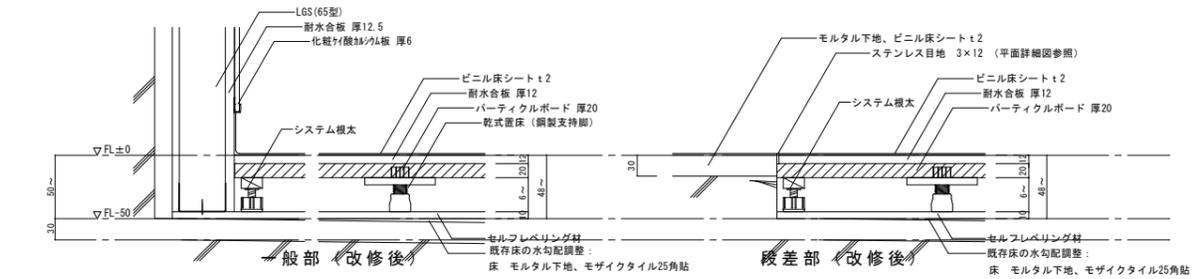
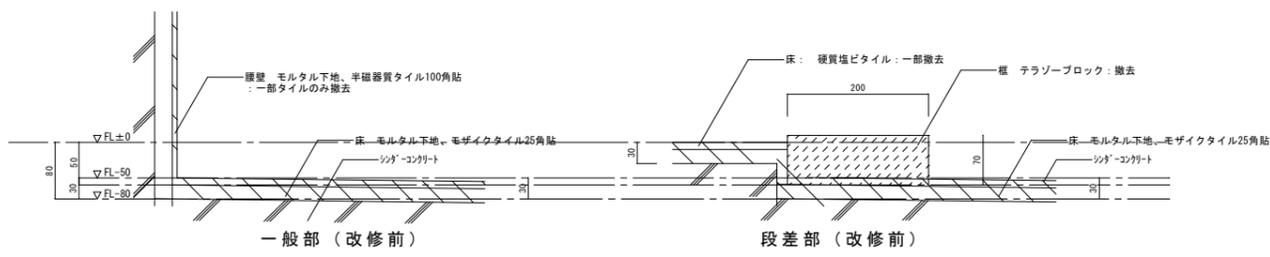


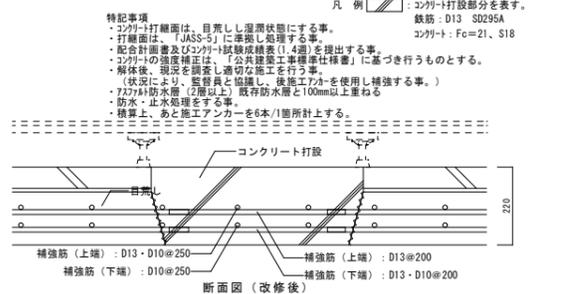
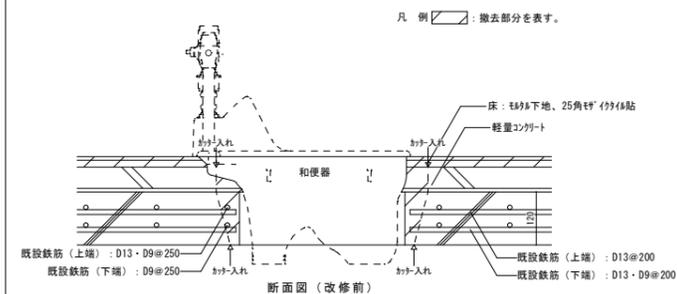
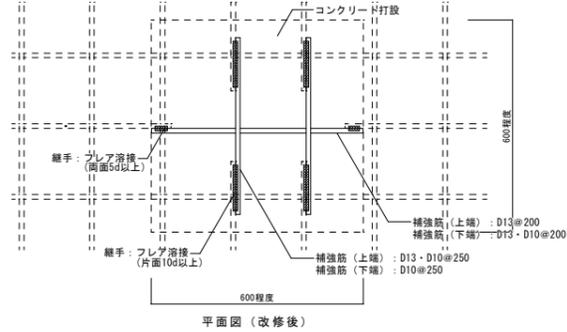
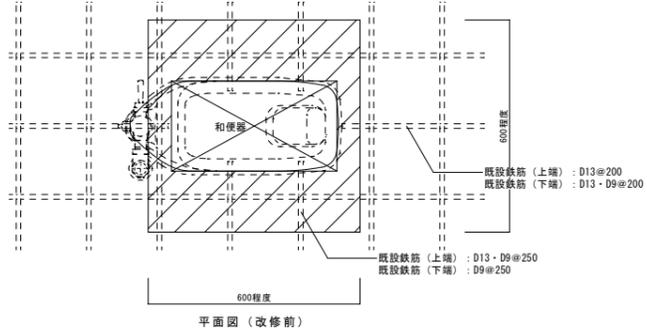
管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ (改修前) 建具キープラン



符号・使用場所・数量	SF 1 普通教室棟 1~4階トイレ 男子・女子 トイレ 管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 男子・女子 トイレ	14	SF 2 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 男子・女子 トイレ	2	SD 1 普通教室棟 1~4階トイレ 男子 トイレ	4	SD 2 管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 女子 トイレ	3	SD 3 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 男子・女子 トイレ	2
形状										
型式・機種	鋼製軽量三方枠		鋼製軽量三方枠		片開フラッシュステール戸		片開フラッシュステール戸		片開フラッシュステール戸	
枠見込	310		310		200		120		120	
防火・防音・仕様	-		-		-		-		-	
材質・仕様	亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装		亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗装		スチール OP		スチール OP		スチール OP	
ガラス種類	-		-		-		-		-	
建具金物	-		-		点検口錠、丁番、4方アングル付 付属金物一式		点検口錠、丁番、4方アングル付 付属金物一式		点検口錠、丁番、4方アングル付 付属金物一式	
備考	EP-G塗装		EP-G塗装		焼付塗装、ド770-ダ-		焼付塗装、ド770-ダ-		焼付塗装、ド770-ダ-	
符号・使用場所・数量	AF 1 普通教室棟 1~4階トイレ 男子・女子 トイレ	8	AF 1 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 男子・女子 トイレ	2	AF 2 管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 男子 トイレ	3	AF 2 管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 女子 トイレ	3		
形状										
型式・機種	引違いアルミサッシュガラス窓		引違いアルミサッシュガラス窓		引違いアルミサッシュガラス窓		引違いアルミサッシュガラス窓			
枠見込	70		70		70		70			
防火・防音・仕様	-		-		-		-			
材質・仕様	アルミ		アルミシルバー		アルミ		アルミ			
ガラス種類	ラフワイヤーガラス t=6.8		網入り型板ガラス t=6.8		強化型板ガラス t=4.0		強化型板ガラス t=4.0			
建具金物	引手、クレセント、アングルピース、アルミ踏板(職員女子)、二重皿板 付属金物一式		引手、クレセント、アングルピース、アルミ踏板(職員女子)、二重皿板 付属金物一式		引手、クレセント、アングルピース、二重皿板 付属金物一式		引手、クレセント、アングルピース、二重皿板 付属金物一式			
備考	窓開放防止金物		-		-		木柵撤去			
符号・使用場所・数量	BF 1 普通教室棟 1~4階トイレ 男子・女子 トイレ	8	BF 1 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 男子・女子 トイレ	2	BF 2 管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 男子 トイレ	3	BF 2 管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ 女子 トイレ	3		
形状										
型式・機種	木製上下枠		木製上下枠		木製上下枠		木製上下枠			
枠見込	83		83		83		83			
防火・防音・仕様	-		-		-		-			
材質・仕様	EP-G塗装		EP-G塗装		EP-G塗装		EP-G塗装			
ガラス種類	-		-		-		-			
建具金物	-		-		-		-			
備考	枠増設 EP-G塗装		枠増設 EP-G塗装		枠増設 EP-G塗装		枠増設 EP-G塗装			
符号・使用場所・数量	SD 1 管理特別教室棟(児童用) 1階トイレ だれでも トイレ			1						
形状										
型式・機種	軽量鋼製自動閉鎖装置付引戸									
枠見込	100									
防火・防音・仕様	-									
材質・仕様	枠:亜鉛メッキ鋼板、扉:亜鉛メッキ鋼板・A-H-C7・焼付塗装									
ガラス種類	-									
建具金物	自動閉鎖装置、スプリングヘッド、音響、表示錠(非常閉鎖表示付)、付属金物一式									
備考	-									
春日部市 学校教育課 教育施設課										
緑小学校校舎トイレ改修工事										
図面名称 建具表1(改修後)										
A-41										

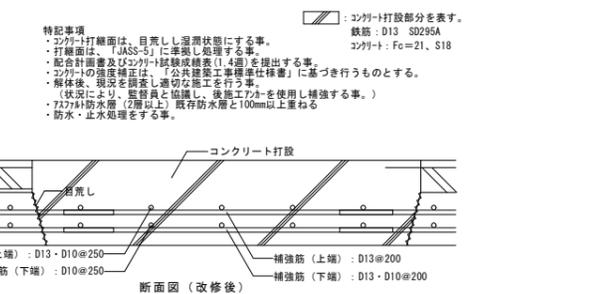
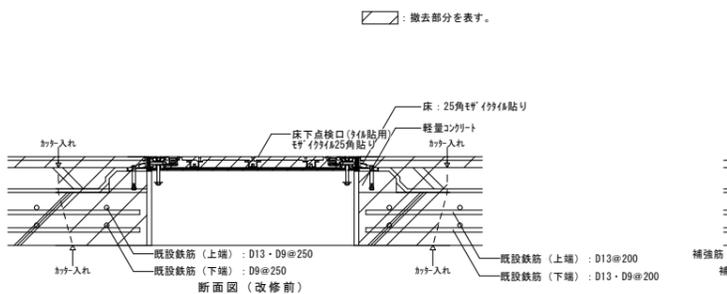
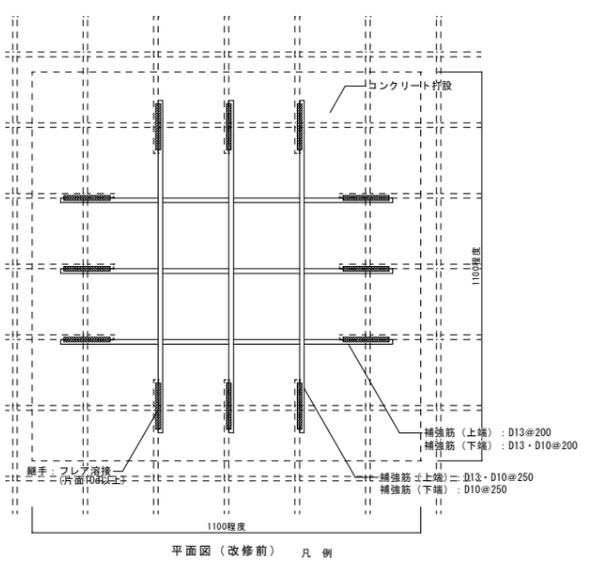
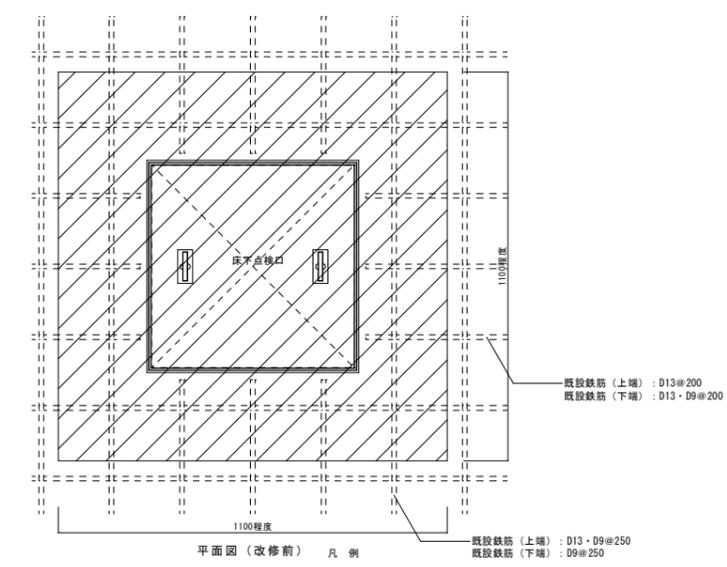
符号・使用場所・数量	①B 1 普通教室棟 1~4階トイレ 女子 トイレ 4	①B 2 普通教室棟 1~4階トイレ 女子 トイレ 4	①B 3 普通教室棟 1~4階トイレ 女子 トイレ 4	①B 4 普通教室棟 1~4階トイレ 男子 トイレ 4		
形状						
型式・機種	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)		
枠見込	40	40	40	40		
防火・防音・仕様	-	-	-	-		
材質・仕様	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)		
ガラス種類	-	-	-	-		
建具金物	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式		
備考	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木、SUSハンドル、自動閉鎖装置	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木		
符号・使用場所・数量	①B 5 普通教室棟 1~4階トイレ 男子 トイレ 4	①B 6 普通教室棟 1~4階トイレ 男子 トイレ 4	①B 7 普通教室棟 1~4階トイレ 男子 トイレ 4	①B 8 管理特別教室棟(児童用) 1~3階トイレ 女子 トイレ 3		
形状						
型式・機種	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)		
枠見込	40	40	40	40		
防火・防音・仕様	-	-	-	-		
材質・仕様	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)		
ガラス種類	-	-	-	-		
建具金物	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式		
備考	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木、SUSハンドル、自動閉鎖装置	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木		
符号・使用場所・数量	①B 9 管理特別教室棟(児童用) 2~3階トイレ 男子 トイレ 2	①B 10 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 男子 トイレ 1	①B 11 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 男子 トイレ 1	①B 12 管理特別教室棟(職員用) 1階トイレ 女子 トイレ 1		
形状						
型式・機種	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)	トイレブース (内開き戸)		
枠見込	40	40	40	40		
防火・防音・仕様	-	-	-	-		
材質・仕様	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)	高圧フッ素樹脂化粧板 (下地MDF・芯材ペーパードット)		
ガラス種類	-	-	-	-		
建具金物	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式	スライドロック、中心吊金物、戸当り兼帽子掛け、付属金物一式		
備考	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木	R177、非常開錠機能付、指挟み防止、SUS巾木、7&3笠木		
符号・使用場所・数量						
形状	<p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレブースは、必要に応じて手置、紙巻器、モップ掛け、雑巾掛け等の下地補強を行うこと。(メーカー仕様による。) (位置・高さは、施工時に確認すること。) △1: 紙巻器下地補強 △2: 紙巻器+手置下地補強 △3: モップ掛け下地補強 (モップハンガー L=500) △4: 雑巾掛け下地補強 (タオルバー L=450) 					
型式・機種						
枠見込						
防火・防音・仕様						
材質・仕様						
ガラス種類						
建具金物						
備考						
			春日部市 学校教育課	日付 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	工事名称 緑小学校校舎トイレ改修工事 図面名称 建具表2 (改修後)	A-42





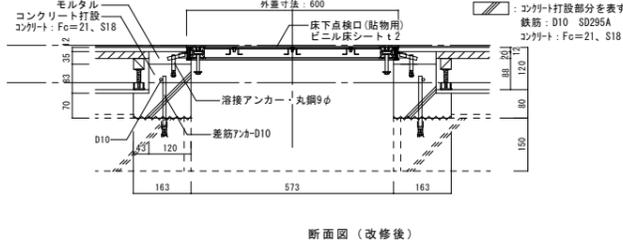
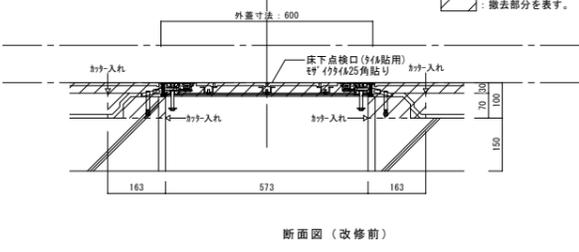
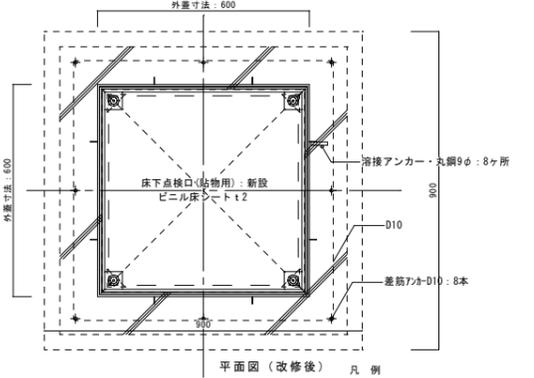
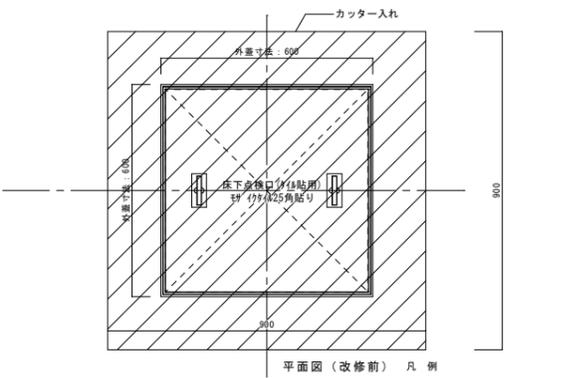
凡例 : コンクリート打設部分を表す。
鉄筋 : D13 S295A
コンクリート : Fc=21, S18

特記事項
・コンクリート打設面は、目荒しし湿潤状態にする事。
・打設面は、「JASS-5」に準拠し処理する事。
・配合計画書及びコンクリート試験成績表(1.4通)を提出する事。
・コンクリートの強度確認は、「公共建築工事標準仕様書」に基づき行うものとする。
・解体後、現況を調査し適切な施工を行う事。
・(状況により、監督員と協議し、後施工力カを使用し補強する事。)
・7.7材防水層(2層以上) 既存防水層と100mm以上重ねる
・防水・止水処理をする事。
・積算上、あと施工アンカーを6本/箇所計上する。

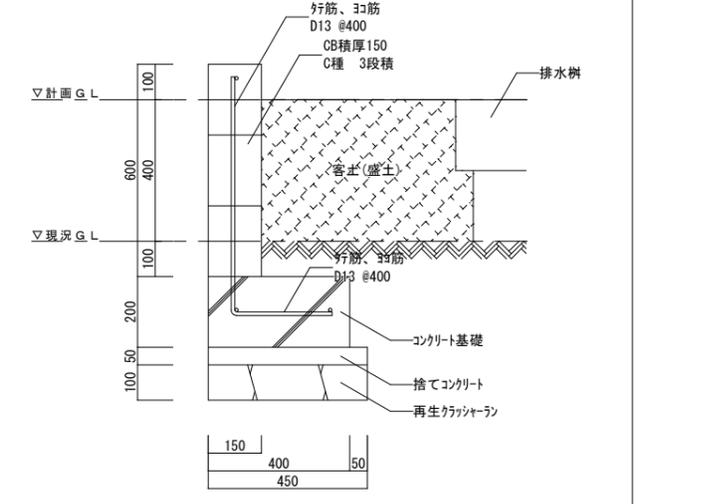


凡例 : コンクリート打設部分を表す。
鉄筋 : D13 S295A
コンクリート : Fc=21, S18

特記事項
・コンクリート打設面は、目荒しし湿潤状態にする事。
・打設面は、「JASS-5」に準拠し処理する事。
・配合計画書及びコンクリート試験成績表(1.4通)を提出する事。
・コンクリートの強度確認は、「公共建築工事標準仕様書」に基づき行うものとする。
・解体後、現況を調査し適切な施工を行う事。
・(状況により、監督員と協議し、後施工力カを使用し補強する事。)
・7.7材防水層(2層以上) 既存防水層と100mm以上重ねる
・防水・止水処理をする事。



凡例 : コンクリート打設部分を表す。
鉄筋 : D10 S295A
コンクリート : Fc=21, S18



凡例

▨ : 工事建物を、表す。

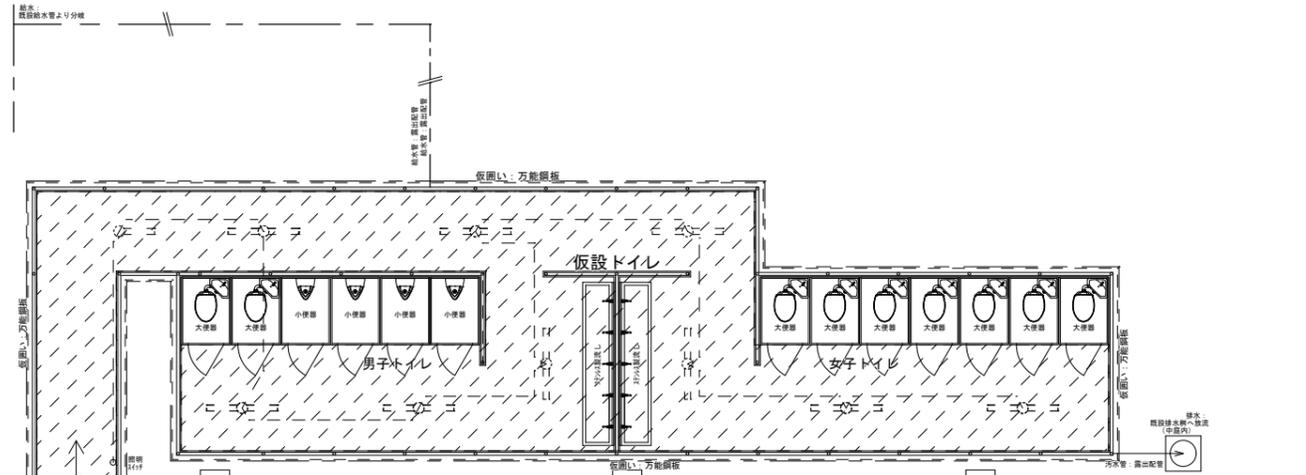
凡例	
←	: 工事車両進入路
←	: 学校関係者動線の確保
▨	: 強化型プラスチック敷き (4尺×6尺)
---	: 仮囲い (鋼製、H=2,000)
〰	: シートゲート (w6,000×h4,500)
▨	: 枠組足場 (900×1,800)
○	: コーナクション
☆	: 交通誘導員

※仮設計画については、監督員・学校関係者と協議の上、適切に設置する事。

図面に記入がなく、やむ負えず必要となる工事は、監督員と協議の上、施工を行う事。

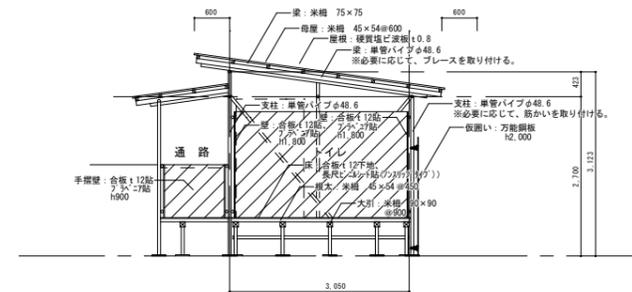
工事車両進入路の鉄板敷きは、工事完了後に現状に復旧させる事。

足場については、労働安全衛生法を厳守すること。



仮設トイレ平面図 S=1/60

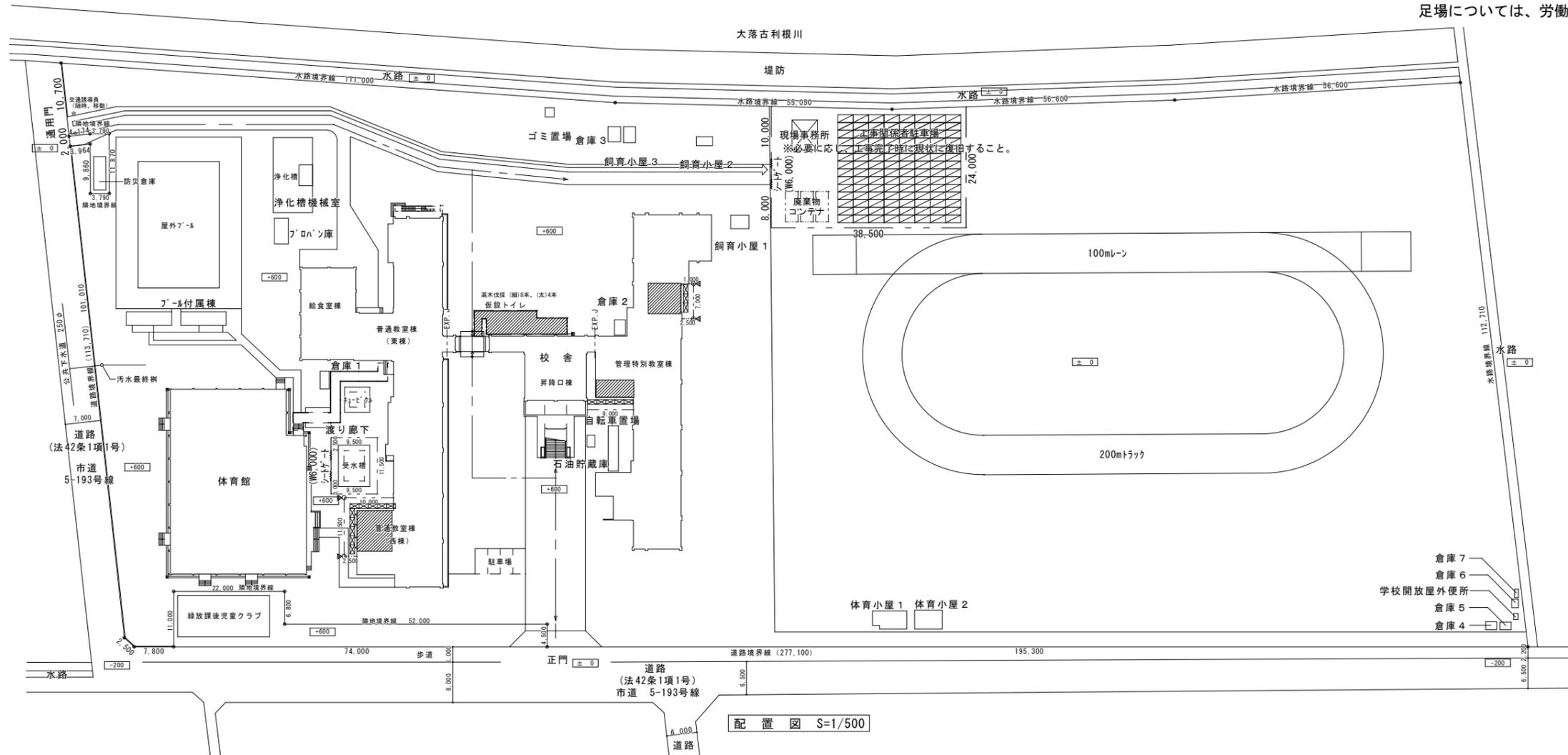
凡例
 ▨ : 床張り部分を表す。(合板12下地、長尺ビニルシート(ノリツブタイプ))
 □ : 照明器具(40w×1 吊下げ)を表す。
 ※トイレユニットは、水洗式とする。
 雨に濡れずに使用出来るよう設置する事。
 既設樹木に配慮して設置する事。



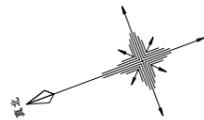
仮設トイレ断面図 S=1/60

※単管パイプのジョイント部・出隅部・端部(h1,800以下部分)は、防護カバーを取り付ける等の安全対策を行う事。
 雨天時の使用を考慮する事。

凡例
 ▨ : 壁張り部分を表す。



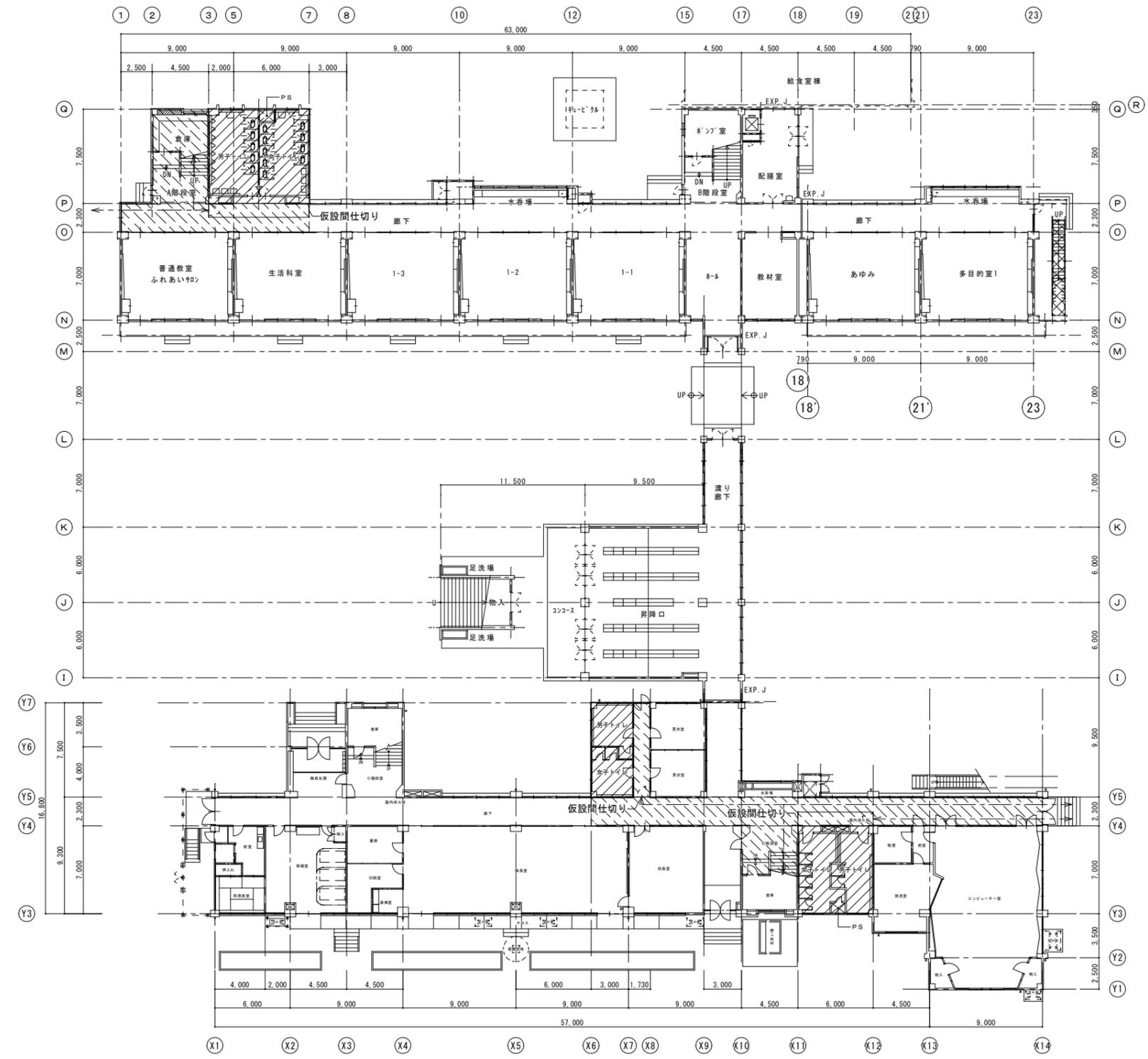
配置図 S=1/500



- 倉庫 7
- 倉庫 6
- 学校開放屋外便所
- 倉庫 5
- 倉庫 4



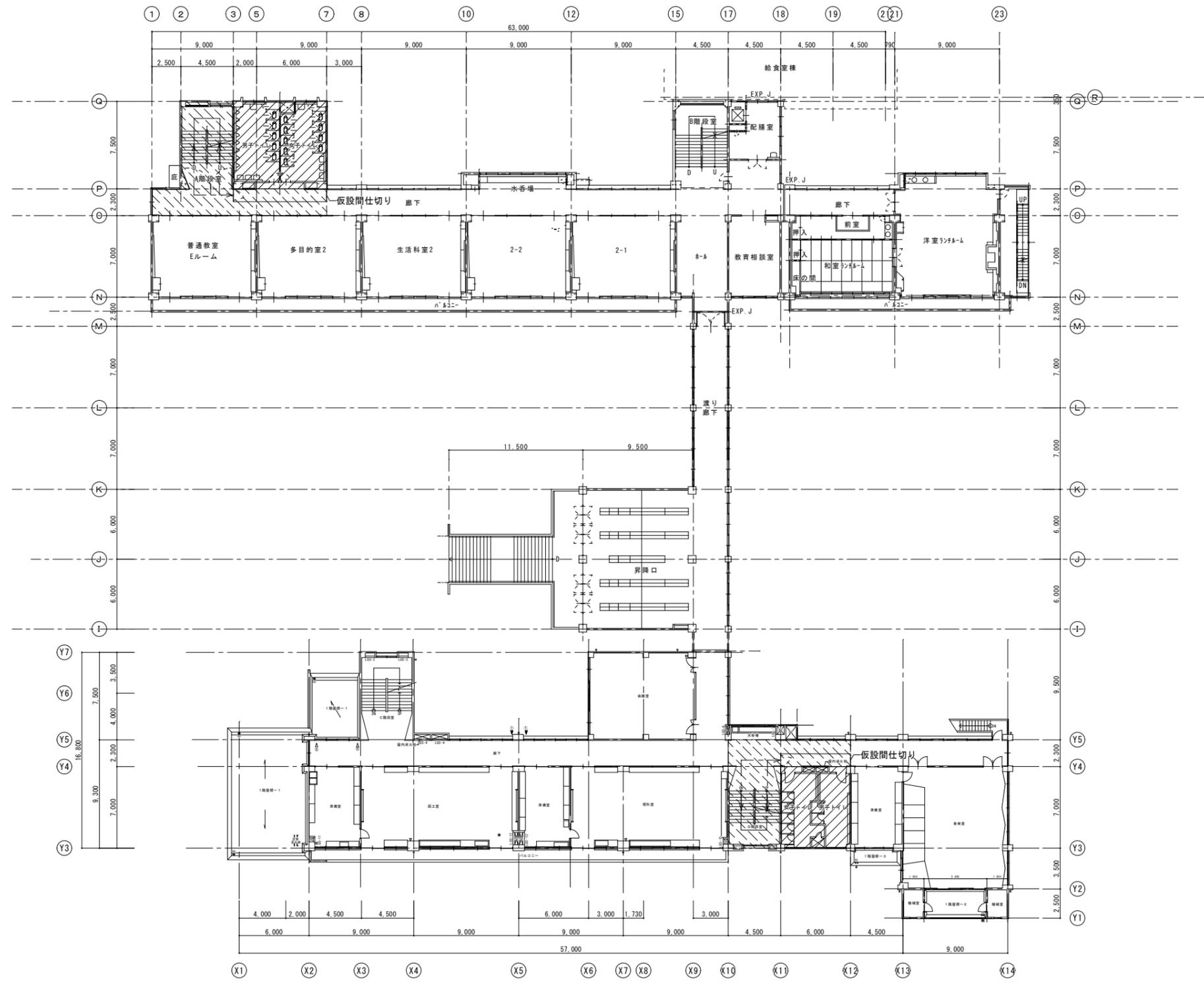
- 凡例
- : 今回改修工事範囲
 - : 搬出入養生範囲
 - : 仮設間仕切 (出入口付)
 - : 作業員動線



1階仮設計画図 (参考図) S=1/200



- 凡例
- : 今回改修工事範囲
 - : 搬出入養生範囲
 - : 仮設間仕切 (出入口付)
 - : 作業員動線



2~4階仮設計画図 (参考図) S=1/200